

令和7年度

児童生徒腎臓検診報告書
児童生徒心臓検診報告書

付 貧血検査結果（中2女子・高2女子）
突然死に関する調査結果

群馬県学校保健会

（児童生徒腎臓疾患対策委員会）

（児童生徒心臓疾患対策委員会）

群馬県教育委員会健康体育課



はじめに

近年、児童生徒を取り巻く社会環境の急激な変化は、児童生徒の心身の健康に様々な影響を与えています。感染症、アレルギー疾患、肥満や生活習慣病、メンタルヘルスの問題、一般的医薬品や薬物の乱用、性に関する問題等が顕在化しており、学校における児童生徒の健康管理や健康指導の重要性はますます高まっています。

このような現状の中で、本県では、腎臓や心臓などの慢性疾患対策として「児童生徒健康管理対策実施要綱」を定め、健康診断の適切な実施に努めております。

この報告書は、令和7年度の児童生徒健康管理対策事業により実施した県内公立学校の健康診断結果を中心に分析したものです。

腎臓検診につきましては、令和元年度より、「腎臓検診一次検診(尿検査)」での「蛋白」・「潜血」・「白血球」・「糖」の異常閾値について【(1+以上)を異常】とし、糖については100mg/dl以上を有所見者としました。その結果、二次検診以降の有所見者が約半数に減少いたしました。

心臓検診につきましては、心疾患の早期発見、早期治療につなげるため、小学校4年生に対する心臓検診の実施を進め、令和6年度から、群馬県内全ての市町村で実施されております。実施に向けて御尽力いただいた各市町村教育委員会の皆様に感謝を申し上げます。

腎臓検診・心臓検診が適切に行われ、児童生徒の健康管理・健康指導に活かされることは、児童生徒のQOLが向上し、児童生徒が生涯を通じて、健康な生活を送ることができる基となると確信しています。

本書の内容につきまして、「児童生徒腎臓疾患対策委員会」及び「児童生徒心臓疾患対策委員会」は書面開催となりましたが、「児童生徒腎臓判定小委員会」・「児童生徒心臓判定小委員会」に諮り、専門医の方々より御意見をいただきました。検討した結果を掲載しておりますので、関係各位につきましては、参考にしていただき、今後の児童生徒の健康管理・健康指導に御活用くださいますようお願い申し上げます。

令和8年4月

群馬県学校保健会
会 長 須藤英仁

群馬県教育委員会事務局
健康体育課長 山藤一也

目 次

児童生徒腎臓検診結果・糖検診結果・・・・・・・・・・ 1

貧血検査結果・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 33

児童生徒心臓検診結果・・・・・・・・・・・・・・・・ 35

突然死に関する調査結果・・・・・・・・・・・・ 59

児童生徒腎臓検診結果

- ・ 糖検診結果

1 検診結果から分かったこと

(1) 腎臓検診結果より

本年度の在籍者数（小、中、高、特支）総計は、166,106人となりました。

昨年度から3,744人減少しており、10年以上、毎年3,000人強の減少が続いています。

① 一次検尿について（表2、図1～4）

表2より、一次検診は対象166,106人中98.82%が一回目検尿を行いました。一回目検尿の受診率は、例年とほぼ同じで、引き続き高い水準を維持しておりました。二回目検尿受診率は、対象4,384人中4,018人(91.7%)と、昨年度の93.7%よりわずかに低下しておりました。

全体での有所見率は、一回目2.67%（昨年度2.40%）二回目0.49%（昨年度0.41%）と、昨年度より若干高値でした。

検尿有所見率（表2、図1～2）は、学校種別で一回目小学校1.68%、中学校4.21%、高等学校2.82%、特別支援学校7.07%二回目小学校0.33%、中学校0.75%、高等学校0.42%、特別支援学校2.31%と、いずれの学校種でも昨年度とほぼ同割合でした。ここ5年の推移は図1、図2をご覧ください。5年間でみると、わずかながら上昇傾向にもみえます。

学校種毎での、種目別の有所見率（表2、図3～4）の結果は下記の通りです。

一回目検尿有所見率（%）				二回目検尿有所見率（%）					
	小	中	高	特		小	中	高	特
潜血	0.70	1.65	1.58	1.45	潜血	0.23	0.41	0.24	0.63
蛋白	0.91	2.42	1.09	1.68	蛋白	0.08	0.32	0.12	0.36
潜血+蛋白	0.08	0.15	0.14	0.27	潜血+蛋白	0.02	0.03	0.05	0.14

尿異常の種目別では、昨年度と比べると、高等学校の潜血が若干高値になった以外は、昨年度との大きな差異はありませんでした。図3、図4に尿所見別、学校種別分布が見やすく図示されております。

白血球尿は、一回目、二回目とも特別支援学校以外は報告なしでした。

○二次検診以降について

表3より、二次検診以降全体（二次検診、主治医検診、三次検診、直接三次検診）では、受診率が71.50%と、昨年70.47%と前年とほぼ同様でした。

校種別では、小学校は、79.89%（昨年79.93%）と高めで、高等学校は70.00%（同67.09%）と、令和5年度から改善傾向が続いています。

全体として、受診率がこの5年、ほぼ70%で固定されており、改善がないため、受診率改善を期待したいところです。

② 二次検診について（図 5、図 9、表 3-1）

表 3-1 より、全体の受診率は 66.4%と、前年度の 64.7%より若干上昇しましたが、その中でも中学校 58.4%、高等学校は 64.9%でした。

高等学校については、若干改善傾向がみられますが、中学校はほぼ半数が未受診であるため、改善を強く望みます。

また、有所見率は 58.11%（前年 55.3%）と若干上昇しました。二次検診では、新規に慢性糸球体腎炎 2 人、紫斑病性腎炎 2 人が診断されました。

図 9 に項目別の円グラフを記載しました。この中で項目番号 60 が未受診。右半分の項目番号 51、1、2、3 が積極治療介入不要群になります。図 5 で最近 5 年間の受診率の推移を示します。

③ 主治医検診について（図 6、表 3-2）

表 3-2 より、受診率 80.2%（昨年 79.4%）と全体の数値は横ばいで、校種別による大きな差異はありませんでした。

有所見率は 95.86%（昨年 94.8%）と、前年とほぼ変わりありませんでした。図 6 で、ここ 5 年間の受診率の推移を示します。

主治医のもとで、検尿システムに乗っている児童生徒は、慢性糸球体腎炎 12 人、ネフローゼ 6 人、IgA 腎症 12 人、紫斑病性腎炎 2 人でした。

④ 三次検診について（図 7、表 3-3）

表 3-3 より、全体の受診率は 88.0%（昨年 87.1%）と昨年度とほぼ同じで、小学校は 95.0%と高値です。三次紹介なので、重要な疾患である可能性も高いことから、引き続きしっかりと受診指導をお願いいたします。

三次での有所見率は 90.91%（昨年 77.78%）と非常に高く、新規で慢性糸球体腎炎 1 人、ネフローゼ 1 人が診断されました。図 7 に最近 5 年間の受診率の推移を示します。

⑤ 直接三次検診について（図 8、図 10、表 3-4）

平成 28（2016）年度から始まった本システムですが、今年度は過去最高の、112 人（昨年度 91 人）が該当しました。

表 3-4 より、全体の受診率は、79.5%でした（昨年 82.4%）。

本ルートは緊急ルートですので、引き続き受診率 100%を目標とした指導をお願いします。

今年の未受診者は 23 人で、小学校 4 人、中学校 9 人、高等学校 9 人、特別支援学校 1 人でした。

新規で IgA 腎症 3 人、紫斑病性腎炎 2 人、慢性糸球体腎炎 1 人、急性糸球体腎炎 1 人、ネフローゼ 2 人が診断されました。

毎年、直接三次の報告は、受診者全症例に専門医の再チェックを入れております。直接三次症例 112 人中、未受診者を除いた 89 人の検証で、正常、起立性蛋白尿、無症候性血尿等、大きな問題のない症例が 64 人（有病率 28.1%）でした。

尿所見別で、尿蛋白(3+)群では、未受診者を除いた67人中55人が異常なし、もしくは起立性蛋白尿、無症候性血尿でした(有病率18.1%)。

病的と判断されたものの診断は、持続性蛋白尿が7人、IgA腎症1人、紫斑病性腎炎1人、ネフローゼ2人、溶連菌感染後急性糸球体腎炎1人でした。

潜血(2+)蛋白(2+)以上群では、受診者22中9人が異常なし、もしくは無症候性血尿、起立性蛋白尿でした(有病率59.1%)。

病的と判断されたものの診断は、IgA腎症1人、紫斑病性腎炎4人、ループス腎炎1人、慢性糸球体腎炎5人、その他2人など、何らかの病的意義のあるものが多く、蛋白尿単独症例より、血尿、蛋白尿症例に病的意義が強い傾向があるのは例年どおりでした。

⑥ 運動管理区分(表3-5、3-6)

令和3(2021)年度より、管理区分C以上は三次へという流れを新たに作りました。その成果か、運動管理区分の問題症例は、かなり少なくなってきました。本年度については、表3-6のとおりです。(表3-5も併せて御参照ください)。

腎臓二次検診の段階でC以上がついた人は全校種合計で17人と、今年度は多めでした。

詳細ですが、Aの2人は入院治療中で妥当。Bの7人中2人は主治医管理中で妥当であり、4人は三次紹介され、DもしくはEが妥当の判断でした。Cの8人中未受診と診断未定がそれぞれ1人。3人は主治医管理中で妥当。3人は三次紹介されEに変更され妥当。

以上により、未受診、診断未定の2人以外は、高等学校の紫斑病性腎炎の1人のみ管理区分が誤っておりました。

結果、ほぼ全ての症例で、適切な管理が出されておりました。

(2) 糖検診結果より

【表4】より、糖一次検診は、対象166,106人中164,143人(98.8%)が受診し、昨年度98.9%に続き、高い受診率を維持しました。糖主治医検診受診率89.1%(昨年度94.7%、一昨年度90.5%)、糖三次検診受診率は78.2%(昨年度82.7%、一昨年度87.1%)、糖主治医検診及び糖三次検診の合計受診率は82.9%(昨年度87.1%)となり、ここ数年で最も低い水準となりました。教育現場の先生方による懸命な対応は継続されているものの、受診の必要性が児童生徒やその家族に十分に伝わっていない可能性が考えられます。

また、主治医検診については、主治医による書類作成や提出が滞る例も見受けられるため、主治医側の意識も重要と考えられます。

関係者の御協力により、今年度も群馬県児童生徒の詳細な資料が出来ましたが、未受診者が増加しているため、資料から正確に読み取ることが出来ない事情があることに注意が必要です。

例えば、糖主治医検診の未受診者には、2型糖尿病が多いことが知られており、その点を考慮した上で【表4-1】以降のデータ解釈をしなければなりません。

【表4-2】より、糖一次検診で有所見となり、糖三次検診を受診した児童生徒93人のうち、12人(12.9%)が、耐糖能異常(糖尿病)と診断されたことが分かります。この割合を基にすると、糖三次検診の未受診者26人の中にも、およそ3人程度の耐糖能異常(糖尿病)が存在する可能性が推測されます。したがって、更なる受診率の向上が求められます。

糖検診で発見される糖尿病は、生活習慣とは関係なく発症し、直ちにインスリン注射が必要になることの多い1型糖尿病、生活習慣病としての2型糖尿病、そのほかの糖尿病(遺伝性糖尿病や医原性糖尿病など)に分類されます。

1型糖尿病の小児における年間発症率は10万人あたり1.5~2.5人と、頻度は多くありませんが、発症後早期に適切な治療が開始されない場合、重篤な状態に至る可能性があります。糖検診陽性を契機として、明らかな賞状が出現する前に、1型糖尿病が新規発見される症例は毎年認められており、【表4-2】に示すように今年度も1例の新規発見に繋がりました。重篤な症状が出現する前に適切な治療を開始できたことは、本事業の成果であると考えられます。

一方、2型糖尿病は肥満や過食などの生活習慣の影響が大きく、かつては成人の疾患と考えられていましたが、近年では小児でもみられるようになっていきます。全国的には、小学生では1型糖尿病の発症頻度が2型糖尿病より高いものの、中学生以降では、2型糖尿病の発症頻度が上回る傾向があります。

【表4-2】より、今年度の糖検診では、6人の2型糖尿病の新規発見がありました。2型糖尿病の新規発見数は増加傾向にあり、更に先述のとおり、糖主治医検診の未受診者には2型糖尿病が多いことから、未受診者の存在により、実態が十分に反映されていない可能性にも留意する必要があります。

この点に対しては、未受診を減少させる取り組みを進めるとともに、該当児童生徒の健康状態について、適切な管理と十分な注意を行うことが重要です。

また、群馬県の生活習慣病予防対策事業を通じて、児童生徒の肥満を減少させ、生活習慣病を予防していくことも喫緊の課題と考えられます。

【表7】より、糖検診結果に基づく管理区分では、2人がC以上になりました。糖尿病は、原則として運動制限を必要としない疾患ですが、該当医療機関に確認したところ、糖尿病以外の原因により、運動制限が必要と判断されていることが確認されました。

糖三次検診受診報告書を確認すると、医療機関受診時に検尿のみ行われ、尿糖陰性を確認しただけで「異常なし」あるいは「正常」と判断された生徒が複数認められました。

また、HbA1cが6.5%近い値であるにも関わらず、空腹時血糖やOGTTを実施せずに「異常なし」と判断された例も確認されました。

過去には、糖三次検診にて、尿糖陰性を確認されただけで「異常なし」と判断された児童が、数ヶ月後に糖尿病性ケトアシドーシスという重篤な症状を呈し、その後1型糖尿病の診断された例が報告されています。

このような事態を防ぐため、学校検尿マニュアルは改訂を重ね、糖三次検診で実施すべき検査項目を明示しています。担当医の先生方には、必ず内容を御確認いただき、適切な検査を実施していただくようお願いいたします。

2 最後に

膨大なデータを適切に処理し、群馬県の児童生徒の動向を把握することは、将来に向けて、非常に重要な業務です。

しかし、一部の学校において不適切な対応（例：主治医検診対象児童生徒を三次検診対象と区分する、旧版の様式書類を使用する等）が見受けられ、業務が煩雑になる要因となっています。

また、管理区分が未記入のまま提出される受診報告書も散見されます。これらは、児童生徒の学校活動にも影響を及ぼす可能性があるため、担当医の先生方にも十分御注意いただきたいと存じます。

今年度から、学校職員によるバクスマー（経鼻グルカゴン製剤）の投与に関する指示を含む様式17が、県内統一様式として運用開始されました。現時点では、大きなトラブルは報告されていませんが、バクスマーの指示は、インスリン治療を受けている児童生徒の権利でもあるため、書類の記載内容に誤りがないよう、十分に御留意ください。

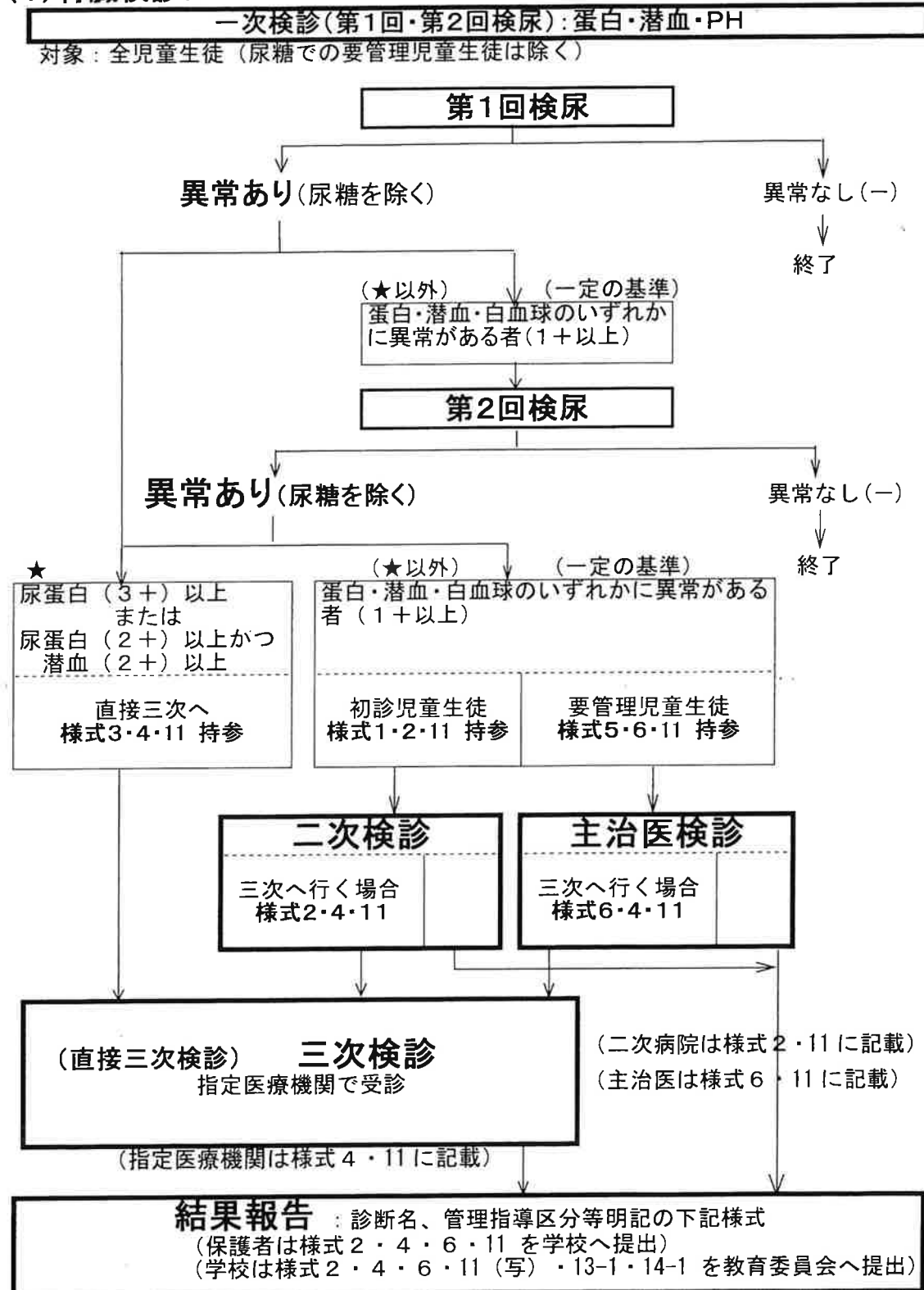
また、受診率向上のためには、糖三次検診未受診者の予後の検討や、糖主治医検診未受診者について、主治医へ連絡を行うなどの方策についても、検討する必要があるかもしれません。

今年度も各学校担当者、各市町村教育委員会、県教育委員会の皆様の御尽力により、データ解析を行うことが出来ましたことに深く感謝申し上げます。本事業が、群馬県の将来に繋がる取り組みとなるよう、今後ともご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

(参考)

腎臓・糖検診のフロー

(1) 腎臓検診フロー

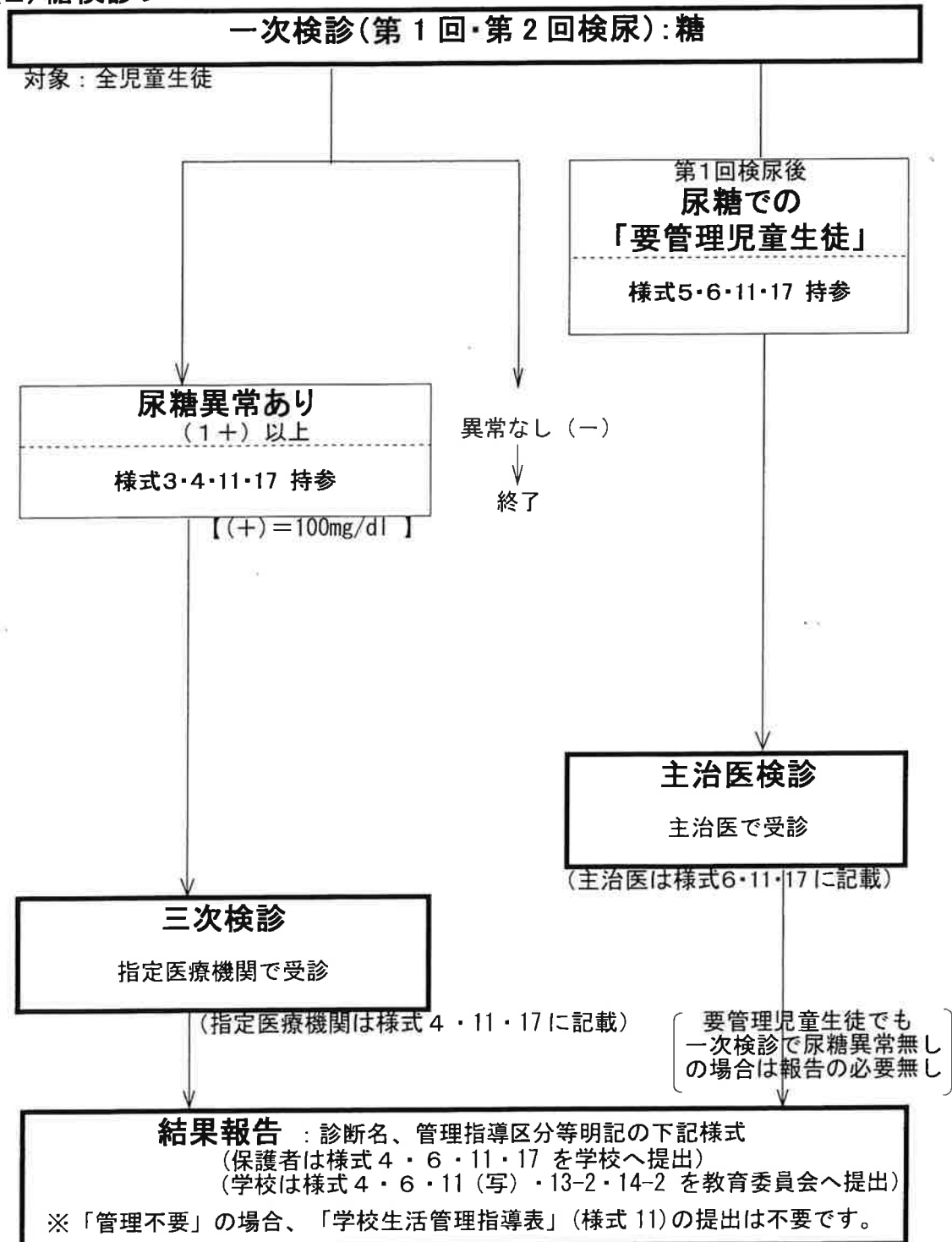


※上記「要管理児童生徒」の一次検診結果が「異常なし(-)」となった場合、基本的に管理は不要となる。ただし、主治医が次回検診が必要と判断した場合は、そのやりとりを「様式11」をもって行う。

(参考)

腎臓・糖検診のフロー

(2) 糖検診フロー



※要管理児童生徒:「腎・糖尿疾患管理カード」が作成されている児童生徒

1. 腎臓検診の結果(糖を除く)

表1 腎臓検診実施状況(一次検診・二次検診以降:小学校・中学校・高等学校・特別支援学校)まとめ

令和7年度 【児童生徒健康管理対策実施要綱 報告様式(様式14-1)より】

単位:人

種別	一 次 検 診 結 果												
	第1回目検尿結果							第2回目検尿結果					
	※1 全対象者数 (在籍者数)	※2 受診者数	異常あり (有所見)	有所見内訳				受診者数	異常あり (有所見)	有所見内訳			
		※3 潜血 のみ		※4 蛋白 のみ	※5 潜血 +蛋白	※6 白血球	※3 潜血 のみ			※4 蛋白 のみ	※5 潜血 +蛋白	※6 白血球	
小学校	84,584	84,151	1,413	585	763	67		1,349	281	196	71	13	
			1.68%						0.33%				
中学校	45,650	44,664	1,882	736	1,082	66		1,673	335	181	142	13	
			4.21%						0.75%				
高等学校	全日制	32,199	31,939	889	490	349	47	831	130	75	38	16	1
	定時制	1,324	1,183	44	32	11	1	34	9	6	3		
	計	33,523	33,122	933	522	360	48	865	139	81	41	16	1
			2.82%						0.42%				
特別支援学校	小学部	878	810	53	9	12	1	31	45	19	5	2	13
	中学部	502	467	40	8	8	2	22	29	9	1		9
	高等部	969	929	63	15	17	3	28	57	23	8	6	3
	計	2,349	2,206	156	32	37	6	81	131	51	14	8	3
			7.07%						2.31%				
総計	166,106	164,143	4,384	1,875	2,242	187	81	4,018	806	472	262	45	33
受診率		(98.8%)	2.67%					(91.7%)	0.49%				

● ※1 全対象者数(在籍者数)は5月1日現在。(受診率)以外の%は、すべて「1回目検尿の※2受診者数」に対する割合。

種別	二 次 検 診 以 降 受 診 状 況 (二次検診・主治医検診・三次検診・直接三次検診) 糖は除く													
	※7・8・9・10		※7 二次検診		※8 主治医検診		※9 三次検診		※10 直接三次検診(一次検診時内訳)					
	二次検診以降 全対象者数 (合計)	二次検診以降 全受診者数 (合計)	対象者数	受診者数	対象者数	受診者数	対象者数	受診者数	対象者数 (合計)	対象者数 内訳	受診者数 (合計)	受診者数 内訳		
小学校	358	286	221	172	86	68	20	19	尿蛋白3+以上 +尿蛋白2+ +尿蛋白1+	31	19	27	16	
											12		11	
中学校	510	330	345	201	92	69	21	17	尿蛋白3+以上 +尿蛋白2+ +尿蛋白1+	52	48	43	40	
											4		3	
高等学校	全日制	169	119	100	65	36	30	8	7	尿蛋白3+以上 +尿蛋白2+ +尿蛋白1+	25	12	17	10
	定時制	11	7	9	6	1	1			1	13		7	
	計	180	126	109	71	37	31	8	7	尿蛋白3+以上 +尿蛋白2+ +尿蛋白1+	26	12	17	10
											14		7	
特別支援学校	小学部	30	26	21	18	9	8			尿蛋白3+以上 +尿蛋白2+ +尿蛋白1+				
	中学部	18	15	10	7	7	7			1		1	1	
	高等部	34	25	22	14	10	10			2	1	1	1	
	計	82	66	53	39	26	25			尿蛋白3+以上 +尿蛋白2+ +尿蛋白1+	3	1	2	2
											2			
総計	1,130	808	728	483	241	193	49	43		112	112	89	89	
二次検診以降受診率		71.5%		66.3%		80.1%		87.8%				79.5%		

●上記%は、各検診【※7~※10】の「対象者数」に対する「受診者数」の割合。【令和8年1月28日現在】

糖検診を含めた受診率	73.3%	1,130	+	211	=	1,341	※1 二次検診以降対象者数	92	119	211
		808	+	175	=	983	※2 二次検診以降受診者数	82	93	175
		983	-	1,341	=	73.3%	※3 二次検診以降受診率			

(1) 腎臓検診一次検診の結果

表2 腎臓検診一次検診の実施状況・結果

令和7年度

単位：人

項目		校種				総計	
		小学校	中学校 中等教育 前期	高等学校 中等教育 後期	特別支援 校		
※1 一次検診対象者数 (在籍者数)		84,584	45,650	33,523	2,349	166,106	
1 回目 検尿	※2 一次検診受診者数 (受診率)	84,151 99.49%	44,664 97.84%	33,122 98.80%	2,206 93.91%	164,143 98.82%	
	異常あり (有所見)	1,413 1.68%	1,882 4.21%	933 2.82%	156 7.07%	4,384 2.67%	
	有所見 内訳	※3 潜血のみ	585 0.70%	736 1.65%	522 1.58%	32 1.45%	1,875 1.14%
		※4 蛋白のみ	763 0.91%	1,082 2.42%	360 1.09%	37 1.68%	2,242 1.37%
		※5 潜血+蛋白	67 0.08%	66 0.15%	48 0.14%	6 0.27%	187 0.11%
		※6 白血球	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	81 3.67%	81 0.05%
2 回目 検尿	受診者数	1,349	1,673	865	131	4,018	
	異常あり (有所見)	281 0.33%	335 0.75%	139 0.42%	51 2.31%	806 0.49%	
	有所見 内訳	※3 潜血のみ	196 0.23%	181 0.41%	81 0.24%	14 0.63%	472 0.29%
		※4 蛋白のみ	71 0.08%	142 0.32%	41 0.12%	8 0.36%	262 0.16%
		※5 潜血+蛋白	13 0.02%	13 0.03%	16 0.05%	3 0.14%	45 0.03%
※6 白血球		0 0.00%	0 0.00%	1 0.00%	32 1.45%	33 0.02%	

● 一次検診対象者数（在籍者数）は5月1日現在。（受診率）以外、%はすべて「※2 一次検診受診者数」に対する割合。【令和8年1月28日現在】

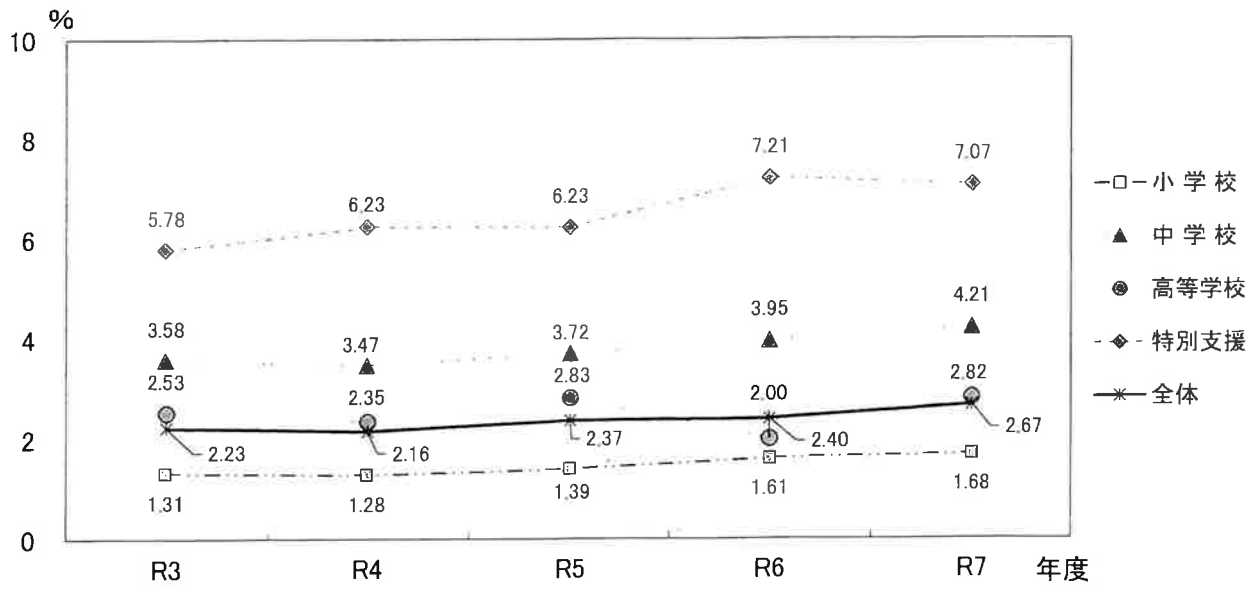


図1 第1回目検尿有所見率(R3~R7)

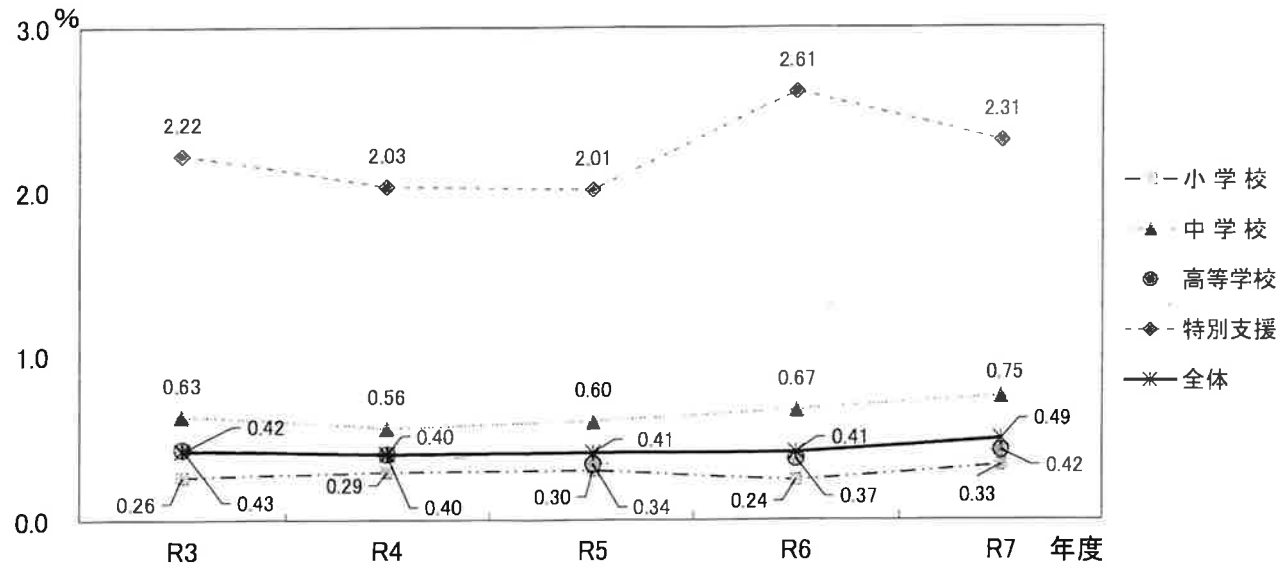


図2 第2回目検尿有所見率(R3~R7)

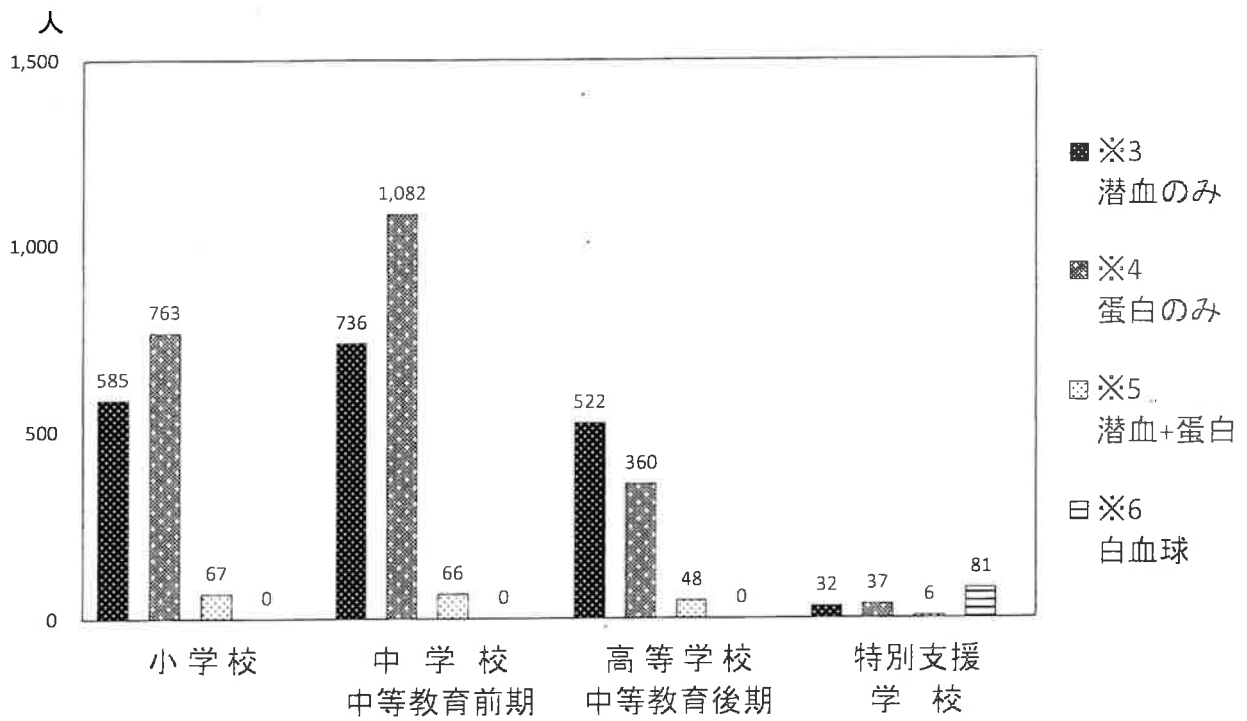


図3 第1回目検尿内識別有所見者数(R7)

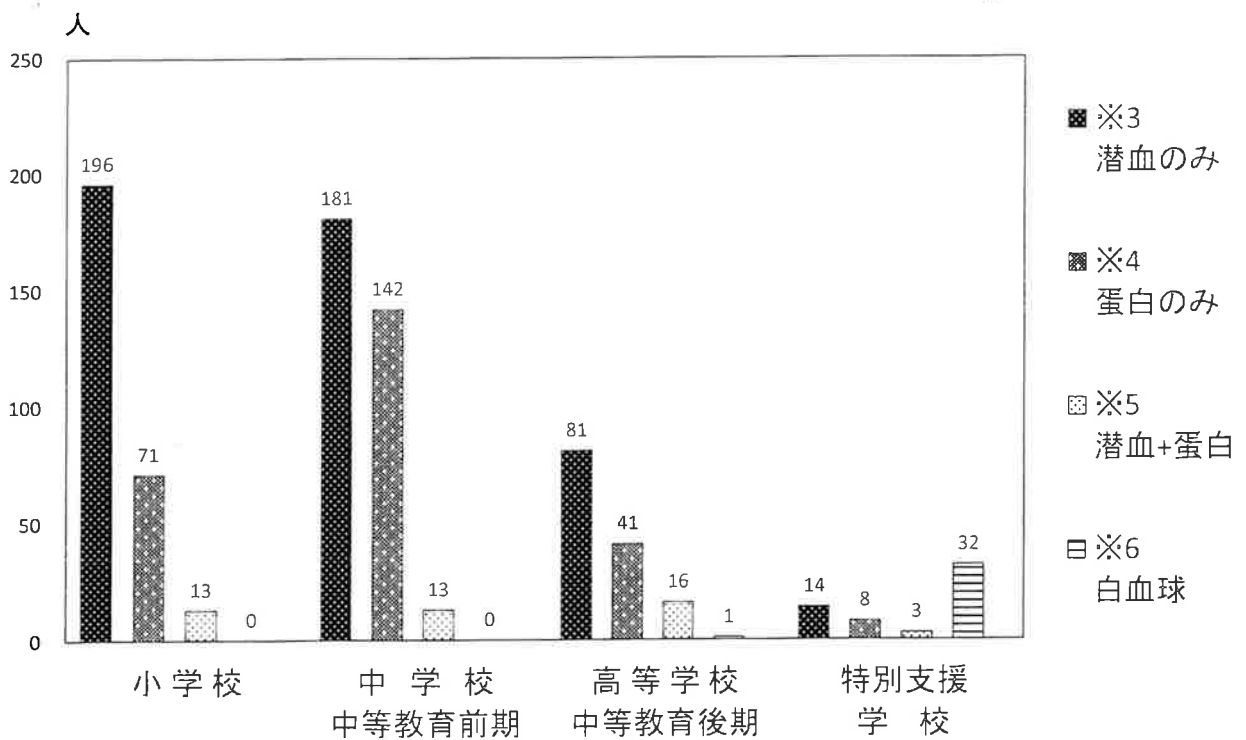


図4 第2回目検尿内識別有所見者数(R7)

(2) 腎臓検診二次検診以降の結果

表3 腎臓検診二次検診以降の実施状況（二次検診・主治医検診・三次検診・直接三次検診）

令和7年度

単位：人

項 目		校 種				総 計	
		小学校	中学校 中等教育 前期	高等学校 中等教育 後期	特別支援 学 校		
※7・8・9・10 二次検診以降対象者数		358	510	180	82	1,130	
※ 二次検診以降受診者数 (受診率)		286 79.89%	330 64.71%	126 70.00%	66 80.49%	808 71.50%	
※7 二次 検診	対 象 者 数	221	345	109	53	728	
	受 診 者 数 77.8%	172 77.8%	201 58.3%	71 65.1%	39 73.6%	483 66.3%	
※8 主治 医 検診	対 象 者 数	86	92	37	26	241	
	受 診 者 数 79.1%	68 79.1%	69 75.0%	31 83.8%	25 96.2%	193 80.1%	
※9 三 次 検診	対 象 者 数	20	21	8	0	49	
	受 診 者 数 95.0%	19 95.0%	17 81.0%	7 87.5%	0 0.0%	43 87.8%	
※10 直 接 三 次 検 診 (内 訳 は 一 次 検 診 時)	対 象 者 数	(合計)	31	52	26	3	112
	内 訳	蛋白3+↑	19	48	12	1	80
		蛋白2+↑ 潜血2+↑	12	4	14	2	32
	受 診 者 数	(合計)	27 87.1%	43 82.7%	17 65.4%	2 66.7%	89 79.5%
	内 訳	蛋白3+↑	16	40	10	0	66
		蛋白2+↑ 潜血2+↑	11	3	7	2	23

● 上記%は、すべて ※ 各検診の「対象者数」に対する「受診者数」の割合。【令和8年1月28日現在】

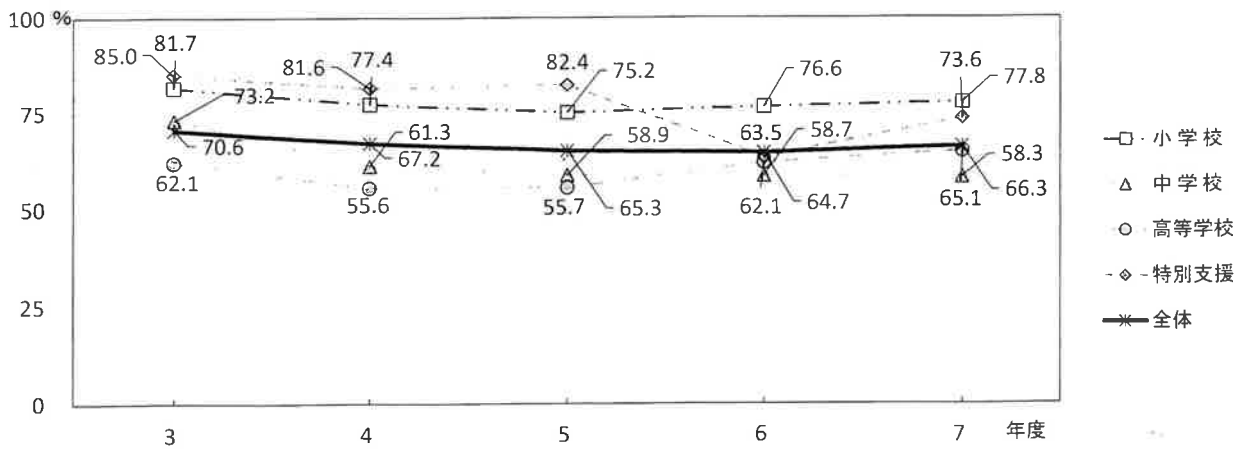


図5 腎臓検診二次検診受診率(R3~R7)

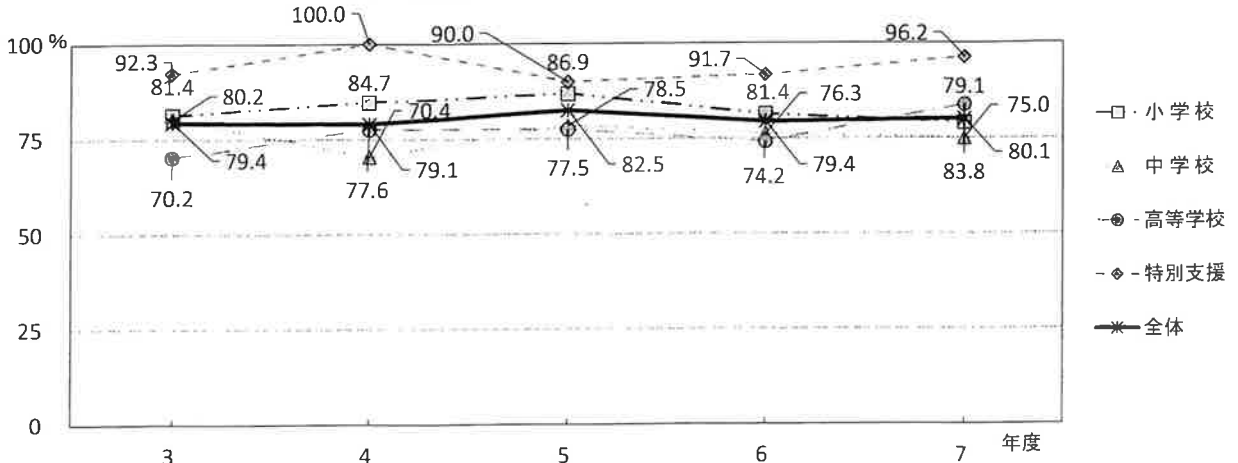


図6 腎臓検診主治医検診受診率(R3~R7)

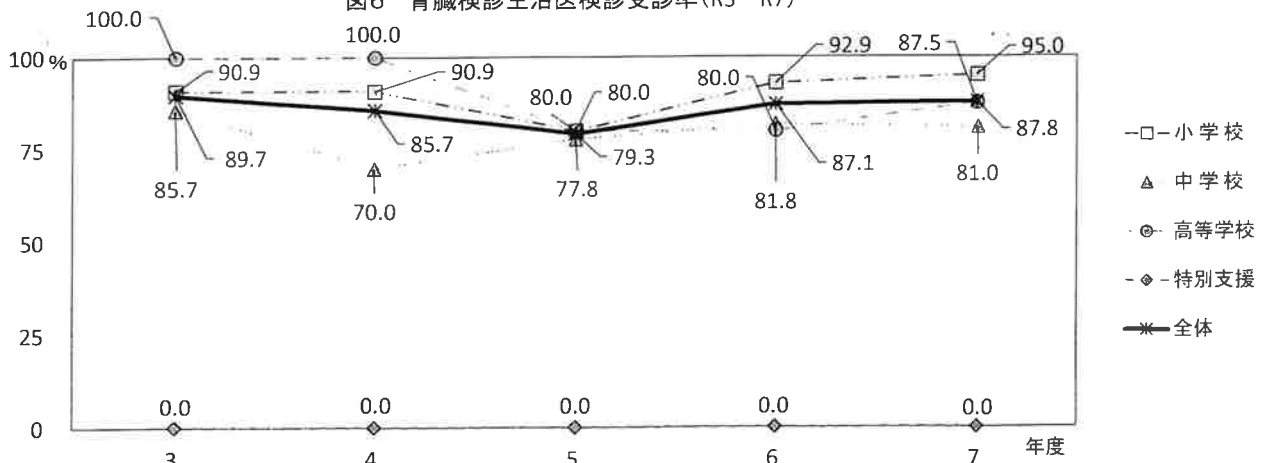


図7 腎臓検診三次検診受診率(R3~R7)

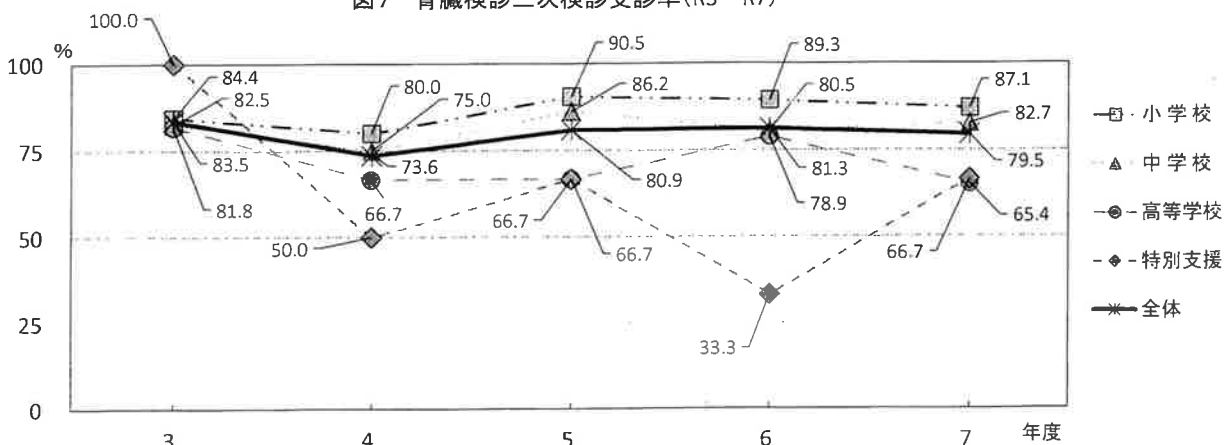
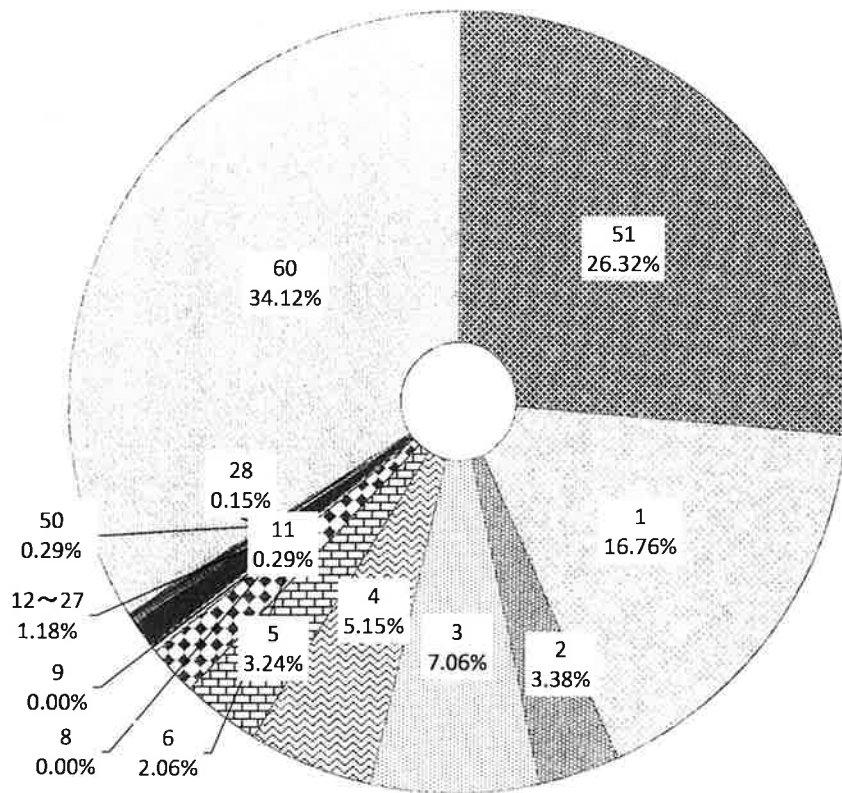
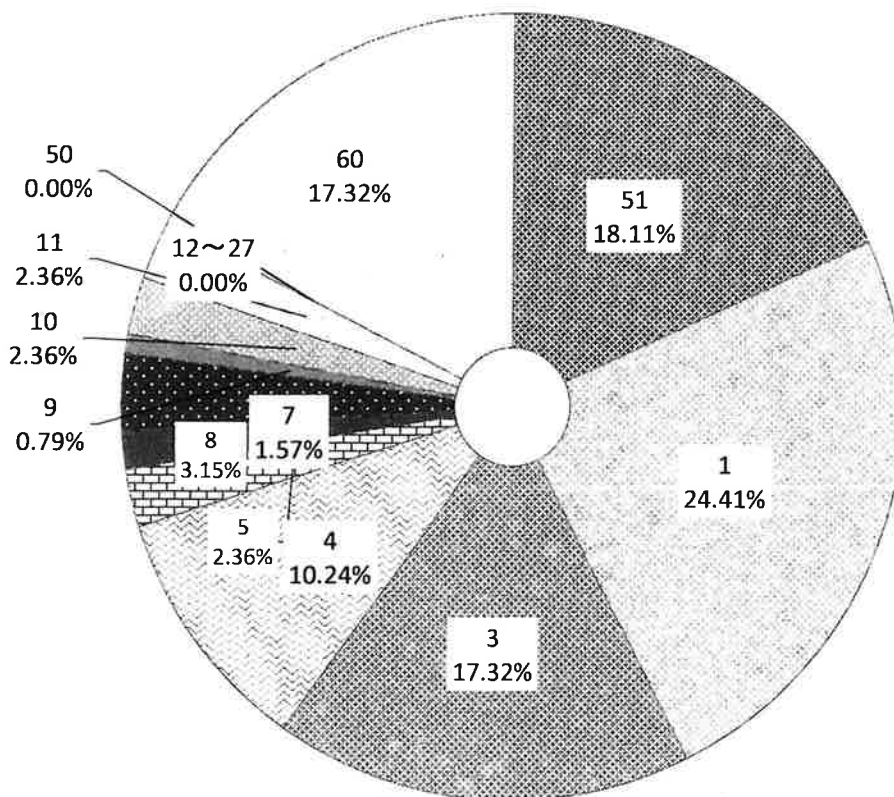


図8 腎臓検診直接三次検診受診率(R3~R7)



- 51: 異常なし
- 1: 無症候性血尿
- 2: 家族性血尿
- 3: 体位性蛋白尿
- 4: 持続性蛋白尿
- 5: 血尿+蛋白尿
- 6: 白血球尿
- 8: 慢性糸球体腎炎
- 9: 急性糸球体腎炎
- 11: 紫斑病性腎炎
- 12~27: その他
- 28: 腎性尿糖
- 50: 診断未定
- 60: 未受診

図9 腎臓二次検診 診断区分



- 51: 異常なし
- 1: 無症候性血尿
- 3: 体位性蛋白尿
- 4: 持続性蛋白尿
- 5: 血尿+蛋白尿
- 7: ネフローゼ症候群
- 8: 慢性糸球体腎炎
- 9: 急性糸球体腎炎
- 10: IgA腎症
- 11: 紫斑病性腎炎
- 12~27: その他
- 50: 診断未定
- 60: 未受診

図10 腎臓直接三次検診 診断区分

表3-1 腎臓検診二次検診の受診状況及び診断区分・措置状況

令和7年度【令和8年3月2日現在】

()内は新規発見者

単位：人

項目		校種別				総計	
		小学校	中学校	高等学校	特別支援学校		
I 対象者数		222	346	112	53	733	
II 受診者数		173	202	73	39	487	
※ 受診率		77.9%	58.4%	65.2%	73.6%	66.4%	
III 有所見者数		125 (116) 72.25%	100 (97) 49.50%	44 (43) 60.27%	14 (14) 35.90%	283 (270) 58.11%	
IV 診 断 区 分	1	無症候性血尿	63 (58)	31 (29)	20 (19)	7 (7)	121 (113)
	2	家族性血尿	15 (13)	5 (5)	3 (3)	0 (0)	23 (21)
	3	体位性蛋白尿 (起立性蛋白尿)	10 (10)	31 (31)	7 (7)	1 (1)	49 (49)
	4	持続性蛋白尿	15 (15)	19 (19)	1 (1)	0 (0)	35 (35)
	5	血尿＋蛋白尿	9 (7)	9 (8)	4 (4)	0 (0)	22 (19)
	6	白血球尿	7 (7)	5 (5)	2 (2)	4 (4)	18 (18)
	8	慢性糸球体腎炎	1 (1)	0 (0)	1 (1)	0 (0)	2 (2)
	11	紫斑病性腎炎	1 (1)	0 (0)	1 (1)	0 (0)	2 (2)
	12~27	その他	2 (2)	0 (0)	5 (5)	2 (2)	9 (9)
	50	診断未定	2 (2)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	2 (2)
	51	異常なし	48 (48)	102 (102)	29 (29)	25 (25)	204 (204)
		受診者合計	173 (164)	202 (199)	73 (72)	39 (39)	487 (474)
	60	未受診	49 (48)	144 (144)	39 (39)	14 (14)	246 (245)
	総合計	222 (212)	346 (343)	112 (111)	53 (53)	733 (719)	
V 措 置 区 分	1	要医療	3 (3)	1 (1)	3 (3)	1 (1)	8 (8)
	2	要経過観察	84 (79)	47 (45)	27 (27)	12 (12)	170 (163)
	3	経過観察不要	64 (64)	132 (132)	36 (36)	26 (26)	258 (258)
	4	要三次検診	20 (16)	22 (21)	7 (6)	0 (0)	49 (43)
	5	記載なし	51 (50)	144 (144)	39 (39)	14 (14)	248 (247)
		総合計	222 (212)	346 (343)	112 (111)	53 (53)	733 (719)

表3-2 腎臓検診主治医検診の受診状況及び診断区分・措置状況

令和7年度【令和8年1月28日現在】

()内は新規発見者

単位：人

項目		校種別				総計
		小学校	中学校	高等学校	特別支援学校	
I 対象者数		86	93	37	26	242
II 受診者数		68	70	31	25	194
※ 受診率		79.1%	75.3%	83.8%	96.2%	80.2%
III 有所見者数		67 (0) 98.53%	66 (0) 94.29%	30 (3) 96.77%	23 (4) 92.00%	186 (7) 95.88%
IV 診 断 区 分	1 無症候性血尿	33 (0)	29 (0)	8 (1)	2 (0)	72 (1)
	2 家族性血尿	10 (0)	2 (0)	2 (0)	0 (0)	14 (0)
	3 体位性蛋白尿 (起立性蛋白尿)	2 (0)	3 (0)	1 (0)	0 (0)	6 (0)
	4 持続性蛋白尿	2 (0)	6 (0)	1 (0)	1 (1)	10 (1)
	5 血尿+蛋白尿	3 (0)	3 (0)	4 (1)	1 (0)	11 (1)
	6 白血球尿	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	1 (0)
	7 ネフローゼ症候群	1 (0)	5 (0)	0 (0)	0 (0)	6 (0)
	8 慢性糸球体腎炎	2 (0)	3 (0)	6 (1)	1 (0)	12 (1)
	9 急性糸球体腎炎	0 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	1 (0)
	10 IgA腎症	1 (0)	5 (0)	4 (0)	2 (1)	12 (1)
	11 紫斑病性腎炎	2 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	2 (0)
	12~27 その他	11 (0)	10 (0)	3 (0)	15 (2)	39 (2)
	51 異常なし	1 (0)	4 (1)	1 (1)	2 (1)	8 (3)
		受診者合計	68 (0)	70 (1)	31 (4)	25 (5)
60	未受診	18 (1)	23 (2)	6 (1)	1 (0)	48 (4)
	総合計	86 (1)	93 (3)	37 (5)	26 (5)	242 (14)
V 措 置 区 分	1 要医療	0 (0)	0 (0)	1 (0)	3 (2)	4 (2)
	2 要経過観察	62 (0)	58 (0)	23 (2)	19 (2)	162 (4)
	3 経過観察不要	5 (0)	12 (1)	6 (2)	3 (1)	26 (4)
	4 要三次検診	1 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	2 (0)
	5 記載なし	18 (1)	23 (2)	6 (1)	1 (0)	48 (4)
		総合計	86 (1)	93 (3)	37 (5)	26 (5)

表3-3 腎臓検診三次検診の受診状況及び診断区分・措置状況

令和7年度【令和8年1月28日現在】

()内は新規発見者

単位：人

項目		校種別				総計	
		小学校	中学校	高等学校	特別支援学校		
I 対象者数		20	22	8	0	50	
II 受診者数		19	18	7	0	44	
※ 受診率		95.0%	81.8%	87.5%	0.0%	88.0%	
III 有所見者数		16 (11) 84.21%	17 (16) 94.44%	7 (5) 100.00%	0 (0) 0.00%	40 (32) 90.91%	
IV 診 断 区 分	1	無症候性血尿	8 (5)	6 (5)	2 (1)	0 (0)	16 (11)
	2	家族性血尿	1 (0)	1 (1)	0 (0)	0 (0)	2 (1)
	3	体位性蛋白尿 (起立性蛋白尿)	1 (1)	4 (4)	0 (0)	0 (0)	5 (5)
	4	持続性蛋白尿	3 (3)	1 (1)	0 (0)	0 (0)	4 (4)
	5	血尿＋蛋白尿	1 (1)	2 (2)	2 (1)	0 (0)	5 (4)
	7	ネフローゼ症候群	0 (0)	1 (1)	0 (0)	0 (0)	1 (1)
	8	慢性糸球体腎炎	1 (0)	1 (1)	0 (0)	0 (0)	2 (1)
	12~27	その他	0 (0)	1 (1)	1 (1)	0 (0)	2 (2)
	50	診断未定	1 (1)	0 (0)	2 (2)	0 (0)	3 (3)
	51	異常なし	3 (3)	1 (1)	0 (0)	0 (0)	4 (4)
		受診者合計	19 (14)	18 (17)	7 (5)	0 (0)	44 (36)
	60	未受診	1 (1)	4 (4)	1 (1)	0 (0)	6 (6)
		総合計	20 (15)	22 (21)	8 (6)	0 (0)	50 (42)
V 措 置 区 分	1	要医療	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
	2	要経過観察	14 (10)	12 (11)	5 (3)	0 (0)	31 (24)
	3	経過観察不要	5 (4)	6 (6)	0 (0)	0 (0)	11 (10)
	4	要三次検診	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
	5	記載なし	1 (1)	4 (4)	3 (3)	0 (0)	8 (8)
		総合計	20 (15)	22 (21)	8 (6)	0 (0)	50 (42)

表3-4 腎臓検診直接三次検診の受診状況及び診断区分・措置状況

令和7年度【令和8年1月28日現在】

()内は新規発見者

単位：人

項目		校種別	小学校	中学校	高等学校	特別支援学校	総計
I 対象者数			31	52	26	3	112
II 受診者数			27	43	17	2	89
※ 受診率			87.1%	82.7%	65.4%	66.7%	79.5%
III 有所見者数			19 (17) 70.37%	33 (27) 76.74%	12 (7) 70.59%	0 (0) 0.00%	64 (51) 71.91%
IV 診 断 区 分	1	無症候性血尿	2 (2)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	3 (2)
	3	体位性蛋白尿 (起立性蛋白尿)	6 (6)	23 (20)	2 (1)	0 (0)	31 (27)
	4	持続性蛋白尿	2 (2)	8 (6)	3 (2)	0 (0)	13 (10)
	5	血尿+蛋白尿	1 (1)	0 (0)	2 (2)	0 (0)	3 (3)
	7	ネフローゼ症候群	2 (2)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	2 (2)
	8	慢性糸球体腎炎	3 (1)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	4 (1)
	9	急性糸球体腎炎	0 (0)	1 (1)	0 (0)	0 (0)	1 (1)
	10	IgA腎症	1 (1)	0 (0)	2 (2)	0 (0)	3 (3)
	11	紫斑病性腎炎	2 (2)	1 (0)	1 (0)	0 (0)	4 (2)
	51	異常なし	8 (8)	10 (10)	5 (5)	2 (2)	25 (25)
		受診者合計	27 (25)	43 (37)	17 (12)	2 (2)	89 (76)
	60	未受診	4 (4)	9 (8)	9 (6)	1 (1)	23 (19)
		総合計	31 (29)	52 (45)	26 (18)	3 (3)	112 (95)
V 措 置 区 分	1	要医療	1 (1)	0 (0)	1 (1)	0 (0)	2 (2)
	2	要経過観察	11 (9)	15 (10)	7 (3)	0 (0)	33 (22)
	3	経過観察不要	15 (15)	28 (27)	9 (8)	2 (2)	54 (52)
	4	要三次検診	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
	5	記載なし	4 (4)	9 (8)	9 (6)	1 (1)	23 (19)
		総合計	31 (29)	52 (45)	26 (18)	3 (3)	112 (95)

表3-5 腎臓検診 二次検診からの三次検診 結果（学校種別・個別）

令和7年度【令和8年3月1日現在】

※ 措置区分の内訳 1: 要医療 2: 要観察 3: 経過観察不要 4: 要三次検診

※ 管理区分の内訳 B: 登校可但し運動不可 C: 軽い運動可 D: 中等度の運動可 E: 強い運動可 F(空白): 管理不要

1 小学校

二次検診結果					
NO	コード	診断名	措置区分	管理区分	三次未受診
1	2	家族性血尿	4		
2	4	持続性蛋白尿	4		
3	1	無症候性血尿	4	E	
4	4	持続性蛋白尿	4		
5	4	持続性蛋白尿	4	E	
6	1	無症候性血尿	4		
7	2	家族性血尿	4		
8	5	血尿+蛋白尿	4		
9	4	持続性蛋白尿	4		
10	4	持続性蛋白尿	4		
11	4	持続性蛋白尿	4		
12	1	無症候性血尿	4		
13	1	無症候性血尿	4		
14	1	無症候性血尿	4		
15	5	血尿+蛋白尿	4		
16	1	無症候性血尿	4	E	
17	1	無症候性血尿	4		1
18	4	持続性蛋白尿	4		
19	5	血尿+蛋白尿	4		
20	2	家族性血尿	4	E	
三次検診対象者数			20		1

三次検診結果					
NO	コード	診断名	措置区分	管理区分	管理カード
1	8	慢性糸球体腎炎	2	E	1
2	4	持続性蛋白尿	2	E	
3	50	診断未定			
4	5	血尿+蛋白尿	2	E	
5	4	持続性蛋白尿	2	E	
6	1	無症候性血尿	2	E	
7	1	無症候性血尿	2	E	
8	1	無症候性血尿	2	E	1
9	51	異常なし	3		
10	4	持続性蛋白尿	2	E	
11	3	体位性蛋白尿	2	E	
12	1	無症候性血尿	2	E	
13	2	家族性血尿	2	E	1
14	1	無症候性血尿	3		
15	1	無症候性血尿	2	E	
16	1	無症候性血尿	3		1
17	60	未受診			
18	51	異常なし	3		
19	1	無症候性血尿	2	E	
20	51	異常なし	3		
三次検診受診者数			19	受診率	95.0%

2 中学校

二次検診結果					
NO	コード	診断名	措置区分	管理区分	三次未受診
1	5	血尿+蛋白尿	4	C	
2	4	持続性蛋白尿	4	C禁	1
3	1	無症候性血尿	4		
4	3	体位性蛋白尿	4		
5	1	無症候性血尿	4		
6	4	持続性蛋白尿	4		
7	1	無症候性血尿	4		
8	1	無症候性血尿	4		
9	5	血尿+蛋白尿	4	D	1
10	4	持続性蛋白尿	4	B禁	
11	4	持続性蛋白尿	4	B	
12	4	持続性蛋白尿	4		
13	4	持続性蛋白尿	4		1
14	3	体位性蛋白尿	4		
15	1	無症候性血尿	4		
16	1	無症候性血尿	4		
17	1	無症候性血尿	4	B	
18	1	無症候性血尿	4	C	
19	2	家族性血尿	4		
20	4	持続性蛋白尿	4		
21	5	血尿+蛋白尿	4	C	
三次検診対象者数			21		3

三次検診結果					
NO	コード	診断名	措置区分	管理区分	管理カード
1	13	ナットクラッカー一症候群	2	E	
2	60	未受診			1
3	1	無症候性血尿	2	E	
4	3	体位性蛋白尿	3		
5	1	無症候性血尿	2	E	
6	4	持続性蛋白尿	2	E	
7	5	血尿+蛋白尿	2	E	
8	1	無症候性血尿	2	E	
9	60	未受診			
10	7	ネフローゼ症候群	2	E	
11	51	異常なし	3		
12	3	体位性蛋白尿	3		
13	60	未受診			
14	3	体位性蛋白尿	3		
15	1	無症候性血尿	2	E	
16	1	無症候性血尿	2	E	
17	5	血尿+蛋白尿	2	E	
18	1	無症候性血尿	2	E	
19	2	家族性血尿	3		
20	3	体位性蛋白尿	3		
21	8	慢性糸球体腎炎	2	E	
三次検診受診者数			18	受診率	85.7%

3 高等学校

二次検診結果					
NO	コード	診断名	措置区分	管理区分	三次未受診
1	5	血尿+蛋白尿	4	E	
2	18	低形成腎	4		1
3	2	家族性血尿	4	E	
4	1	無症候性血尿	4		
5	1	無症候性血尿	4	C	
6	1	無症候性血尿	4	E	
7	5	血尿+蛋白尿	4	B	
三次検診対象者数			7		1

三次検診結果					
NO	コード	診断名	措置区分	管理区分	管理カード
1	50	診断未定			
2	60	未受診			
3	5	血尿+蛋白尿	2	E	
4	1	無症候性血尿	2	E	
5	50	診断未定			
6	1	無症候性血尿	2	E	1
7	12	慢性腎不全	2	D	
三次検診受診者数			6	受診率	86%

4 特別支援学校

二次検診結果					
NO	コード	診断名	措置区分	管理区分	三次未受診
1					
三次検診対象者数			0		0
二次検診→三次検診全対象者数			48		5

三次検診結果					
NO	コード	診断名	措置区分	管理区分	管理カード
1					
三次検診受診者数			0	受診率	0%
二次検診→三次検診全受診者数			43	受診率	90%

表3-6 腎臓検診 二次検診以降で管理区分C以上の症例
令和7年度【令和8年3月5日現在】

小学校（2件）

検診種別	コード	二次検診以降診断名	件数	管理指導区分
直接三次検診	7	ネフローゼ症候群	1	A
直接三次検診	10	IgA腎症	1	C
合計			2	

中学校（9件）

検診種別	コード	二次検診以降診断名	件数	管理指導区分
二次検診	1	無症候性血尿	1	B
二次検診	1	無症候性血尿	1	C
二次検診	4	持続性蛋白尿	1	B禁
二次検診	4	持続性蛋白尿	1	B
二次検診	4	持続性蛋白尿	1	C禁
二次検診	5	血尿+蛋白尿	2	C
主治医検診	12	慢性腎不全	1	C禁
直接三次検診	11	紫斑病性腎炎	1	B禁
合計			9	

高等学校（4件）

検診種別	コード	二次検診以降診断名	件数	管理指導区分
二次検診	1	無症候性血尿	1	C
二次検診	5	血尿+蛋白尿	1	B
二次検診	11	紫斑病性腎炎	1	B禁
直接三次検診	5	血尿+蛋白尿	1	A
合計			3	

特別支援学校（2件）

検診種別	コード	二次検診以降診断名	件数	管理指導区分
主治医検診	15	神経因性膀胱	1	B禁
主治医検診	18	低形成腎	1	C禁※
合計			2	

※心疾患があるためC禁だが、腎疾患に関する管理指導区分はE

2. 糖検診の結果

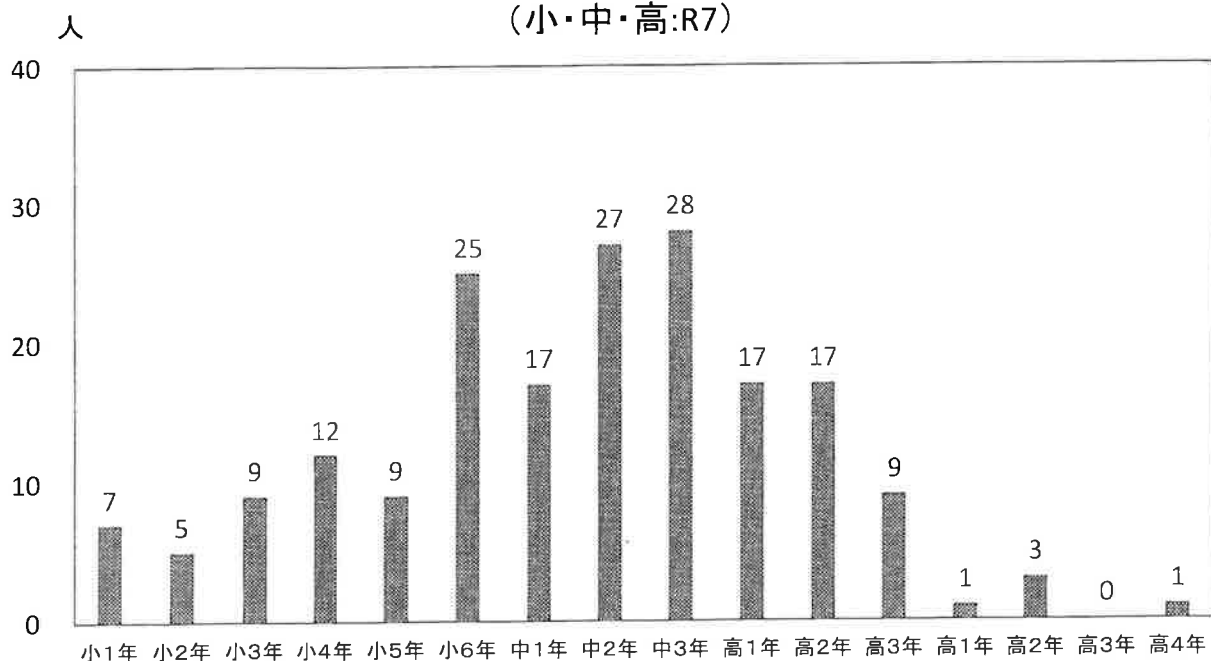
表4 糖検診実施状況(主治医検診・三次検診:小学校・中学校・高等学校・特別支援学校) まとめ
令和7年度【児童生徒健康管理対策実施要綱 報告様式(様式14-2)より】

単位:人

種 別	学 年	一 次 検 診			主 治 医 検 診 (要管理)		三 次 検 診 (初診)			
		※1 全対象者数 (在籍者数)	※2 受診者数	糖異常あり (有所見)	対象者数	受診者数	対象者数	受診者数		
									第1回目又は第2回目検尿	
小 学 校	1年	13,025	12,982	7	2	2	5	5		
	2年	13,469	13,421	5	3	3	2	2		
	3年	13,885	13,832	8	6	6	2	2		
	4年	14,329	14,256	12	9	9	3	3		
	5年	14,867	14,778	11	5	4	6	4		
	6年	15,009	14,882	26	13	13	13	11		
	計	84,584	84,151	69	38	37	31	27		
中 学 校	1年	14,787	14,623	17	7	6	10	9		
	2年	15,231	14,878	27	8	8	19	14		
	3年	15,632	15,163	28	12	8	16	13		
	計	45,650	44,664	72	27	22	45	36		
高 等 学 校	全日制	1年	10,861	10,795	19	10	9	9	8	
		2年	10,750	10,638	18	8	6	10	8	
		3年	10,588	10,506	9	3	2	6	3	
	定時制	1年	404	377	2	1	1	1	1	
		2年	440	388	3	1	1	2	1	
		3年	296	257						
		4年	184	161	1			1		
	計	33,523	33,122	52	23	19	29	21		
	特 別 支 援 学 校	小学部	1年	165	150	1	1	1		
			2年	171	158	1			1	1
3年			125	114						
4年			138	129						
5年			120	114	1			1		
6年			159	145						
中学部		1年	170	159	3			3	2	
		2年	158	149	1			1	1	
		3年	174	159						
高等部		1年	341	333	2			2		
		2年	331	312	4	2	2	2	2	
		3年	297	284	5	1	1	4	3	
計		2,349	2,206	18	4	4	14	9		
総 計		166,106	164,143	211	92	82	119	93		
受 診 率			98.8%			89.1%		78.2%		
					主治医検診 三次検診 合 計		対象者数	211		
							受診者数	175		
							受診率	82.9%		

● ※1 全対象者数(在籍者数)は5月1日現在。%は、各検診の「対象者数」に対する「受診者数」の割合。【令和8年1月28日現在】

●糖検診1回目または2回目検尿 学年別有所見者数
(小・中・高:R7)



●糖検診1回目または2回目検尿 学年別有所見者数
(特別支援:R7)

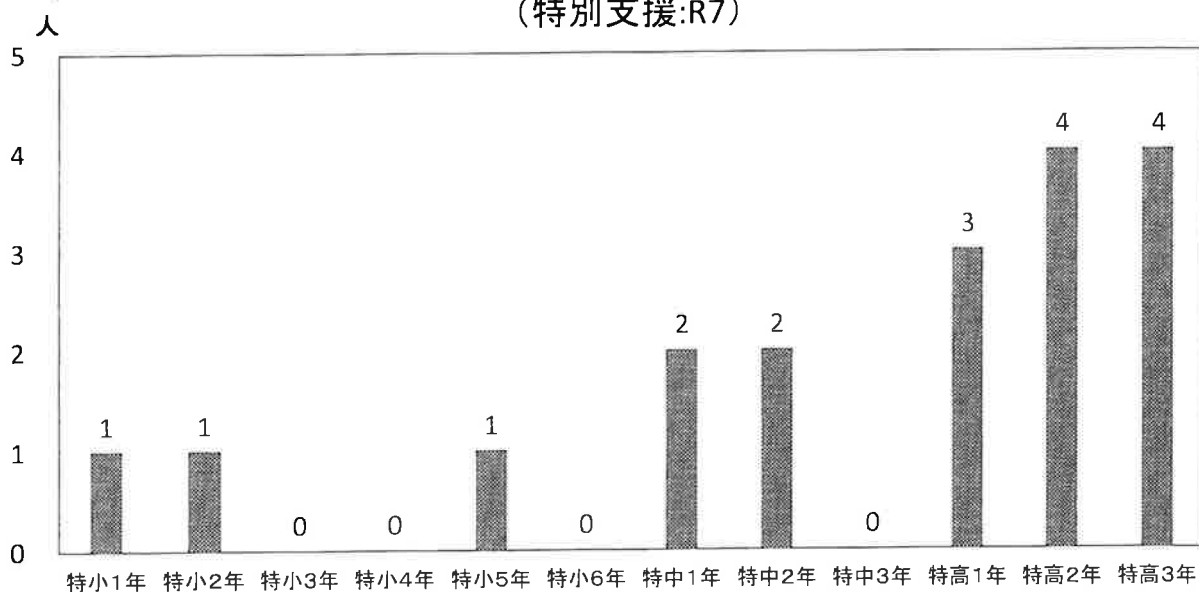


図11 糖検診1回目または2回目検尿 学年別有所見者数

表 4-1 糖検診 主治医検診の受診状況及び診断区分・措置状況

令和7年度【令和8年3月2日現在】

()内は新規発見者

単位：人

項目		校種別	小学校	中学校	高等学校	特別支援学校	総計	
I 対象者数			38	27	23	4	92	
II 受診者数			37	22	19	4	82	
※ 受診率			97.4%	81.5%	82.6%	100.0%	89.1%	
III 有所見者数			37 (0) 100.00%	22 (1) 100.00%	19 (2) 100.00%	4 (0) 100.00%	82 (3) 100.00%	
4	持続性蛋白尿		1 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	
	20	膀胱尿管逆流症	0 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	1 (0)	
	27	その他	2 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	3 (0)	
	28	腎性尿糖	1 (0)	2 (0)	0 (0)	1 (0)	4 (0)	
	29	1型糖尿病	31 (0)	18 (1)	8 (0)	0 (0)	57 (1)	
	30	2型糖尿病	2 (0)	1 (0)	9 (2)	3 (0)	15 (2)	
	31	境界型糖尿病	0 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	
	32	その他の糖尿病	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	
	29~32	耐糖能異常合計	33 (0)	20 (1)	17 (2)	3 (0)	73 (3)	
	51	異常なし	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	
	受診者合計			37 (0)	22 (1)	19 (2)	4 (0)	82 (3)
	60	未受診		1 (0)	5 (0)	4 (1)	0 (0)	10 (1)
	総合計			38 (0)	27 (1)	23 (3)	4 (0)	92 (4)
	V 措 置 区 分	1	入院加療	1 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)
		2	通院加療または 経過観察	36 (0)	21 (1)	19 (2)	4 (0)	80 (3)
3		経過観察不要	0 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	
4		その他 (他医への紹介等)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	
5		記載なし	1 (0)	5 (0)	4 (1)	0 (0)	10 (1)	
総合計			38 (0)	27 (1)	23 (3)	4 (0)	92 (4)	

表4-2 糖検診 三次検診の受診状況及び診断区分・措置状況

令和7年度【令和8年3月2日現在】

()内は新規発見者

単位：人

項目		校種別				総計	
		小学校	中学校	高等学校	特別支援学校		
I 対象者数		31	45	29	14	119	
II 受診者数		27	36	21	9	93	
※ 受診率		87.1%	80.0%	72.4%	64.3%	78.2%	
III 有所見者数		13 (12) 48.15%	13 (12) 36.11%	13 (10) 61.90%	4 (3) 44.44%	43 (37) 46.24%	
V 措 置 区 分	4	持続性蛋白尿	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (1)	1 (1)
	27	その他	2 (2)	1 (1)	2 (2)	0 (0)	5 (5)
	28	腎性尿糖	7 (7)	8 (8)	8 (6)	2 (1)	25 (22)
	29	1型糖尿病	1 (0)	2 (1)	0 (0)	0 (0)	3 (1)
	30	2型糖尿病	2 (2)	2 (2)	2 (1)	1 (1)	7 (6)
	31	境界型糖尿病	1 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (1)
	32	その他の糖尿病	0 (0)	0 (0)	1 (1)	0 (0)	1 (1)
	29~32	耐糖能異常合計	4 (3)	4 (3)	3 (2)	1 (1)	12 (9)
	50	診断未定	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
	51	異常なし	14 (14)	23 (23)	8 (8)	5 (4)	50 (49)
	受診者合計		27 (26)	36 (35)	21 (18)	9 (7)	93 (86)
	60	未受診	4 (4)	9 (9)	8 (8)	5 (5)	26 (26)
	総合計		31 (30)	45 (44)	29 (26)	14 (12)	119 (112)
V 措 置 区 分	1	入院加療	0 (0)	1 (1)	1 (1)	0 (0)	2 (2)
	2	通院加療または 経過観察	8 (7)	7 (6)	6 (3)	2 (1)	23 (17)
	3	経過観察不要	19 (19)	28 (28)	14 (14)	7 (6)	68 (67)
	4	その他 (他医への紹介等)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
	5	記載なし	4 (4)	9 (9)	8 (8)	5 (5)	26 (26)
	総合計		31 (30)	45 (44)	29 (26)	14 (12)	119 (112)

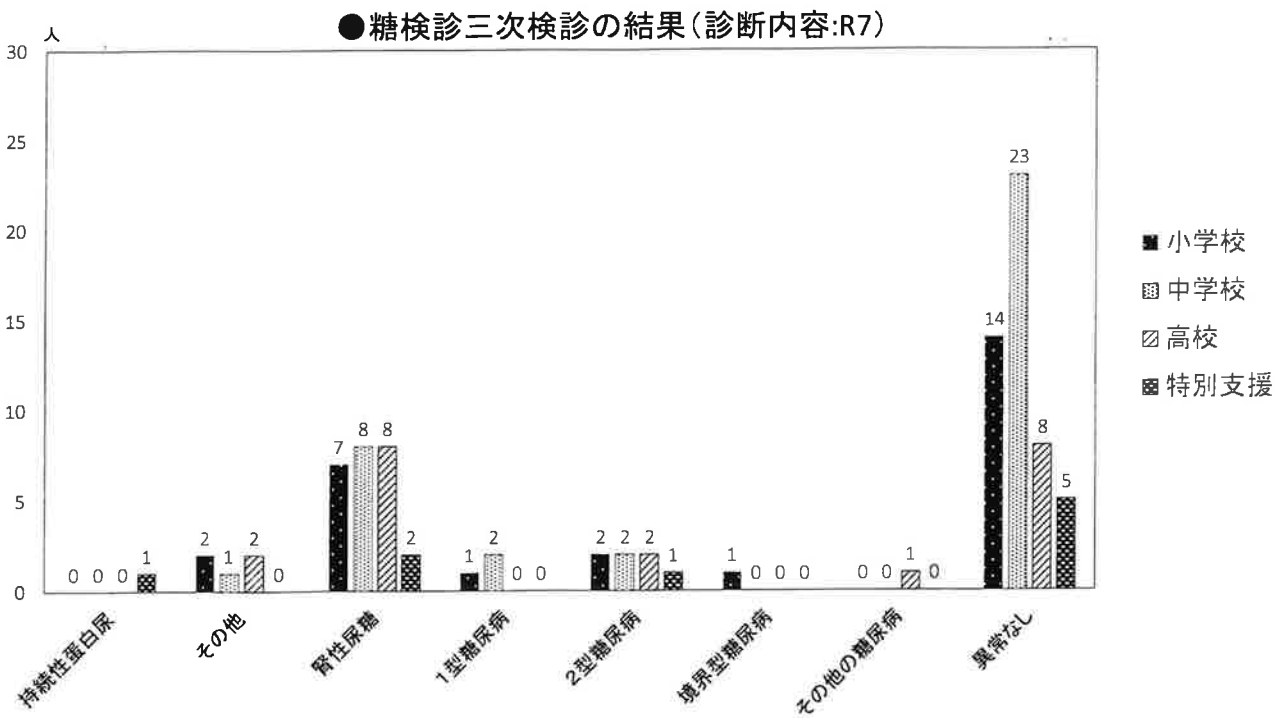
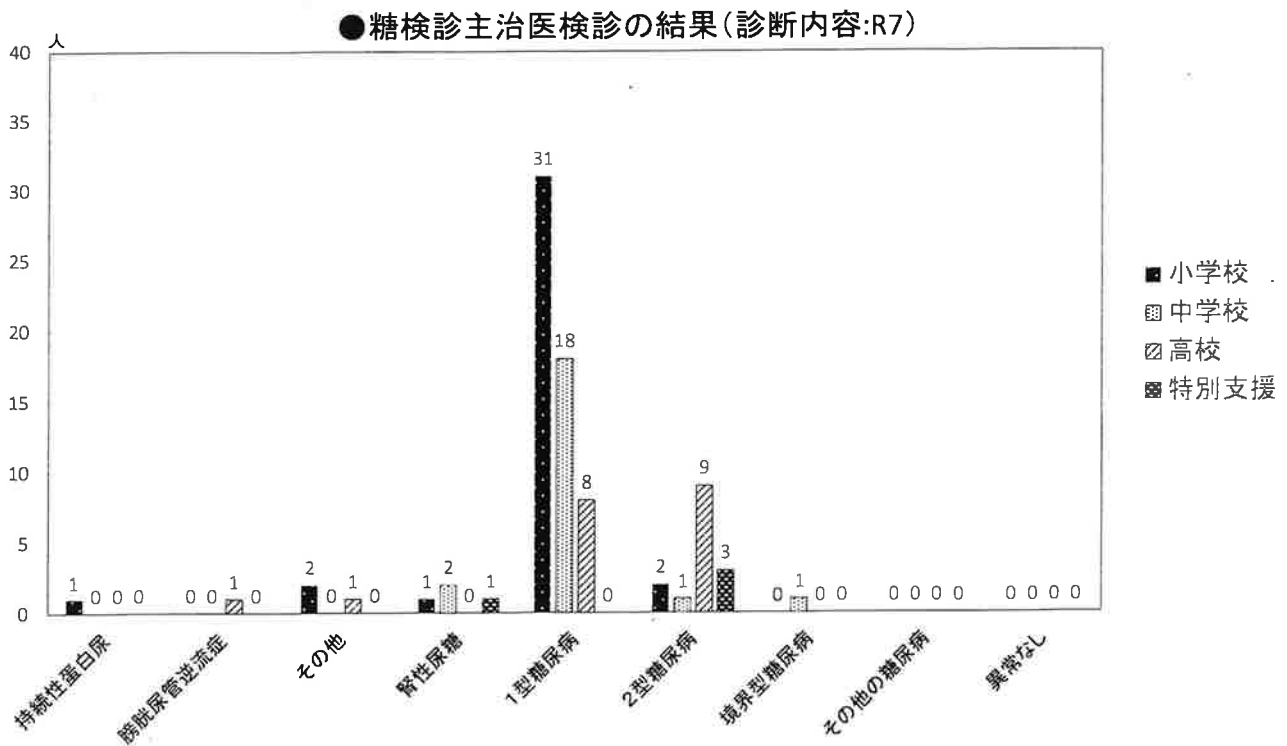
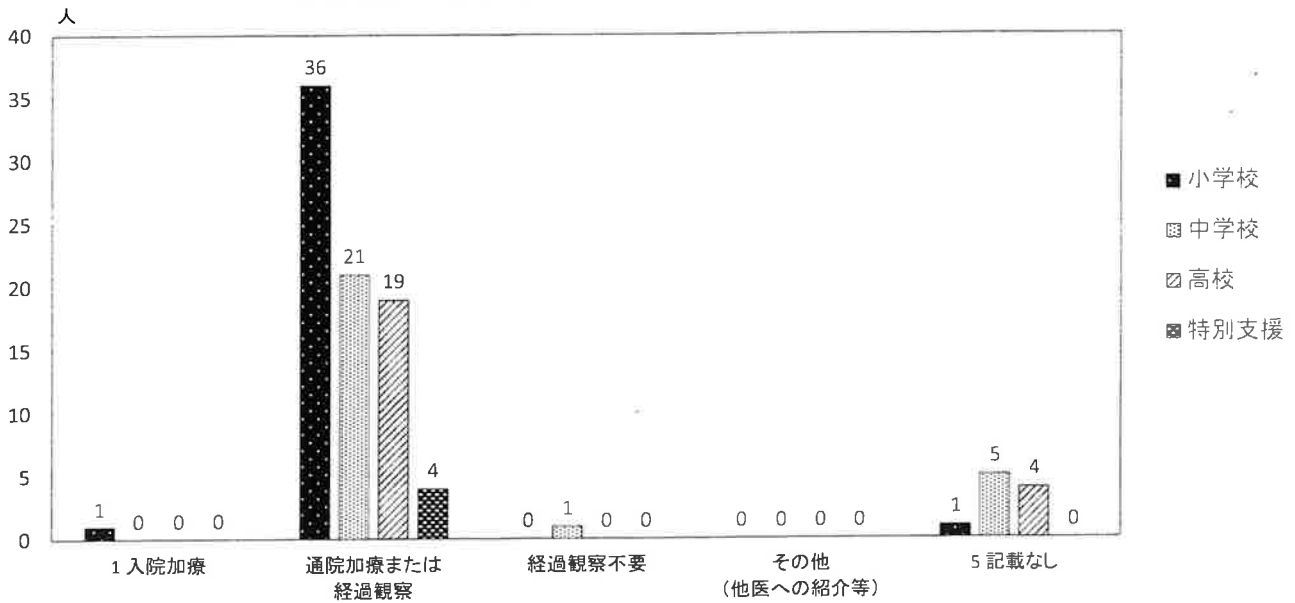


図12 糖検診主治医検診・三次検診の結果(診断内容)

●糖検診主治医検診の結果(措置区分:R7)



●糖検診三次検診の結果(措置区分:R7)

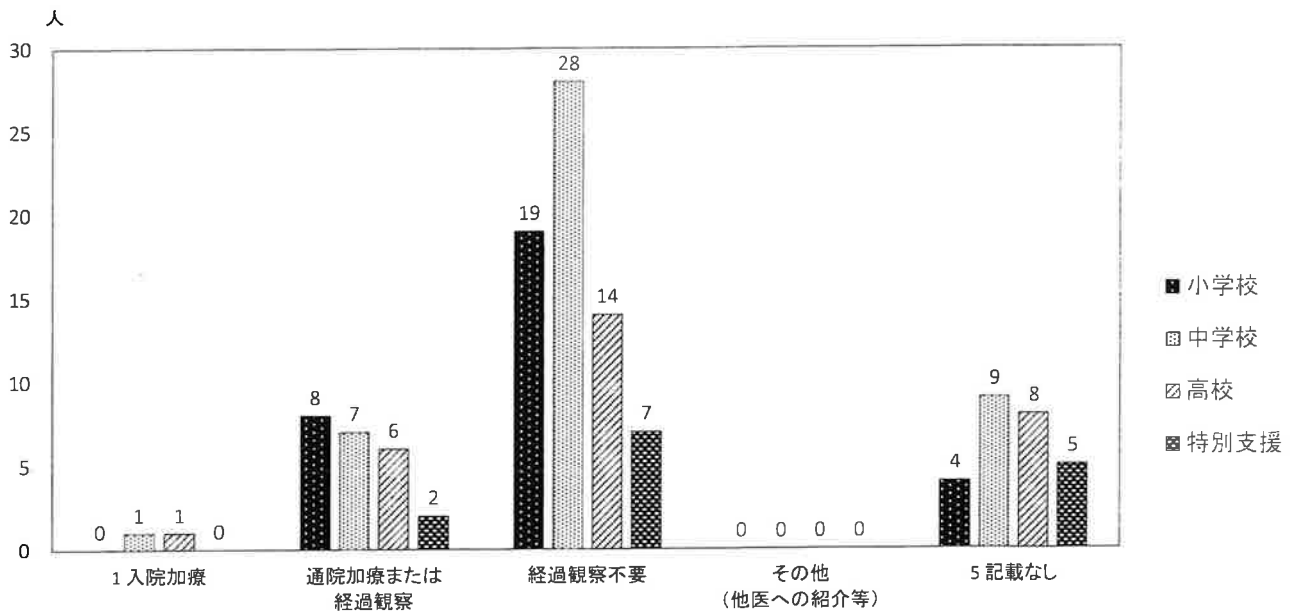


図13 糖検診 主治医検診・三次検診の結果(措置区分)

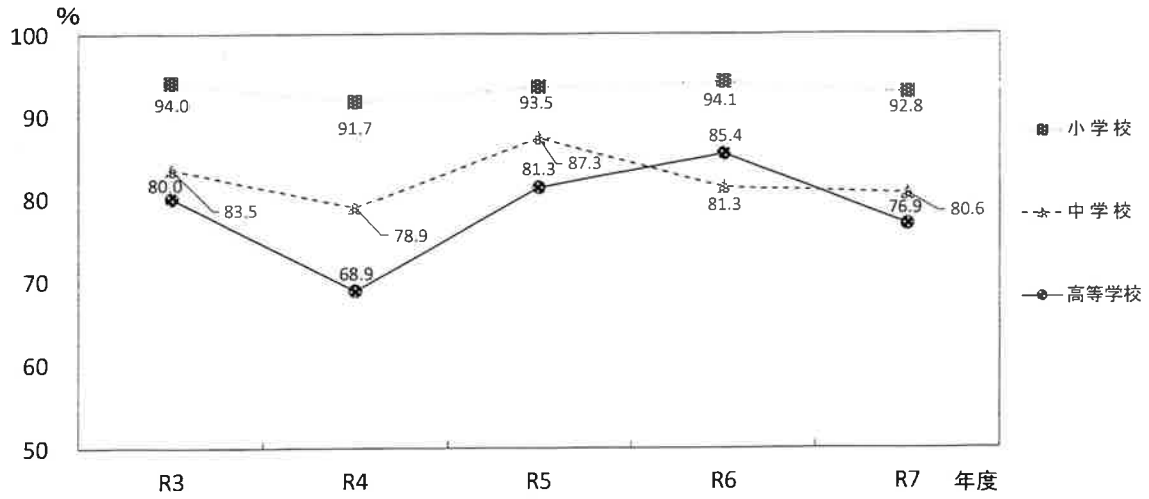


図14-1 糖検診 主治医検診・三次検診受診率の推移(R3~R7)

表5 糖検診 主治医検診・三次検診の結果 2型糖尿病と診断された数

区分		年度				
		R3	R4	R5	R6	R7
小学校	新規者数	1	4	2	1	2
	総数	3	4	4	4	4
中学校	新規者数	1	3	2	2	2
	総数	10	8	9	6	3
高等学校	新規者数	5	3	3	4	3
	総数	11	9	9	9	11
合計	新規者数	7	10	7	7	7
	総数	24	21	22	19	18

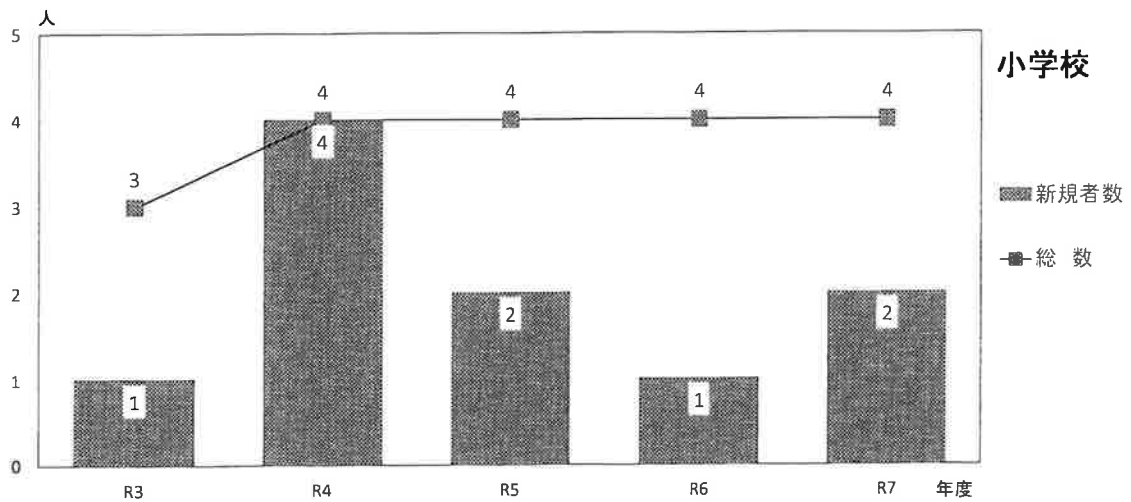


図15-1 糖検診 2型糖尿病の罹患数(小学校:R3~R7)

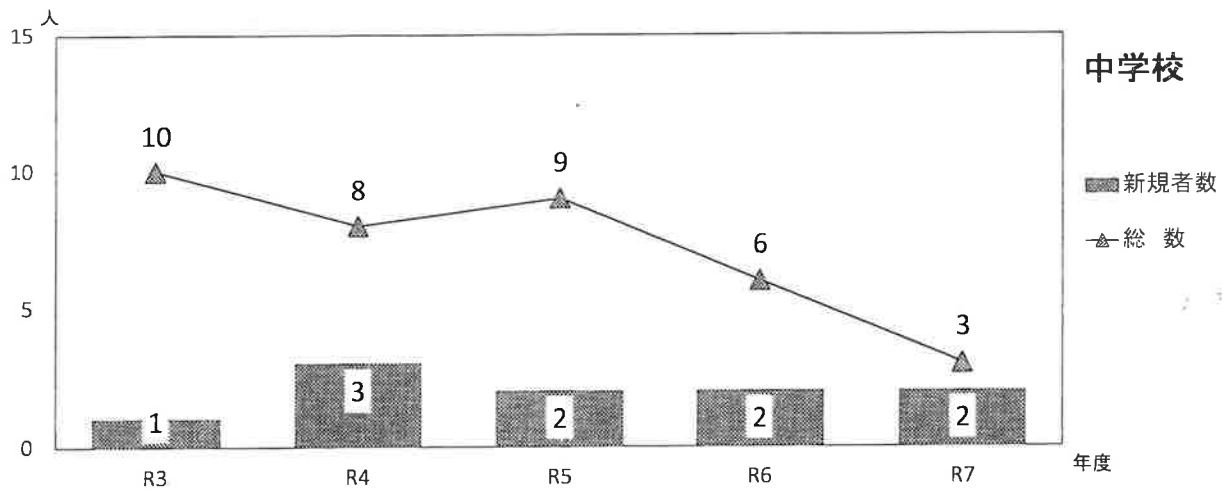


図15-2 糖検診 2型糖尿病の罹患数(中学校:R3~R7)

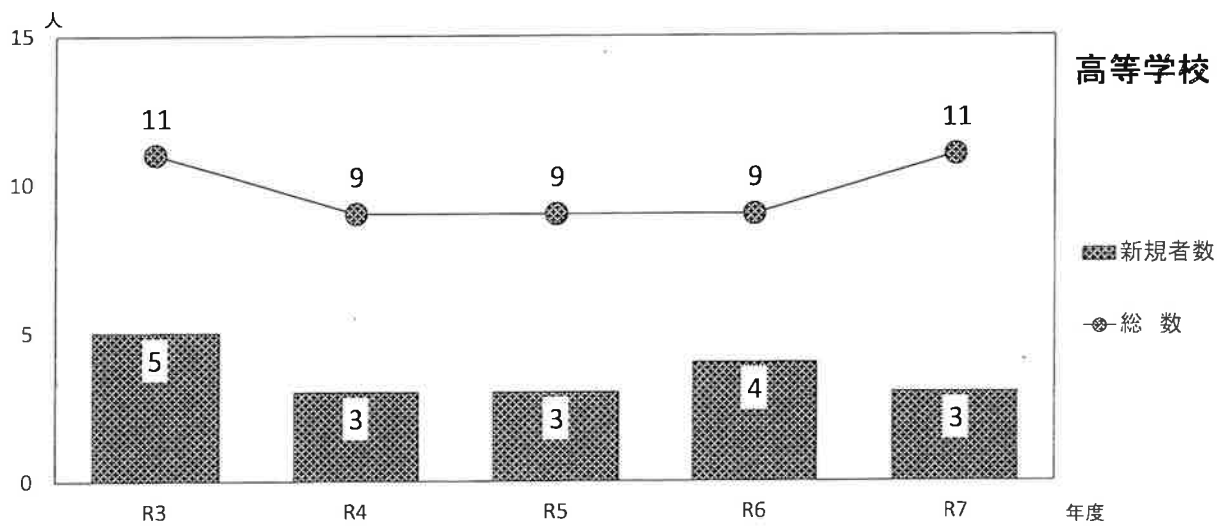


図15-3 糖検診 2型糖尿病の罹患数(高等学校:R3~R7)

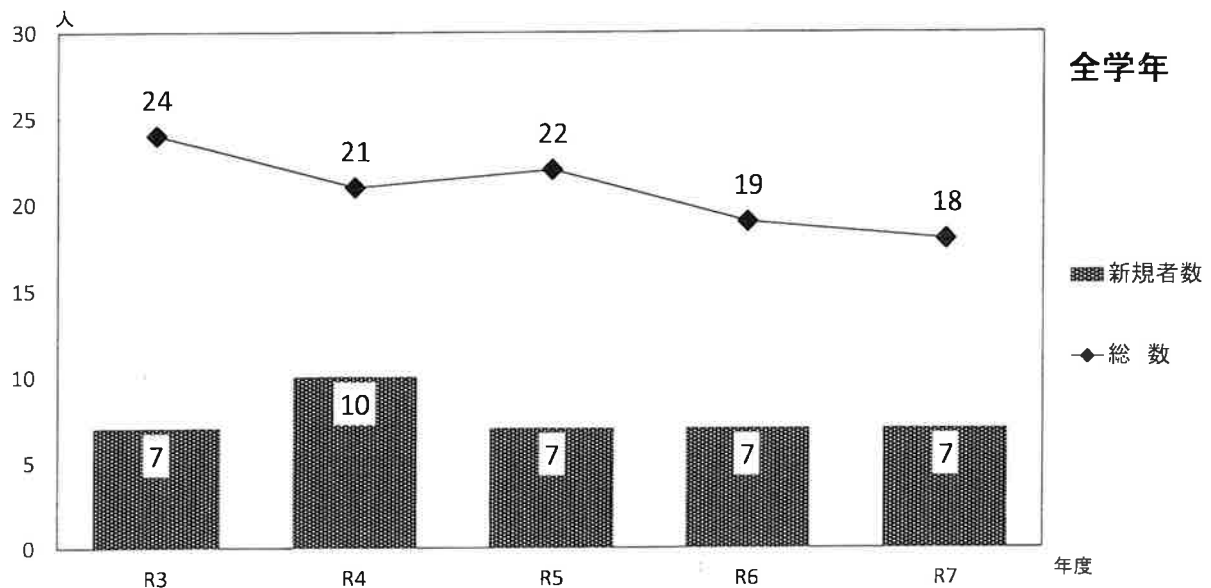


図15-4 糖検診 2型糖尿病の罹患数(全学年:R3~R7) ※特支を除く

表6 糖検診主治医検診・三次検診における糖尿病内訳

令和7年度【令和8年1月28日現在】

()は新規発見者

単位：人

小学校		1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	計
29 1型糖尿病	主治医検診	1	2	6	8	4	10	31
	三次検診	1						1
	小計	2	2	6	8	4	10	32
30 2型糖尿病	主治医検診						2	2
	三次検診						2 (2)	2 (2)
	小計						4 (2)	4 (2)
合計		2	2	6	8	4	14 (2)	36 (2)

中学校		1年生	2年生	3年生	計
29 1型糖尿病	主治医検診	3	8 (1)	7	18 (1)
	三次検診	1 (1)	1		2 (1)
	小計	4 (1)	9 (1)	7	20 (2)
30 2型糖尿病	主治医検診	1			1
	三次検診	1 (1)	1 (1)		2 (2)
	小計	2 (1)	1 (1)		3 (2)
合計		6 (2)	10 (2)	7	23 (4)

高等学校		1年生	2年生	3年生	4年生	計
29 1型糖尿病	主治医検診	5	1	2		8
	三次検診					
	小計	5	1	2		8
30 2型糖尿病	主治医検診	5 (2)	4			9 (2)
	三次検診	2 (1)				2 (1)
	小計	7 (3)	4			11 (3)
合計		12 (3)	5	2		19 (3)

表7 糖検診主治医検診・三次検診における管理区分C以上の症例(令和7年度)

小学校 (0件)

検診種別	コード	二次検診以降診断名	件数	管理指導区分

中学校 (0件)

検診種別	コード	二次検診以降診断名	件数	管理指導区分

高等学校 (1件)

検診種別	コード	二次検診以降診断名	件数	管理指導区分
三次検診	32	その他の糖尿病	1	C

特別支援学校 (1件)

検診種別	コード	二次検診以降診断名	件数	管理指導区分
三次検診	30	2型糖尿病	1	C

腎臓検診・糖検診(二次検診・主治医検診・三次検診・直接三次検診等)病名診断表

区分	二次検診等暫定診断名	備 考
1	無症候性血尿	無症候性血尿、非家族性血尿、家族性不明、血尿、微少血尿、良性血尿、特発性血尿、溶連菌感染症 含む
2	家族性血尿	家族性血尿、良性家族性血尿 含む
3	体位性蛋白尿	一過性蛋白尿、運動性蛋白尿、起立性蛋白尿、生理性蛋白尿 含む
4	持続性蛋白尿	無症候性蛋白尿、特発性蛋白尿、間欠的蛋白尿、蛋白尿 含む
5	血尿+蛋白尿	腎炎、腎炎の疑い 含む
6	白血球尿	膿尿、膀胱炎、尿路感染症 含む
7	ネフローゼ症候群	微小変化型、巣状糸球体硬化症 含む
8	慢性糸球体腎炎	膜性腎症、膜性増殖性腎炎、増殖性腎炎、溶血性尿毒症症候群、C3腎症 含む
9	急性糸球体腎炎	急性腎炎 含む
10	IgA腎症	
11	紫斑病性腎炎	
12	慢性腎不全	
13	ナットクラッカー	
14	腎盂腎炎	腎盂腎炎、上部尿路感染症 含む
15	神経因性膀胱	
16	腎尿路結石	腎尿路結石、腎盂結石症、尿路結石、尿管結石、膀胱結石 含む
17	腎下垂、遊走腎	
18	低形成腎	低形成腎、腎形成不全、腎低形成、単腎症 含む
19	腎盂尿管移行部狭窄症	腎盂尿管移行部狭窄症、水腎症含む
20	膀胱尿管逆流症	
21	尿細管性アシドーシス	
22	尿細管性蛋白尿	尿細管性蛋白尿症、DENT病、LOWE症候群 含む
23	腎嚢胞	
24	腎疾患術後	腎疾患術後、ウィルム腫瘍術後、尿道下裂術後、腎移植後など。ただし、膀胱尿管逆流手術後は含まない。
25	基底膜菲薄化症候群	基底膜菲薄化症候群、菲薄基底膜病 含む
26	アルポート症候群	
27	その他	
28	腎性尿糖	
29	1型糖尿病	
30	2型糖尿病	
31	境界型糖尿病	OGTTを実施した場合に診断できる。
32	その他の糖尿病	
50	診断未定	
51	異常なし	異常なし
60	未受診	未受診

貧血検査結果

(中学2年女子・高校2年女子)

表1 中学校2年女子貧血検査結果区分該当者数等

受診者数	ヘモグロビン				ヘマトクリット			
	12未満 ※(参考基準値外)		12以上 (参考基準値内)		36未満 ※(参考基準値外)		36以上 (参考基準値内)	
	数	率	数	数	数	率	数	数
6,209	579	9.3%	5,630	90.7%	242	3.9%	5,967	96.1%

表2 高等学校2年女子貧血検査結果区分該当者数等

受診者数	ヘモグロビン				ヘマトクリット			
	12未満 ※(参考基準値外)		12以上 (参考基準値内)		36未満 ※(参考基準値外)		36以上 (参考基準値内)	
	数	率	数	数	数	率	数	数
4,184	416	9.9%	3,768	90.1%	130	3.1%	4,054	96.9%

※ 貧血について注意を要する範囲＝(※参考基準値外) ※ 参考基準値の出典：公益財団法人 群馬県健康づくり財団

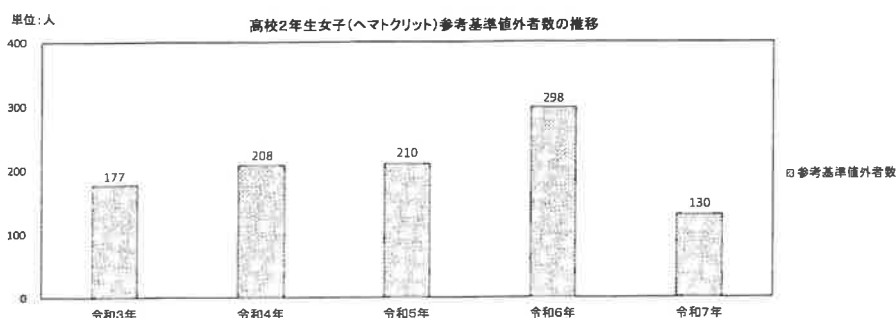
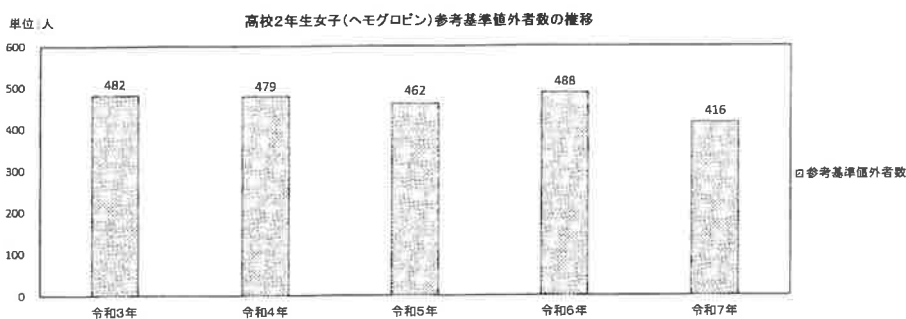
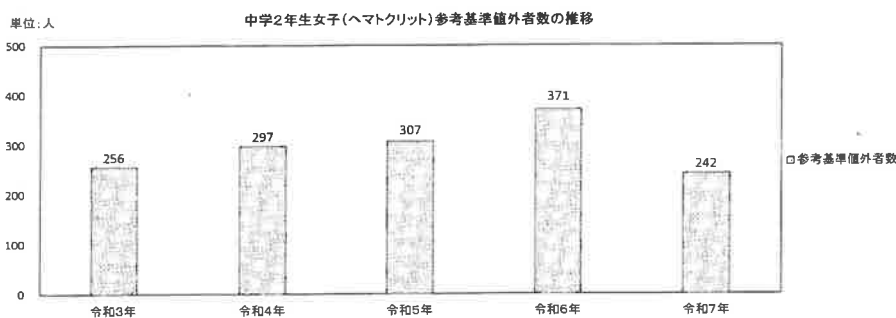
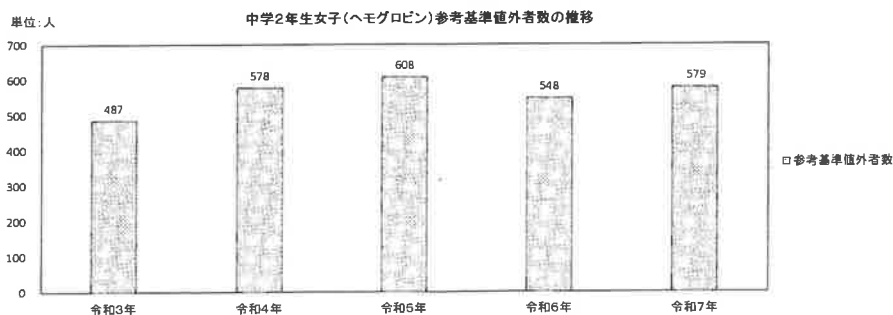


図1 中2・高2貧血検査(ヘモグロビン値・ヘマトクリット値)参考基準値外者数の推移

児童生徒心臓検診結果

群馬県の心臓検診について

1 令和7年度の心臓検診について

今年度も、予定どおり実施することができました。

御尽力いただきました関係各所の皆様に感謝申し上げます。

2 令和7年度の心臓検診結果から分かったこと

(1) 心臓検診一次検診の結果から

一次検診の有所見率は、小1、小4、中1、高1でそれぞれ4.84%、5.54%、5.98%、6.80%でした。

判定基準の一部改訂により減少した、令和2年度とほぼ同率で推移しております。（表1～表4、図1）

(2) 心臓検診二次検診等の結果から

二次検診有所見率は、小1、小4、中1、高1でそれぞれ1.38%、1.13%、1.93%、2.63%となり、例年とほぼ同率でした。（表1～表4、図6）

しかし、一次検診で有所見のため、二次検診以降の受診をすすめられていても未受診の児童生徒が、例年同様、多数見受けられます。二次検診以降の受診をすすめる指導を、引き続きよろしく願いいたします。

小学4年の心臓検診は義務化されていませんが、小学1年から中学1年までの間に、新たな心臓病を発症することがあるため、群馬県においては積極的に行われています。

令和6年度から、県内全ての市町村において施行されました。（表7）

また、令和5年度より、開業の先生方にも、二次検診に御協力いただき、診療いただいております。

御尽力いただきました関係者の皆様に改めて御礼申し上げます。

なお、二次検診において、不完全右脚ブロック、異常なしの診断名ながらE区分管理とされる過剰管理、もしくは記載ミスが依然として見られました。（別表1-5）

現在、群馬県では、学校心臓検診を紙ベースで実施しておりますが、将来的には、デジタル化を進め、学校検診で得られた貴重なデータを各児童・生徒に還元できるシステムの構築がされるよう期待しています。

心臓検診の経過

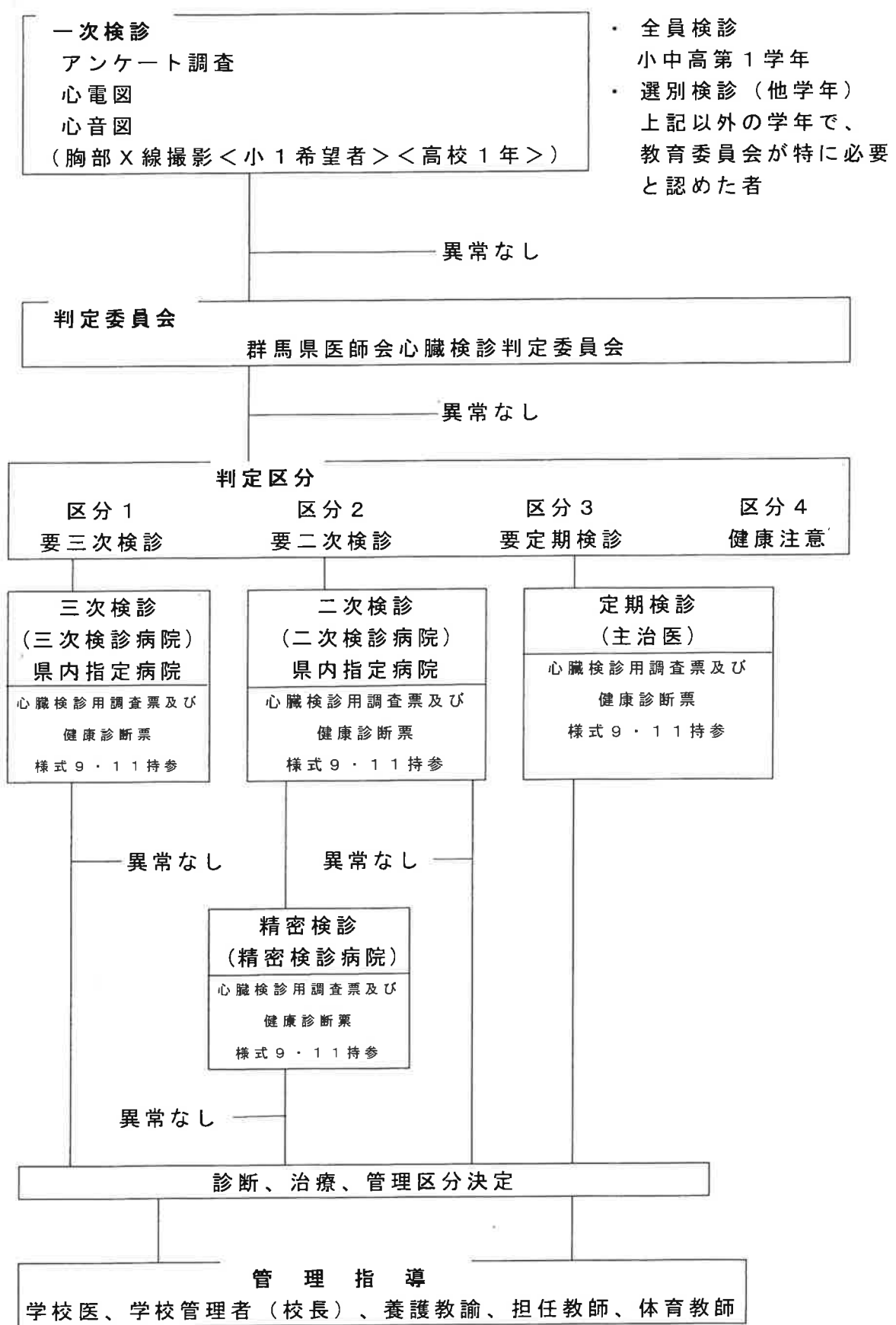


表1 小学校1年生・義務教育学校1年生心臓検診実施状況

単位：人

対象学年	一次検診 受診者数	判 定 区 分					有所見率
		有所見者数 628					
		要二次検診等 562					
区分1 要三次	区分2 要二次	区分3 要定期	区分4 健康注意	区分5 異常なし			
小1年生	12,971	0	305	257	66	12,343	4.84%

二次検診等 受診者数	異常あり 179 (111)						⑦異常なし (川崎病既往を含む)
	①先天性 心臓病・異常	②その他の 心臓病・異常	③心電図・ 心音図異常	④川崎病 後遺症	⑤その他 の異常	⑥診断未定	
498 (375)	86 (43)	6 (3)	61 (43)	1	2 (2)	23 (20)	319 (264)

⑧未受診者【64人】 受診率 88.61% 注：()は新規発見者 二次有所見率 1.38%

表2 小学校4年生・義務教育学校4年生心臓検診実施状況

単位：人

対象学年	一次検診 受診者数	判 定 区 分					有所見率
		有所見者数 781					
		要二次検診等 579					
区分1 要三次	区分2 要二次	区分3 要定期	区分4 健康注意	区分5 異常なし			
小4年生	14,108	0	337	242	202	13,327	5.54%

二次検診等 受診者数	異常あり 159 (58)						⑦異常なし (川崎病既往を含む)
	①先天性 心臓病・異常	②その他の 心臓病・異常	③心電図・ 心音図異常	④川崎病 後遺症	⑤その他 の異常	⑥診断未定	
334 (196)	70 (6)	6 (1)	68 (36)	0	1 (1)	14 (14)	175 (138)

⑧未受診者【245人】 受診率 57.69% 注：()は新規発見者 二次有所見率 1.13%

表3 中学校1年生・義務教育学校7年生・中等教育学校1年生心臓検診実施状況

単位：人

対象学年	一次検診 受診者数	判 定 区 分					有所見率
		有所見者数 873					
		要二次検診等 675					
区分1 要三次	区分2 要二次	区分3 要定期	区分4 健康注意	区分5 異常なし			
中1・中等1 年生	14,593	2	433	240	198	13,720	5.98%

二次検診等 受診者数	異常あり 281 (129)						⑦異常なし (川崎病既往を含む)
	①先天性 心臓病・異常	②その他の 心臓病・異常	③心電図・ 心音図異常	④川崎病 後遺症	⑤その他 の異常	⑥診断未定	
547 (343)	89 (12)	4 (1)	140 (74)	0	4 (2)	44 (40)	266 (214)

⑧未受診者【128人】 受診率 81.04% 注：()は新規発見者 二次有所見率 1.93%

表4 高等学校1年生・中等教育学校4年生心臓検診実施状況

単位：人

対象学年	一次検診 受診者数	判 定 区 分					有所見率
		有所見者数 762					
		要二次検診等 594			区分4 健康注意	区分5 異常なし	
区分1 要三次	区分2 要二次	区分3 要定期					
高1・中等4 年生	11,200	4	448	142	168	10,438	6.80%

二次検診等 受診者数	異常あり 294 (183)						⑦異常なし (川崎病既往を含む)
	①先天性 心臓病・異常	②その他の 心臓病・異常	③心電図・ 心音図異常	④川崎病 後遺症	⑤その他 の異常	⑥診断未定	
505 (379)	76 (20)	4	140 (94)	0	3 (2)	71 (67)	211 (196)

⑧未受診者【89人】 受診率 85.02% 注：()は新規発見者 二次有所見率 2.63%

表5 特別支援学校心臓検診実施状況

単位：人

対象学年	一次検診 受診者数	判 定 区 分					有所見率
		有所見者数 113					
		要二次検診等 102			区分4 健康注意	区分5 異常なし	
区分1 要三次	区分2 要二次	区分3 要定期					
小1・小4・中1 ・高1年生	744	1	33	68	11	631	15.19%

二次検診等 受診者数	異常あり 64 (12)						⑦異常なし (川崎病既往を含む)
	①先天性 心臓病・異常	②その他の 心臓病・異常	③心電図・ 心音図異常	④川崎病 後遺症	⑤その他 の異常	⑥診断未定	
84 (26)	47 (2)	1	7 (4)	0	5 (2)	4 (4)	20 (14)

⑧未受診者【18人】 受診率 82.35% 注：()は新規発見者 二次有所見率 8.60%

表6 心臓検診全対象学年まとめ

単位：人

対象学年	一次検診 受診者数	判 定 区 分					有所見率
		有所見者数 3,157					
		要二次検診等 2,512			区分4 健康注意	区分5 異常なし	
区分1 要三次	区分2 要二次	区分3 要定期					
小1・小4・中1 ・高1年生	53,616	7	1,556	949	645	50,459	5.89%

二次検診等 受診者数	異常あり 977 (493)						⑦異常なし (川崎病既往を含む)
	①先天性 心臓病・異常	②その他の 心臓病・異常	③心電図・ 心音図異常	④川崎病 後遺症	⑤その他 の異常	⑥診断未定	
1,968 (1,319)	368 (83)	21 (5)	416 (251)	1	15 (9)	156 (145)	991 (826)

⑧未受診者【544人】 受診率 78.34% 注：()は新規発見者 二次有所見率 1.82%

※データの集計日【令和8年1月29日現在】

1. 心臓検診一次検診の結果

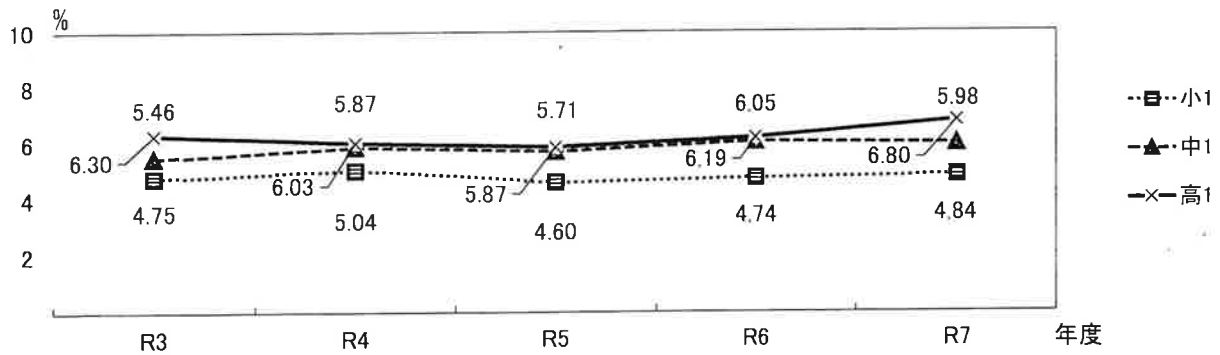


図1 心臓検診一次検診で所見のあった者の受診者に対する割合 (R3~R7)

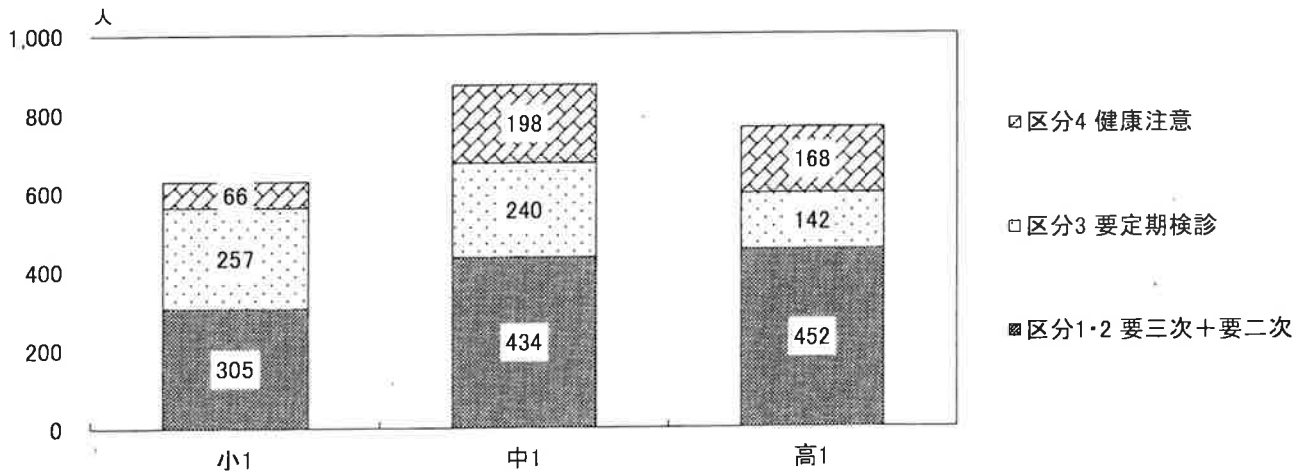


図2 心臓検診一次検診有所見者の区分 (令和7年度)

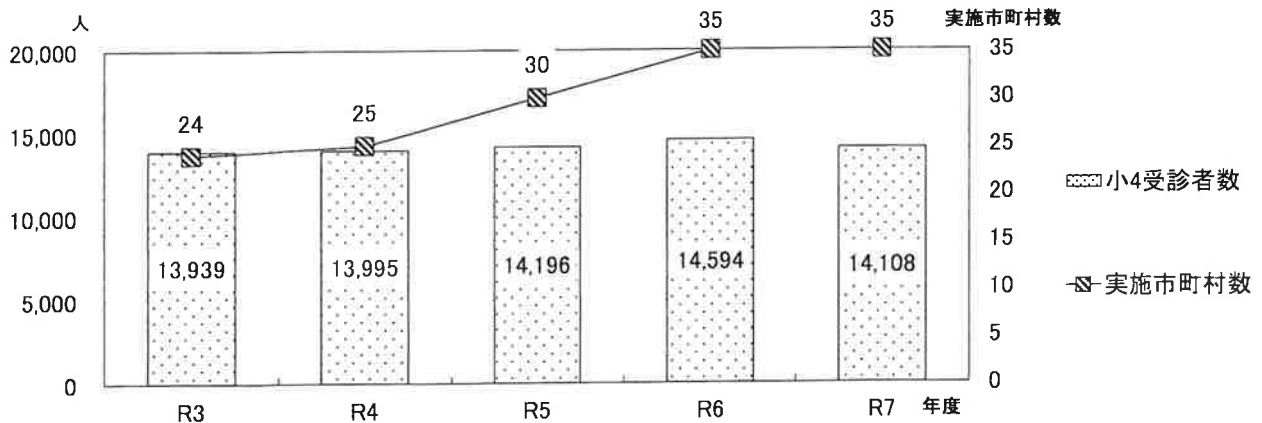


図3 小学校第4学年 心臓検診実施市町村数・小4受診者数推移 (R3~R7)

表7 小学校第4学年 心臓検診実施市町村等

実施時期		市町村名・県立学校					
1	平成30年度以前	桐生市	渋川市	東吾妻町	吉岡町	中之条町	高山村
		前橋市	県立学校 (特別支援学校小学部 第4学年)			沼田市	安中市
		長野原町	明和町	千代田町	邑楽町	みどり市	上野村
		板倉町	下仁田町	大泉町	榛東村		
2	令和元年度より	太田市	館林市	嬬恋村			
3	令和2年度より	高崎市	伊勢崎市				
4	令和4年度より	藤岡市					
5	令和5年度より	玉村町	草津町	みなかみ町	昭和村	片品村	
6	令和6年度より	富岡市	神流町	甘楽町	南牧村	川場村	

2. 心臓検診二次検診等の結果

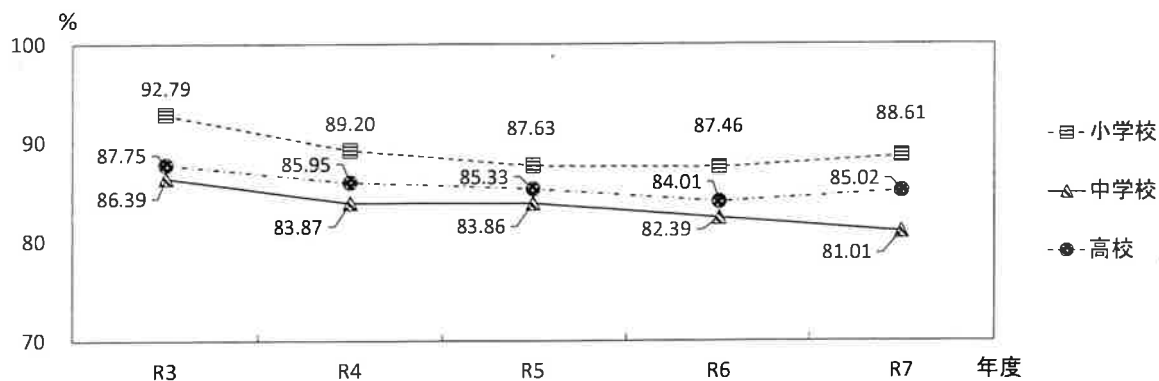


図4 心臓検診 二次検診等受診率(R3~R7)

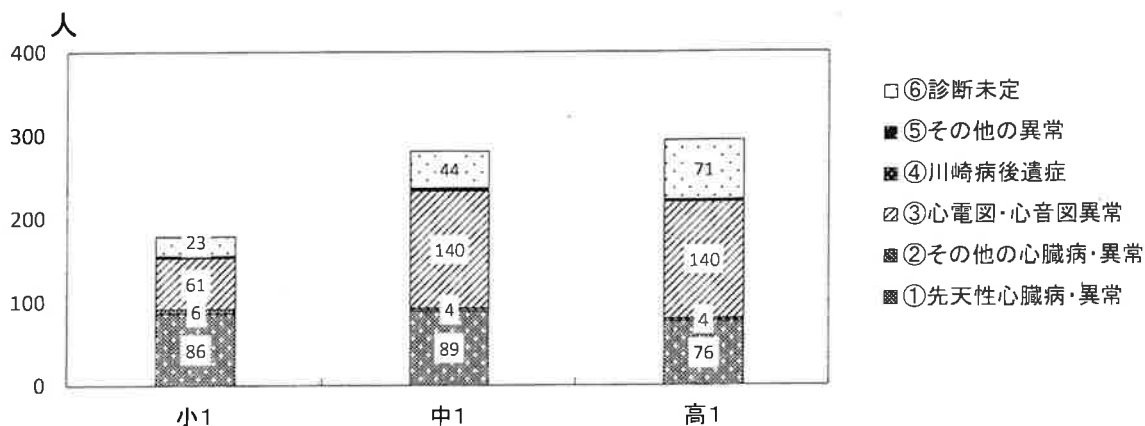


図5 心臓検診二次検診等結果(有所見診断区分:R7)

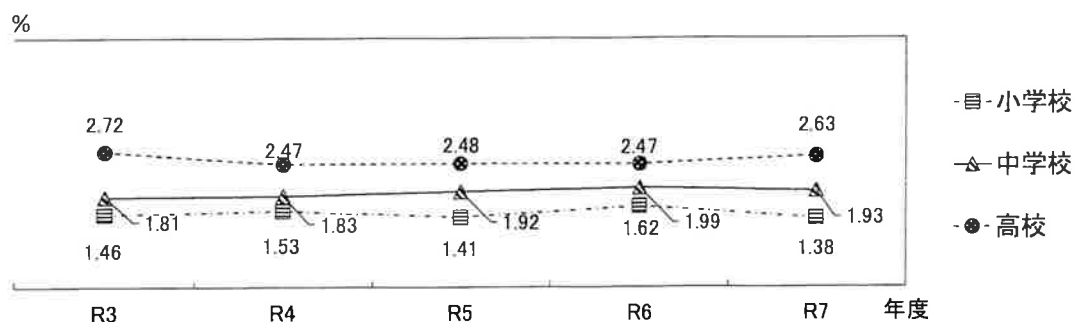


図6 二次検診等で所見があった者の一次検診受診者に対する割合(R3~R7)

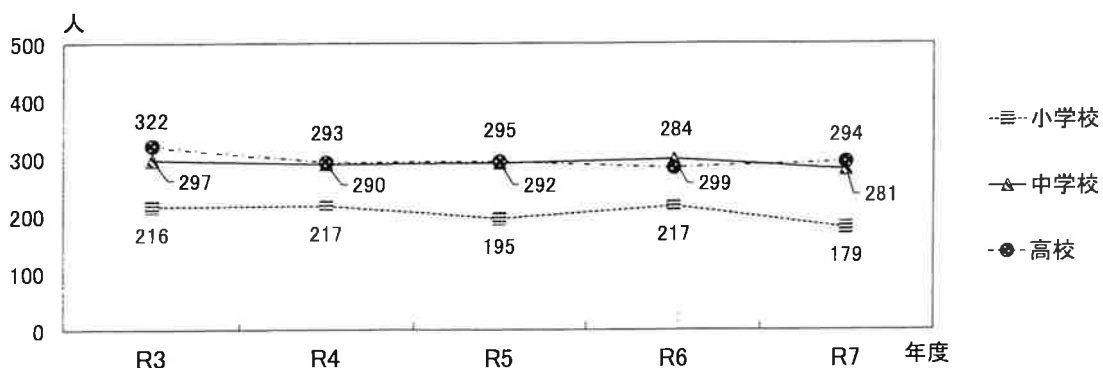


図7 二次検診等受診後の有所見者の総数(R3~R7)

別表1 小学校1年(義務1年) 二次・三次・主治医検診結果及び管理指導区分

※ () 内は新規発見者数

区分	コード	二次・三次検診診断名	人数		管理指導区分									
			実数	(新規)	A	B	C	D	E禁	E	管理不要			
1	111	心室中隔欠損(症)(疑い)	10	(4)							10	(4)		
1	112	心室中隔欠損症術後	18	(6)							18	(6)		
1	113	心室中隔欠損症自然閉鎖	2	(2)									2	(2)
1	121	心房中隔(二次孔)欠損(症)(疑い)	12	(5)							11	(4)	1	(1)
1	122	心房中隔(二次孔)欠損症術後	4	(4)							4	(4)		
1	131	動脈管開存(症)	1	(1)							1	(1)		
1	132	動脈管開存症術後	1								1			
1	181	肺動脈(弁)閉鎖不全(症)	1	(1)							1	(1)		
1	191	(純型)肺動脈(弁)狭窄(症)(PPS)	9	(3)							9	(3)		
1	192	肺動脈(弁)狭窄症術後	2								2			
1	1161	僧帽弁閉鎖不全(症)	3	(3)							3	(3)		
1	1162	僧帽弁逆流(軽度)	1	(1)									1	(1)
1	1163	僧帽弁閉鎖不全症術後	1	(1)							1	(1)		
1	1171	僧帽弁膜異常	1	(1)							1	(1)		
1	1191	大動脈弁閉鎖不全(逆流)症	2	(1)							2	(1)		
1	1203	大動脈縮窄症術後	1				1							
1	1221	両大血管右室起始(症)	1	(1)							1	(1)		
1	1222	両大血管右室起始症術後	1								1			
1	1233	ファロー四徴症術後	4	(1)						1	(1)	3		
1	1252	三尖弁閉鎖不全(逆流)	2	(2)							2	(2)		
1	1272	(完全)大血管転位(転換)症術後	1								1			
1	1301	エプスタイン奇形(心)	1								1			
1	1312	三心房心術後	1								1			
1	1332	大動脈四尖弁	1	(1)							1	(1)		
1	1405	大動脈肺動脈窓術後	2	(2)							2	(2)		
1	1411	右胸心(内蔵逆位心)	2	(2)									2	(2)
1	1480	その他の先天性心疾患	1	(1)							1	(1)		
2	224	心筋炎の既往	1	(1)									1	(1)
2	232	心筋症(疑い)	2	(1)						1	(1)	1		
2	234	拡張(うっ血)型心筋症(疑い)	1								1			
2	281	心臓腫瘍	2	(1)							2	(1)		
3	311	心室性期外収縮(疑い)	28	(23)							16	(11)	12	(12)
3	321	心房性(上室性)期外収縮	4	(2)							2		2	(2)
3	372	心室性頻脈(拍)症の既往	1								1			
3	3141	第1度房室ブロック	1	(1)									1	(1)
3	3151	第2度房室ブロック	1	(1)							1	(1)		
3	3153	ウエンケバッハ型第2度房室ブロック	1								1			
3	3181	完全右脚ブロック	6	(5)							1	(1)	5	(4)
3	3192	WPW症候群(疑い)	10	(7)							5	(2)	5	(5)
3	3193	PR(Q)短縮(症候群)(疑い)	1	(1)									1	(1)
3	3201	QT延長(症候群)	6	(3)							4	(1)	2	(2)
3	3211	ブルガタ症候群(心電図)	2								2			

別表1 小学校1年(義務1年) 二次・三次・主治医検診結果及び管理指導区分

※ ()内は新規発見者数

区分	コード	二次・三次検診診断名	人数 実数 (新規)	管理指導区分						
				A	B	C	D	E禁	E	管理不要
4	411	川崎病冠動脈瘤(の既往)	1						1	
5	560	その他の異常	2 (2)						1 (1)	1 (1)
6	612	不完全右脚ブロック	17 (14)						4 (2)	13 (12)
6	6110	左室肥大	2 (2)							2 (2)
6	6122	高電位(差)	4 (4)						1 (1)	3 (3)
7	711	異常なし	176 (176)							176 (176)
7	712	川崎病の既往	126 (73)						71 (26)	55 (47)
7	7111	洞性不整脈	1 (1)							1 (1)
7	723	Q波の異常(正常バリエーション)	2 (2)							2 (2)
7	725	T波の異常(正常バリエーション)	8 (8)							8 (8)
7	751	現在疑われない先天性心疾患	3 (2)						2 (1)	1 (1)
7	770	その他の異常なし	3 (2)							3 (2)
8	811	未受診	64 (55)							64 (55)
合計			562 (430)			1		2 (2)	195 (84)	364 (344)

区分	1	先天性心臓病・異常	86 (43)			1		1 (1)	78 (36)	6 (6)
	2	その他の心臓病・異常	6 (3)					1 (1)	4 (1)	(1)
	3	心電図・心音図異常	61 (43)						33 (16)	28 (27)
	4	川崎病後遺症	1						1	
	5	その他の異常	2 (2)						1 (1)	1 (1)
	6	診断未定	23 (20)						5 (3)	18 (17)
	7	異常なし	319 (264)						73 (27)	246 (237)
二次検診等受診者 合計			498 (375)			1		2 (2)	195 (84)	300 (289)
	8	未受診	64 (55)							
総合計			562 (430)							

<管理指導区分> A 在宅医療または入院治療が必要なもの B 登校はできるが運動は不可
C 軽い運動は可 D 中等度の運動も可 E 強い運動も可
※E禁等については、「学校生活管理指導表」を参照

二次・三次・主治医検診等受診率	88.61%
-----------------	--------

別表2 小学校4年(義務4年) 二次・三次・主治医検診結果及び管理指導区分

※ () 内は新規発見者数

区分	コード	二次・三次検診診断名	人 数		管 理 指 導 区 分							
			実数 (新規)		A	B	C	D禁	D	E禁	E	管理不要
1	111	心室中隔欠損(症)(疑い)	6								5	1
1	112	心室中隔欠損症術後	10								10	
1	121	心房中隔(二次孔)欠損(症)(疑い)	7 (1)								7 (1)	
1	122	心房中隔(二次孔)欠損症術後	6								6	
1	131	動脈管開存(症)	1 (1)								1 (1)	
1	152	総動脈幹遺残症術後	2								2	
1	162	肺動脈(弁)閉鎖症術後	1				1					
1	191	(純型)肺動脈(弁)狭窄(症)(PPS)	6								6	
1	192	肺動脈(弁)狭窄症術後	2								2	
1	1102	総肺静脈環流異常症術後	1								1	
1	1121	冠(状)動静脈(瘻)交通	2								2	
1	1161	僧帽弁閉鎖不全(症)	7 (3)								7 (3)	
1	1163	僧帽弁閉鎖不全症術後	1						1			
1	1181	大動脈弁狭窄	1								1	
1	1191	大動脈弁閉鎖不全(逆流)症	3								3	
1	1215	大動脈弓離断症術後	1								1	
1	1222	両大血管右室起始症術後	2						1		1	
1	1233	ファロー四徴症術後	3								3	
1	1251	三尖弁閉鎖不全(逆流)(症)	1								1	
1	1272	(完全)大血管転位(転換)症術後	1								1	
1	1301	エプスタイン奇形(心)	1								1	
1	1331	大動脈二尖弁	2 (1)								2 (1)	
1	1391	単心室	3						1		2	
2	232	心筋症(疑い)	3 (1)								3 (1)	
2	233	肥大型心筋症(疑い)	2								2	
2	281	心臓腫瘍	1								1	
3	311	心室性期外収縮(疑い)	28 (13)								22 (10)	6 (3)
3	321	心房性(上室性)期外収縮	6 (3)								4 (1)	2 (2)
3	3153	ウエンケバッハ型第2度房室ブロック	2 (1)								2 (1)	
3	3171	心室内伝導障害(疑い)	1 (1)								1 (1)	
3	3181	完全右脚ブロック	7 (4)								3	4 (4)
3	3192	WPW症候群(疑い)	12 (4)								10 (3)	2 (1)
3	3201	QT延長(症候群)	12 (10)								6 (4)	6 (6)

別表2 小学校4年(義務4年) 二次・三次・主治医検診結果及び管理指導区分

※ () 内は新規発見者数

区分	コード	二次・三次検診診断名	人数		管理指導区分												
			実数	(新規)	A	B	C	D禁	D	E禁	E	管理不要					
5	560	その他の異常	1	(1)								1	(1)				
6	611	心電図異常	1	(1)										1	(1)		
6	612	不完全右脚ブロック	10	(10)								1	(1)	9	(9)		
6	619	右室肥大	1	(1)										1	(1)		
6	6110	左室肥大	1	(1)										1	(1)		
6	6115	右脚ブロック	1	(1)										1	(1)		
7	711	異常なし	108	(108)											108	(108)	
7	712	川崎病の既往	47	(15)									17	(1)	30	(14)	
7	715	機能性(無害性)(収縮期)心雑音	3	(3)											3	(3)	
7	716	卵円孔開存	1												1		
7	7111	洞性不整脈	1	(1)											1	(1)	
7	725	T波の異常(正常バリエーション)	7	(7)											7	(7)	
7	737	ペースメーカー移動(シフト)	1	(1)											1	(1)	
7	751	現在疑われない先天性心疾患	2	(1)									1		1	(1)	
7	770	その他の異常なし	5	(2)											5	(2)	
8	811	未受診	245	(178)												245	(178)
合計			579	(374)					1			3		139	(30)	436	(344)

区分	1	先天性心臓病・異常	70	(6)				1			3		65	(6)	1	
	2	その他の心臓病・異常	6	(1)									6	(1)		
	3	心電図・心音図異常	68	(36)									48	(20)	20	(16)
	4	川崎病後遺症														
	5	その他の異常	1	(1)									1	(1)		
	6	診断未定	14	(14)									1	(1)	13	(13)
	7	異常なし	175	(138)									18	(1)	157	(137)
	二次検診等受診者 合計		334	(196)				1			3		139	(30)	191	(166)
	8	未受診	245	(178)												
	総合計		579	(374)												

<管理指導区分> A 在宅医療または入院治療が必要なもの B 登校はできるが運動は不可 C 軽い運動は可

D 中等度の運動も可 E 強い運動も可 ※D禁等については、「学校生活管理指導表」を参照

二次・三次・主治医検診等受診率	57.69%
-----------------	--------

別表3 中学校1年(義務7年・中等1年) 二次・三次・主治医検診結果及び管理指導区分

※ () 内は新規発見者数

区分	コード	二次・三次検診診断名	人数 実数 (新規)	管理指導区分									
				A	B	C禁	C	D禁	D	E禁	E	管理不要	
1	111	心室中隔欠損(症)(疑い)	11									11	
1	112	心室中隔欠損症術後	9									9	
1	121	心房中隔(二次孔)欠損(症)(疑い)	6 (1)									6 (1)	
1	122	心房中隔(二次孔)欠損症術後	4									4	
1	131	動脈管開存(症)	1									1	
1	132	動脈管開存症術後	3									1	2
1	191	(純型)肺動脈(弁)狭窄(症)(PPS)	6									6	
1	1102	総肺静脈環流異常症術後	2									2	
1	1112	部分肺静脈環流異常症術後	1									1	
1	1161	僧帽弁閉鎖不全(症)	15 (3)					1				11 (2)	3 (1)
1	1162	僧帽弁逆流(軽度)	5 (3)									4 (2)	1 (1)
1	1191	大動脈弁閉鎖不全(逆流)症	1									1	
1	1201	大動脈縮窄(症)	1			1							
1	1215	大動脈弓離断症術後	1									1	
1	1221	両大血管右室起始(症)	1 (1)									1 (1)	
1	1231	ファロー四徴(症)	1							1			
1	1233	ファロー四徴症術後	5					1			2	2	
1	1251	三尖弁閉鎖不全(逆流)(症)	5 (3)									5 (3)	
1	1252	三尖弁閉鎖不全(逆流)	1 (1)									1 (1)	
1	1272	(完全)大血管転位(転換)症術後	2									2	
1	1282	修正大血管転位(転換)症術後	1						1				
1	1331	大動脈二尖弁	3									3	
1	1391	単心室	3								2	1	
1	1392	単心室術後	1									1	
2	224	心筋炎の既往	1									1	
2	232	心筋症(疑い)	1 (1)									1 (1)	
2	281	心臓腫瘍	2									2	
3	311	心室性期外収縮(疑い)	74 (41)							1 (1)		56 (25)	17 (15)
3	321	心房性(上室性)期外収縮	10 (7)									7 (4)	3 (3)
3	391	上室性(心房性)頻脈(拍)症(疑い)	1									1	
3	3101	発作性上室性(心房性)頻脈(拍)症(疑い)	1 (1)									1 (1)	
3	3102	発作性上室性(心房性)頻脈(拍)症の既往	1 (1)										1 (1)
3	3141	第1度房室ブロック	6 (5)									3 (2)	3 (3)
3	3151	第2度房室ブロック	6 (1)									5	1 (1)
3	3153	ウエンケバッハ型第2度房室ブロック	1 (1)									1 (1)	
3	3172	左脚前枝ブロック	1									1	
3	3173	二枝ブロック	1									1	
3	3181	完全右脚ブロック	6 (3)									2	4 (3)
3	3192	WPW症候群(疑い)	16 (5)									15 (4)	1 (1)
3	3201	QT延長(症候群)	15 (8)									13 (7)	2 (1)
3	3211	ブルガタ症候群(心電図)	1 (1)										1 (1)

別表3 中学校1年(義務7年・中等1年) 二次・三次・主治医検診結果及び管理指導区分

※ () 内は新規発見者数

区分	コード	二次・三次検診診断名	人 数 実数 (新規)	管 理 指 導 区 分								
				A	B	C禁	C	D禁	D	E禁	E	管理不要
5	533	(進行性)筋ジストロフィ症	1							1		
5	536	マルファン症候群	1								1	
5	560	その他の異常	2 (2)			1 (1)			1 (1)			
6	611	心電図異常	4 (4)								2 (2)	2 (2)
6	612	不完全右脚ブロック	29 (27)								5 (3)	24 (24)
6	615	STの異常	2 (1)								2 (1)	
6	616	T波の異常	2 (1)								2 (1)	
6	6110	左室肥大	2 (2)								1 (1)	1 (1)
6	6115	右脚ブロック	1 (1)									1 (1)
6	6117	早期再分極	1 (1)									1 (1)
6	6120	心肥大	1 (1)									1 (1)
6	6122	高電位(差)	1 (1)									1 (1)
6	621	収縮期(心)雑音	1 (1)									1 (1)
7	711	異常なし	187 (178)									187 (178)
7	712	川崎病の既往	51 (12)								15 (4)	36 (8)
7	715	機能性(無害性)(収縮期)心雑音	6 (6)								1 (1)	5 (5)
7	717	(生理的)洞性徐脈	2 (2)									2 (2)
7	7111	洞性不整脈	3 (3)								1 (1)	2 (2)
7	725	T波の異常(正常バリエーション)	12 (11)								1	11 (11)
7	736	房室解離	1 (1)									1 (1)
7	738	異所性調律	1								1	
7	770	その他の異常なし	3 (1)									3 (1)
8	811	未受診	128 (88)									128 (88)
合 計			675 (431)			2 (1)		2	3 (2)	6	216 (69)	446 (359)

区分	1	先天性心臓病・異常	89 (12)			1		2	1	5	74 (10)	6 (2)
	2	その他の心臓病・異常	4 (1)								4 (1)	
	3	心電図・心音図異常	140 (74)						1 (1)		106 (44)	33 (29)
	4	川崎病後遺症										
	5	その他の異常	4 (2)			1 (1)			1 (1)	1	1	
	6	診断未定	44 (40)								12 (8)	32 (32)
	7	異常なし	266 (214)								19 (6)	247 (208)
二次検診等受診者 合 計			547 (343)			2 (1)		2	3 (2)	6	216 (69)	318 (271)
8		未受診	128 (88)									
総 合 計			675 (431)									

<管理指導区分> A 在宅医療または入院治療が必要なもの B 登校はできるが運動は不可 C 軽い運動は可

D 中等度の運動も可 E 強い運動も可 ※D禁等については、「学校生活管理指導表」を参照

二次・三次・主治医検診等受診率 81.04%

別表4 高等学校1年(中等4年)二次・三次・主治医検診結果及び管理指導区分

※()内は新規発見者数

区分	コード	二次・三次検診診断名	人数 実数(新規)	管理指導区分								管理不要
				A	B	C禁	C	D禁	D	E禁	E	
1	111	心室中隔欠損(症)(疑い)	6(1)								5(1)	1
1	112	心室中隔欠損症術後	4								4	
1	113	心室中隔欠損症自然閉鎖	1								1	
1	121	心房中隔(二次孔)欠損(症)(疑い)	8(3)				1(1)				4	3(2)
1	122	心房中隔(二次孔)欠損症術後	8(1)								8(1)	
1	131	動脈管開存(症)	1								1	
1	132	動脈管開存症術後	4								1	3
1	161	(純型)肺動脈(弁)閉鎖(症)(PPA)	2								1	1
1	191	(純型)肺動脈(弁)狭窄(症)(PPS)	2								2	
1	192	肺動脈(弁)狭窄症術後	1								1	
1	1102	総肺静脈環流異常症術後	1								1	
1	1121	冠(状)動静脈(瘻)交通	1									1
1	1123	冠(状)動脈肺動脈(瘻)交通症	1								1	
1	1153	僧帽弁逸脱(軽度)	1(1)								1(1)	
1	1161	僧帽弁閉鎖不全(症)	8(5)								6(4)	2(1)
1	1162	僧帽弁逆流(軽度)	2(2)									2(2)
1	1181	大動脈弁狭窄	1								1	
1	1184	大動脈弁狭窄術後	1								1	
1	1191	大動脈弁閉鎖不全(逆流)症	2								2	
1	1233	フアロー四徴症術後	2								2	
1	1251	三尖弁閉鎖不全(逆流)(症)	6(4)								3(1)	3(3)
1	1252	三尖弁閉鎖不全(逆流)	1(1)									1(1)
1	1271	(完全)大血管転位(転換)(症)	2							1	1	
1	1272	(完全)大血管転位(転換)症術後	1								1	
1	1311	三(心)房心	1								1	
1	1331	大動脈二尖弁	2								1	1
1	1391	単心室	1							1		
1	1392	単心室術後	2(1)						1(1)		1	
1	1411	右胸心(内蔵逆位心)	1(1)									1(1)
1	1434	肺動脈輪	1								1	
1	1480	その他の先天性心疾患	1								1	
2	232	心筋症(疑い)	2								2	
2	233	肥大型心筋症(疑い)	1						1			
2	234	拡張(うっ血)型心筋症(疑い)	1			1						
3	311	心室性期外収縮(疑い)	55(31)					1(1)			21(4)	33(26)
3	321	心房性(上室性)期外収縮	14(11)								8(5)	6(6)
3	3121	洞機能不全症候群(疑い)	1(1)								1(1)	
3	3131	洞房ブロック	1(1)									1(1)
3	3141	第1度房室ブロック	10(8)								3(1)	7(7)
3	3151	第2度房室ブロック	4(3)								1(1)	3(2)
3	3153	ウエンケバッハ型第2度房室ブロック	9(8)								4(3)	5(5)
3	3171	心室内伝導障害(疑い)	6(4)								4(2)	2(2)
3	3172	左脚前枝ブロック	5(5)									5(5)
3	3181	完全右脚ブロック	4(3)									4(3)
3	3192	WPW症候群(疑い)	17(8)								11(5)	6(3)
3	3201	QT延長(症候群)	10(9)							2(1)	6(6)	2(2)
3	3211	ブルガタ症候群(心電図)	3(2)								1	2(2)
3	3231	心室(固有)調律	1									1

別表4 高等学校1年（中等4年）二次・三次・主治医検診結果及び管理指導区分

※（ ）内は新規発見者数

区分	コード	二次・三次検診診断名	人数		管理指導区分							管理不要							
			実数	(新規)	A	B	C禁	C	D禁	D	E禁		E						
5	526	反時計回転(心)(臓)	1	(1)										1	(1)				
5	536	マルファン症候群	1										1						
5	560	その他の異常	1	(1)					1	(1)									
6	611	心電図異常	11	(9)									3	(1)	8	(8)			
6	612	不完全右脚ブロック	33	(32)									2	(2)	31	(30)			
6	615	STの異常	3	(3)									1	(1)	2	(2)			
6	618	左軸偏位	2	(2)											2	(2)			
6	6110	左室肥大	2	(2)											2	(2)			
6	6113	徐脈	1	(1)											1	(1)			
6	6115	右脚ブロック	3	(3)											3	(3)			
6	6117	早期再分極	11	(10)									2	(1)	9	(9)			
6	6120	心肥大	1	(1)											1	(1)			
6	6122	高電位(差)	3	(3)											3	(3)			
6	637	左室異常	1	(1)									1	(1)					
7	711	異常なし	153	(152)											153	(152)			
7	712	川崎病の既往	23	(12)									7	(3)	16	(9)			
7	714	スポーツ心臓	1	(1)											1	(1)			
7	715	機能性(無害性)(収縮期)心雑音	6	(6)											6	(6)			
7	717	(生理的)洞性徐脈	4	(4)											4	(4)			
7	7111	洞性不整脈	4	(3)									1		3	(3)			
7	723	Q波の異常(正常バリエーション)	1	(1)											1	(1)			
7	724	STの異常(正常バリエーション)	2	(2)									1	(1)	1	(1)			
7	725	T波の異常(正常バリエーション)	10	(10)									2	(2)	8	(8)			
7	736	房室解離	2	(2)											2	(2)			
7	738	異所性調律	1	(1)									1	(1)					
7	751	現在疑われない先天性心疾患	2	(1)											2	(1)			
7	770	その他の異常なし	2	(1)											2	(1)			
8	811	未受診	89	(77)											89	(77)			
合計			594	(456)			1	1	(1)	2	(2)	2	(1)	4	(1)	137	(49)	447	(402)

区分	1	先天性心臓病・異常	76	(20)				1	(1)		1	(1)	2		53	(8)	19	(10)	
	2	その他の心臓病・異常	4				1				1				2				
	3	心電図・心音図異常	140	(94)					1	(1)			2	(1)	60	(28)	77	(64)	
	4	川崎病後遺症																	
	5	その他の異常	3	(2)						1	(1)				1		1	(1)	
	6	診断未定	71	(67)											9	(6)	62	(61)	
	7	異常なし	211	(196)											12	(7)	199	(189)	
		二次検診等受診者 合計	505	(379)			1	1	(1)	2	(2)	2	(1)	4	(1)	137	(49)	358	(325)
	8	未受診	89	(77)															
		合計	594	(456)															

<管理指導区分> A 在宅医療または入院治療が必要なもの B 登校はできるが運動は不可 C 軽い運動は可

D 中等度の運動も可 E 強い運動も可 ※D禁等については、「学校生活管理指導表」を参照

二次・三次・主治医検診等受診率 85.02%

別表5 特別支援学校(小1・小4・中1・高1) 二次・三次・主治医検診結果及び管理指導区分

※ () 内は新規発見者数

区分	コード	二次・三次検診診断名	人数		管理指導区分							管理不要		
			実数(新規)		A	B	C禁	C	D禁	D	E禁		E	
1	111	心室中隔欠損(症)(疑い)	2										2	
1	112	心室中隔欠損症術後	8										8	
1	121	心房中隔(二次孔)欠損(症)(疑い)	3										3	
1	122	心房中隔(二次孔)欠損症術後	4					1					3	
1	131	動脈管開存(症)	3					1					2	
1	132	動脈管開存症術後	1										1	
1	152	総動脈幹遺残症術後	1						1					
1	191	(税型)肺動脈(弁)狭窄(症)(PPS)	1										1	
1	1102	総肺静脈環流異常症術後	1										1	
1	1121	冠(伏)動静脈(優)交通	1										1	
1	1131	心内臓床(一次孔)欠損(症)	1										1	
1	1135	房室中隔欠損症(ADSD)術後	5										5	
1	1161	僧帽弁閉鎖不全(症)	1 (1)										1 (1)	
1	1182	大動脈弁上狭窄	1										1	
1	1191	大動脈弁閉鎖不全(逆流)症	2 (1)										2 (1)	
1	1201	大動脈縮窄(症)	1										1	
1	1203	大動脈縮窄症術後	1										1	
1	1204	大動脈縮窄症複合術後	1										1	
1	1233	フォロー四徴症術後	3										3	
1	1251	三尖弁閉鎖不全(逆流)(症)	1									1		
1	1312	三心房心術後	1				1							
1	1341	左心嚢形成症候群	1									1		
1	1391	単心室	1										1	
1	1451	(原発性)肺高血圧症	1				1							
1	1480	その他の先天性心疾患	1										1	
2	232	心筋症(疑い)	1									1		
3	311	心室性期外収縮(疑い)	3 (2)										1	2 (2)
3	321	心房性(上室性)期外収縮	1 (1)											1 (1)
3	3121	洞機能不全症候群(疑い)	1										1	
3	3192	WPW症候群(疑い)	2 (1)							1 (1)			1	
5	533	(進行性)筋ジストロフィ症	3 (1)										3 (1)	
5	560	その他の異常	2 (1)										1	1 (1)
6	612	不完全右脚ブロック	2 (2)											2 (2)
6	618	左軸偏位	1 (1)										1 (1)	
6	6115	右脚ブロック	1 (1)											1 (1)
7	711	異常なし	12 (9)											12 (9)
7	712	川崎病の既往	1											1
7	716	卵円孔開存	2 (2)										2 (2)	
7	717	(生理的)洞性徐脈	1										1	
7	725	T波の異常(正常バリエーション)	2 (2)											2 (2)
7	770	その他の異常なし	2 (1)											2 (1)
8	811	未受診	18 (8)											18 (8)
		合計	102 (34)				2		3	1 (1)	3		51 (6)	42 (27)

区分	1	先天性心臓病・異常	47 (2)				2		3			2	40 (2)	
	2	その他の心臓病・異常	1									1		
	3	心電図・心音図異常	7 (4)							1 (1)			3	3 (3)
	4	川崎病後遺症												
	5	その他の異常	5 (2)										4 (1)	(1)
	6	診断未定	4 (4)										1 (1)	3 (3)
	7	異常なし	20 (14)										3 (2)	17 (12)
		二次検診等受診者 合計	84 (26)				2		3	1 (1)	3		51 (6)	24 (19)
	8	未受診	18 (8)											
		合計	102 (34)											

<管理指導区分> A 在宅医療または入院治療が必要なもの B 登校はできるが運動は不可 C 軽い運動は可
D 中等度の運動も可 E 強い運動も可 ※D禁等については「学校生活管理指導表」を参照

二次・三次・主治医検診等受診率 82.35%

表8 心臓検診二次検診等結果 各管理区分の人数（令和7年度）

	E禁以上	E	管理不要	計
小学校（小1・小4）	7	334	491	832
中学校（中1）	13	216	318	547
高等学校（高1）	10	137	358	505
計	30	687	1,167	1,884

表9 心臓検診二次検診等結果 管理区分C以上の症例（令和7年度）

小学校（小1：1件）

コード	区分	二次・三次検診診断名	管理指導区分
1203	先天性心臓病・異常	大動脈縮窄症術後	C

中学校（中1：2件）

コード	区分	二次・三次検診診断名	管理指導区分
560	その他の異常	その他の異常	C禁※1
1201	先天性心臓病・異常	大動脈縮窄(症)	C禁

※1心臓では管理不要だが、他の疾患で管理指導区分「C禁」となっているため

高等学校（高1：2件）

コード	区分	二次・三次検診診断名	管理指導区分
234	その他の心臓病・異常	拡張(うっ血)型心筋症(疑い)	C禁
121	先天性心臓病・異常	心房中隔(二次孔)欠損(症)(疑い)	C

<管理指導区分>

- A 在宅医療または入院治療が必要なもの
- B 登校はできるが運動は不可
- C 軽い運動は可
- D 中程度の運動も可
- E 強い運動も可

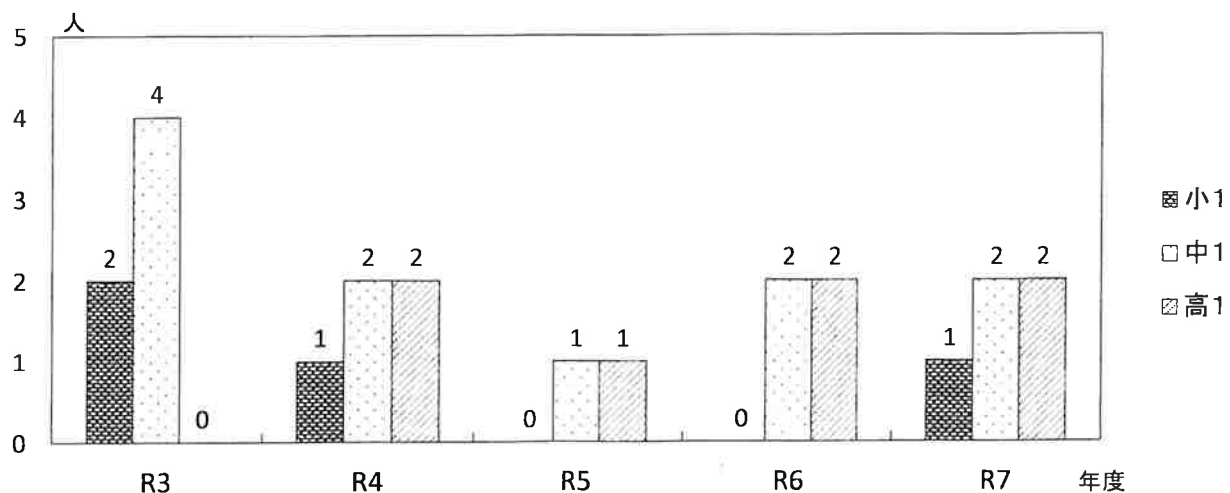


図6 心臓検診 二次検診等結果 管理区分C以上の症例数

心臓検診(二次・三次病名診断表)

二次・三次 検診診断 名コード	二次・三次 診断 大分類	二次・三次 診断 大分類名	二次・三次 病名コード	二次・三次検診病名	二次・三次検診診断名	統計上 抽出 コード	統計上特に抽出する診断名
111	1	先天性心臓病・異常	11	心室中隔欠損(VSD)	心室中隔欠損(症)(疑い)	ア	心室中隔欠損症および術後
112	1	先天性心臓病・異常	11	心室中隔欠損(VSD)	心室中隔欠損症術後	ア	心室中隔欠損症および術後
113	1	先天性心臓病・異常	11	心室中隔欠損(VSD)	心室中隔欠損症自然閉鎖	ア	心室中隔欠損症および術後
114	1	先天性心臓病・異常	11	心室中隔欠損(VSD)	心室中隔欠損症閉鎖過程	ア	心室中隔欠損症および術後
115	1	先天性心臓病・異常	11	心室中隔欠損(VSD)	心室中隔欠損症の既往	ア	心室中隔欠損症および術後
116	1	先天性心臓病・異常	11	心室中隔欠損(VSD)	VSD+ASD+PDA	ア	心室中隔欠損症および術後
117	1	先天性心臓病・異常	11	心室中隔欠損(VSD)	VSD+ASD	ア	心室中隔欠損症および術後
118	1	先天性心臓病・異常	11	心室中隔欠損(VSD)	VSD+PDA	ア	心室中隔欠損症および術後
119	1	先天性心臓病・異常	11	心室中隔欠損(VSD)	VSD+PS	ア	心室中隔欠損症および術後
121	1	先天性心臓病・異常	12	心房中隔(二次孔)欠損(ASD)、(不完全)心内臓床欠損症(一次孔)	心房中隔(二次孔)欠損(症)(疑い)	イ	心房中隔欠損症および術後
122	1	先天性心臓病・異常	12	心房中隔(二次孔)欠損(ASD)、(不完全)心内臓床欠損症(一次孔)	心房中隔(二次孔)欠損症術後	イ	心房中隔欠損症および術後
123	1	先天性心臓病・異常	12	心房中隔(二次孔)欠損(ASD)、(不完全)心内臓床欠損症(一次孔)	ASD+PDA	イ	心房中隔欠損症および術後
124	1	先天性心臓病・異常	12	心房中隔(二次孔)欠損(ASD)、(不完全)心内臓床欠損症(一次孔)	ASD+PAPVR	イ	心房中隔欠損症および術後
125	1	先天性心臓病・異常	12	心房中隔(二次孔)欠損(ASD)、(不完全)心内臓床欠損症(一次孔)	ASD+PS	イ	心房中隔欠損症および術後
126	1	先天性心臓病・異常	12	心房中隔(二次孔)欠損(ASD)、(不完全)心内臓床欠損症(一次孔)	(不完全)心内臓床欠損症(一次孔)	イ	心房中隔欠損症および術後
131	1	先天性心臓病・異常	13	動脈管開存(PDA)	動脈管開存(症)		動脈管開存症および術後
132	1	先天性心臓病・異常	13	動脈管開存(PDA)	動脈管開存症術後		動脈管開存症および術後
133	1	先天性心臓病・異常	13	動脈管開存(PDA)	動脈管開存症の既往(自然閉鎖)		動脈管開存症および術後
134	1	先天性心臓病・異常	13	動脈管開存(PDA)	PDA+PS		動脈管開存症および術後
141	1	先天性心臓病・異常	14	動脈管動脈瘤	動脈管動脈瘤		動脈管動脈瘤および術後
151	1	先天性心臓病・異常	15	総動脈幹遺残(TRUNCUS)	総動脈幹遺残(症)		総動脈幹遺残症および術後
152	1	先天性心臓病・異常	15	総動脈幹遺残(TRUNCUS)	総動脈幹遺残症術後		総動脈幹遺残症および術後
161	1	先天性心臓病・異常	16	肺動脈(弁)閉鎖(PPA)	(純型)肺動脈(弁)閉鎖(症)(PPA)		肺動脈弁閉鎖症および術後
162	1	先天性心臓病・異常	16	肺動脈(弁)閉鎖(PPA)	肺動脈(弁)閉鎖症術後		肺動脈弁閉鎖症および術後
171	1	先天性心臓病・異常	17	肺動脈(弁)欠損	肺動脈(弁)欠損(症)		肺動脈弁欠損症および術後
172	1	先天性心臓病・異常	17	肺動脈(弁)欠損	肺動脈(弁)欠損症術後		肺動脈弁欠損症および術後
181	1	先天性心臓病・異常	18	肺動脈(弁)閉鎖不全(PR)	肺動脈(弁)閉鎖不全(症)		肺動脈弁閉鎖不全症および術後
182	1	先天性心臓病・異常	18	肺動脈(弁)閉鎖不全(PR)	肺動脈(弁)閉鎖不全症術後		肺動脈弁閉鎖不全症および術後
191	1	先天性心臓病・異常	19	肺動脈(弁)狭窄(PS)	(純型)肺動脈(弁)狭窄(症)(PPS)	カ	肺動脈弁狭窄症および術後
192	1	先天性心臓病・異常	19	肺動脈(弁)狭窄(PS)	肺動脈(弁)狭窄症術後	カ	肺動脈弁狭窄症および術後
1101	1	先天性心臓病・異常	110	総肺静脈環流異常(TAPVR)	総肺静脈環流異常(症)		総肺静脈環流異常症および術後
1102	1	先天性心臓病・異常	110	総肺静脈環流異常(TAPVR)	総肺静脈環流異常症術後		総肺静脈環流異常症および術後
1111	1	先天性心臓病・異常	111	部分肺静脈環流異常(PAPVR)	部分肺静脈環流異常(症)		部分肺静脈環流異常症および術後
1112	1	先天性心臓病・異常	111	部分肺静脈環流異常(PAPVR)	部分肺静脈環流異常症術後		部分肺静脈環流異常症および術後
1121	1	先天性心臓病・異常	112	冠(状)動静脈(瘻)交通	冠(状)動静脈(瘻)交通		冠(状)動静脈(瘻)交通症および術後
1122	1	先天性心臓病・異常	112	冠(状)動静脈(瘻)交通	冠(状)動静脈(瘻)交通症術後		冠(状)動静脈(瘻)交通症および術後
1123	1	先天性心臓病・異常	112	冠(状)動静脈(瘻)交通	冠(状)動静脈(瘻)交通症		冠(状)動静脈(瘻)交通症および術後
1124	1	先天性心臓病・異常	112	冠(状)動静脈(瘻)交通	冠(状)動脈左房(瘻)交通症		冠(状)動静脈(瘻)交通症および術後
1125	1	先天性心臓病・異常	112	冠(状)動静脈(瘻)交通	冠(状)動脈右房(瘻)交通症		冠(状)動静脈(瘻)交通症および術後
1126	1	先天性心臓病・異常	112	冠(状)動静脈(瘻)交通	冠(状)動脈右室(瘻)交通症		冠(状)動静脈(瘻)交通症および術後
1127	1	先天性心臓病・異常	112	冠(状)動静脈(瘻)交通	冠(状)動脈左室(瘻)交通症		冠(状)動静脈(瘻)交通症および術後
1131	1	先天性心臓病・異常	113	{完全}心内臓床(一次孔)欠損(ECD)	心内臓床(一次孔)欠損(症)		心内臓床欠損症および術後
1132	1	先天性心臓病・異常	113	{完全}心内臓床(一次孔)欠損(ECD)	心内臓床(一次孔)欠損症術後		心内臓床欠損症および術後
1133	1	先天性心臓病・異常	113	{完全}心内臓床(一次孔)欠損(ECD)	{完全}心内臓床欠損症(ECD)		心内臓床欠損症および術後
1134	1	先天性心臓病・異常	113	{完全}心内臓床(一次孔)欠損(ECD)	房室中隔欠損症(ADSD)		心内臓床欠損症および術後
1135	1	先天性心臓病・異常	113	{完全}心内臓床(一次孔)欠損(ECD)	房室中隔欠損症(ADSD)術後		心内臓床欠損症および術後
1141	1	先天性心臓病・異常	114	僧帽弁狭窄(MS)	僧帽弁狭窄(症)		僧帽弁狭窄症および術後
1142	1	先天性心臓病・異常	114	僧帽弁狭窄(MS)	僧帽弁狭窄症術後		僧帽弁狭窄症および術後
1151	1	先天性心臓病・異常	115	僧帽弁逸脱(MVP)	僧帽弁逸脱(症)	ウ	僧帽弁逸脱症
1152	1	先天性心臓病・異常	115	僧帽弁逸脱(MVP)	僧帽弁逸脱(症)疑い	ウ	僧帽弁逸脱症
1153	1	先天性心臓病・異常	115	僧帽弁逸脱(MVP)	僧帽弁逸脱(軽度)	ウ	僧帽弁逸脱症
1154	1	先天性心臓病・異常	115	僧帽弁逸脱(MVP)	MVP+MR	ウ	僧帽弁逸脱症
1161	1	先天性心臓病・異常	116	僧帽弁閉鎖不全(MI,MR)	僧帽弁閉鎖不全(症)	エ	僧帽弁閉鎖不全症および術後
1162	1	先天性心臓病・異常	116	僧帽弁閉鎖不全(MI,MR)	僧帽弁逸脱(軽度)	エ	僧帽弁閉鎖不全症および術後
1163	1	先天性心臓病・異常	116	僧帽弁閉鎖不全(MI,MR)	僧帽弁閉鎖不全症術後	エ	僧帽弁閉鎖不全症および術後
1171	1	先天性心臓病・異常	117	僧帽弁膜異常	僧帽弁膜異常		僧帽弁膜異常、肥厚
1181	1	先天性心臓病・異常	118	大動脈弁狭窄(AS)	大動脈弁狭窄	キ	大動脈弁狭窄および術後
1182	1	先天性心臓病・異常	118	大動脈弁狭窄(AS)	大動脈弁上狭窄	キ	大動脈弁狭窄および術後
1183	1	先天性心臓病・異常	118	大動脈弁狭窄(AS)	大動脈弁下狭窄	キ	大動脈弁狭窄および術後
1184	1	先天性心臓病・異常	118	大動脈弁狭窄(AS)	大動脈弁狭窄術後	キ	大動脈弁狭窄および術後
1185	1	先天性心臓病・異常	118	大動脈弁狭窄(AS)	大動脈弁上狭窄術後	キ	大動脈弁狭窄および術後
1186	1	先天性心臓病・異常	118	大動脈弁狭窄(AS)	大動脈弁下狭窄術後	キ	大動脈弁狭窄および術後
1187	1	先天性心臓病・異常	118	大動脈弁狭窄(AS)	AS+AR	キ	大動脈弁狭窄および術後
1191	1	先天性心臓病・異常	119	大動脈弁閉鎖不全(逆流)(AI or AR)	大動脈弁閉鎖不全(逆流)症		大動脈弁閉鎖不全(逆流)(AI or AR)
1192	1	先天性心臓病・異常	119	大動脈弁閉鎖不全(逆流)(AI or AR)	大動脈弁閉鎖不全(逆流)症術後		大動脈弁閉鎖不全(逆流)(AI or AR)
1201	1	先天性心臓病・異常	120	大動脈縮窄(Co/Ao)	大動脈縮窄(症)		大動脈縮窄症および術後
1202	1	先天性心臓病・異常	120	大動脈縮窄(Co/Ao)	大動脈縮窄症複合(Co/Ao+VSD+PDA)		大動脈縮窄症および術後
1203	1	先天性心臓病・異常	120	大動脈縮窄(Co/Ao)	大動脈縮窄症術後		大動脈縮窄症および術後
1204	1	先天性心臓病・異常	120	大動脈縮窄(Co/Ao)	大動脈縮窄症複合術後		大動脈縮窄症および術後
1211	1	先天性心臓病・異常	121	大動脈弓離断(INT/AO)	大動脈弓離断(症)		大動脈弓離断症および術後

心臓検診(二次・三次病名診断表)

二次・三次 検診診断 名コード	二次・三 次診断 大分類	二次・三次診断 大分類名	二次・三次 病名コード	二次・三次検診病名	二次・三次検診診断名	統計上 抽出 コード	統計上特に抽出する診断名
1212	1	先天性心臓病・異常	121	大動脈弓離断(INT/AO)	大動脈離断(症)		大動脈弓離断症および術後
1213	1	先天性心臓病・異常	121	大動脈弓離断(INT/AO)	大動脈離断複合		大動脈弓離断症および術後
1214	1	先天性心臓病・異常	121	大動脈弓離断(INT/AO)	大動脈弓離断(欠損)		大動脈弓離断症および術後
1215	1	先天性心臓病・異常	121	大動脈弓離断(INT/AO)	大動脈弓離断症術後		大動脈弓離断症および術後
1221	1	先天性心臓病・異常	122	両大血管右室起始(DORV)	両大血管右室起始(症)		両大血管右室起始症および術後
1222	1	先天性心臓病・異常	122	両大血管右室起始(DORV)	両大血管右室起始症術後		両大血管右室起始症および術後
1231	1	先天性心臓病・異常	123	ファロー四徴(T/F)	ファロー四徴(症)	オ	ファロー四徴症および術後
1232	1	先天性心臓病・異常	123	ファロー四徴(T/F)	ファロー四徴症極型	オ	ファロー四徴症および術後
1233	1	先天性心臓病・異常	123	ファロー四徴(T/F)	ファロー四徴症術後	オ	ファロー四徴症および術後
1241	1	先天性心臓病・異常	124	三尖弁狭窄(TS)	三尖弁狭窄(症)		三尖弁狭窄(TS)
1242	1	先天性心臓病・異常	124	三尖弁狭窄(TS)	三尖弁狭窄症術後		三尖弁狭窄(TS)
1243	1	先天性心臓病・異常	124	三尖弁狭窄(TS)	TS+TR		三尖弁狭窄(TS)
1251	1	先天性心臓病・異常	125	三尖弁閉鎖不全(逆流)(TI or TR)	三尖弁閉鎖不全(逆流)(症)	ク	三尖弁閉鎖不全症および術後
1252	1	先天性心臓病・異常	125	三尖弁閉鎖不全(逆流)(TI or TR)	三尖弁閉鎖不全(逆流)	ク	三尖弁閉鎖不全症および術後
1253	1	先天性心臓病・異常	125	三尖弁閉鎖不全(逆流)(TI or TR)	三尖弁閉鎖不全(逆流)症術後	ク	三尖弁閉鎖不全症および術後
1261	1	先天性心臓病・異常	126	三尖弁閉鎖(TA)	三尖弁閉鎖(症)		三尖弁閉鎖症および術後
1262	1	先天性心臓病・異常	126	三尖弁閉鎖(TA)	三尖弁閉鎖症術後		三尖弁閉鎖症および術後
1271	1	先天性心臓病・異常	127	大血管転位(転換)(dTGA or complete TGA)	(完全)大血管転位(転換)(症)		(完全)大血管転位症および術後
1272	1	先天性心臓病・異常	127	大血管転位(転換)(dTGA or complete TGA)	(完全)大血管転位(転換)症術後		(完全)大血管転位症および術後
1281	1	先天性心臓病・異常	128	修正大血管転位(転換)(ITGA or corTGA)	修正大血管転位(転換)(症)		修正大血管転位症および術後
1282	1	先天性心臓病・異常	128	修正大血管転位(転換)(ITGA or corTGA)	修正大血管転位(転換)症術後		修正大血管転位症および術後
1291	1	先天性心臓病・異常	129	右室二腔(DORV)	右室二腔(症)		右室二腔症および術後
1292	1	先天性心臓病・異常	129	右室二腔(DORV)	右室二腔症術後		右室二腔症および術後
1301	1	先天性心臓病・異常	130	エプスタイン奇形心(Epstein)	エプスタイン奇形(心)		エプスタイン奇形心および術後
1302	1	先天性心臓病・異常	130	エプスタイン奇形心(Epstein)	エプスタイン奇形心術後		エプスタイン奇形心および術後
1311	1	先天性心臓病・異常	131	三心房心	三(心)房心		三心房心術後
1312	1	先天性心臓病・異常	131	三心房心	三心房心術後		三心房心術後
1321	1	先天性心臓病・異常	132	心外膜(心臓)欠損	心外膜(心臓)欠損(症)(疑い)		心外膜欠損症および術後
1322	1	先天性心臓病・異常	132	心外膜(心臓)欠損	心外膜(心臓)欠損症術後		心外膜欠損症および術後
1331	1	先天性心臓病・異常	133	大動脈弁の異常	大動脈二尖弁		大動脈弁の異常
1332	1	先天性心臓病・異常	133	大動脈弁の異常	大動脈四尖弁		大動脈弁の異常
1341	1	先天性心臓病・異常	134	左心低形成症候群(HPLVS)、HLHS	左心低形成症候群		左心低形成症候群および術後
1342	1	先天性心臓病・異常	134	左心低形成症候群(HPLVS)、HLHS	大動脈弁閉鎖(症)		左心低形成症候群および術後
1343	1	先天性心臓病・異常	134	左心低形成症候群(HPLVS)、HLHS	僧帽弁閉鎖(症)		左心低形成症候群および術後
1344	1	先天性心臓病・異常	134	左心低形成症候群(HPLVS)、HLHS	左心低形成症候群術後		左心低形成症候群および術後
1345	1	先天性心臓病・異常	134	左心低形成症候群(HPLVS)、HLHS	大動脈弁閉鎖症術後		左心低形成症候群および術後
1346	1	先天性心臓病・異常	134	左心低形成症候群(HPLVS)、HLHS	僧帽弁閉鎖症術後		左心低形成症候群および術後
1351	1	先天性心臓病・異常	135	(孤立性)右室低形成	(孤立性)右室低形成		(孤立性)右室低形成
1361	1	先天性心臓病・異常	136	無脾症(心)(Asplenia)	無脾症(心)		無脾症(心)(Asplenia)および術後
1362	1	先天性心臓病・異常	136	無脾症(心)(Asplenia)	無脾症(心)術後		無脾症(心)(Asplenia)および術後
1371	1	先天性心臓病・異常	137	多脾症(心)(Polysplenia)	多脾症(心)		多脾症(心)(Asplenia)および術後
1372	1	先天性心臓病・異常	137	多脾症(心)(Polysplenia)	多脾症(心)術後		多脾症(心)(Asplenia)および術後
1381	1	先天性心臓病・異常	138	内蔵錯位(心)	内蔵錯位(心)		内蔵錯位(心)(Asplenia)および術後
1382	1	先天性心臓病・異常	138	内蔵錯位(心)	内蔵錯位(心)術後		内蔵錯位(心)(Asplenia)および術後
1391	1	先天性心臓病・異常	139	単心室(SV)	単心室		単心室および術後
1392	1	先天性心臓病・異常	139	単心室(SV)	単心室術後		単心室および術後
1401	1	先天性心臓病・異常	140	大動脈肺動脈中隔欠損(A-P Window)	大動脈肺動脈中隔欠損(症)		大動脈肺動脈中隔欠損(A-P Window)および術後
1402	1	先天性心臓病・異常	140	大動脈肺動脈中隔欠損(A-P Window)	大動脈肺動脈窓		大動脈肺動脈中隔欠損(A-P Window)および術後
1403	1	先天性心臓病・異常	140	大動脈肺動脈中隔欠損(A-P Window)	大動脈肺動脈中隔欠損症術後		大動脈肺動脈中隔欠損(A-P Window)および術後
1404	1	先天性心臓病・異常	140	大動脈肺動脈中隔欠損(A-P Window)	大動脈肺動脈中隔欠損術後		大動脈肺動脈中隔欠損(A-P Window)および術後
1405	1	先天性心臓病・異常	140	大動脈肺動脈中隔欠損(A-P Window)	大動脈肺動脈窓術後		大動脈肺動脈中隔欠損(A-P Window)および術後
1411	1	先天性心臓病・異常	141	右胸心	右胸心(内蔵逆位心)		右胸心(内蔵逆位心)
1412	1	先天性心臓病・異常	141	右胸心	(孤立性)右胸心		(孤立性)右胸心
1421	1	先天性心臓病・異常	142	左胸心	左胸心		左胸心
1431	1	先天性心臓病・異常	143	血管輪	血管輪		血管輪および術後
1432	1	先天性心臓病・異常	143	血管輪	血管輪術後		血管輪および術後
1433	1	先天性心臓病・異常	143	血管輪	右大動脈弓+PDA索		血管輪および術後
1434	1	先天性心臓病・異常	143	肺動脈輪	肺動脈輪		肺動脈輪その術後
1441	1	先天性心臓病・異常	144	(冠)静脈洞弁遺残	(冠)静脈洞弁遺残(症)		(冠)静脈洞弁遺残
1451	1	先天性心臓病・異常	145	肺高血圧症	(原発性)肺高血圧症		肺高血圧症
1452	1	先天性心臓病・異常	145	肺高血圧症	肺動脈性肺高血圧症		肺高血圧症
1461	1	先天性心臓病・異常	146	心房の異常	右房拡大(拡張)		右房拡大(拡張)
1462	1	先天性心臓病・異常	146	心房の異常	左房拡大(拡張)		左房拡大(拡張)
1471	1	先天性心臓病・異常	147	診断未定だが先天性心臓病・異常に分類するもの	先天性心疾患の疑い		先天性心疾患の疑い
1472	1	先天性心臓病・異常	147	診断未定だが先天性心臓病・異常に分類するもの	先天性心疾患(根治)術後		先天性心疾患(根治)術後
1473	1	先天性心臓病・異常	147	診断未定だが先天性心臓病・異常に分類するもの	フォンタン術後		フォンタン術後
1474	1	先天性心臓病・異常	147	診断未定だが先天性心臓病・異常に分類するもの	グレン術後		グレン術後
1475	1	先天性心臓病・異常	147	診断未定だが先天性心臓病・異常に分類するもの	短絡術後		短絡術後
1476	1	先天性心臓病・異常	147	診断未定だが先天性心臓病・異常に分類するもの	弁膜症		弁膜症
1477	1	先天性心臓病・異常	147	診断未定だが先天性心臓病・異常に分類するもの	修復術後		修復術後

心臓検診(二次・三次病名診断表)

二次・三次 検診診断 名コード	二次・三次 診断 大分類	二次・三次診断 大分類名	二次・三次 病名コード	二次・三次検診病名	二次・三次検診診断名	統計上 抽出 コード	統計上特に抽出する診断名
1480	1	先天性心臓病・異常	148	その他	その他の先天性心疾患		その他の心臓病・異常
211	2	その他の心臓病・異常	21	心内臓線維弾性	心内臓線維弾性(症)(EFE)		心内臓線維弾性
221	2	その他の心臓病・異常	22	心筋炎	心筋炎(疑い)		心筋炎による心障害
222	2	その他の心臓病・異常	22	心筋炎	ウイルス性心筋炎(疑い)		心筋炎による心障害
223	2	その他の心臓病・異常	22	心筋炎	特発性心筋炎(疑い)		心筋炎による心障害
224	2	その他の心臓病・異常	22	心筋炎	心筋炎の既往		心筋炎による心障害
225	2	その他の心臓病・異常	22	心筋炎	心筋炎後		心筋炎による心障害
226	2	その他の心臓病・異常	22	心筋炎	ウイルス性心筋炎の既往		心筋炎による心障害
227	2	その他の心臓病・異常	22	心筋炎	特発性心筋炎の既往		心筋炎による心障害
231	2	その他の心臓病・異常	23	特発性心筋症(PMD)	特発性心筋症・心筋致密化障害		心筋症による心障害
232	2	その他の心臓病・異常	23	特発性心筋症(PMD)	心筋症(疑い)		心筋症による心障害
233	2	その他の心臓病・異常	23	特発性心筋症(PMD)	肥大型心筋症(疑い)		心筋症による心障害
234	2	その他の心臓病・異常	23	特発性心筋症(PMD)	拡張(うっ血)型心筋症(疑い)		心筋症による心障害
235	2	その他の心臓病・異常	23	特発性心筋症(PMD)	タコ壺型心筋症		心筋症による心障害
241	2	その他の心臓病・異常	24	続発性心筋	薬剤性心筋症		薬剤性心筋症
242	2	その他の心臓病・異常	24	続発性心筋	続発性心筋症		続発性心筋
251	2	その他の心臓病・異常	25	心外膜炎	心外膜炎		心外膜炎
252	2	その他の心臓病・異常	25	心外膜炎	ウイルス性心外膜炎		心外膜炎
253	2	その他の心臓病・異常	25	心外膜炎	特発性心外膜炎		心外膜炎
254	2	その他の心臓病・異常	25	心外膜炎	続発性心外膜炎		心外膜炎
255	2	その他の心臓病・異常	25	心外膜炎	心外膜炎の既往		心外膜炎
256	2	その他の心臓病・異常	25	心外膜炎	心外膜炎の既往		心外膜炎
261	2	その他の心臓病・異常	26	心外膜損傷	心外膜損傷の既往		心外膜炎
271	2	その他の心臓病・異常	27	心外膜欠損	心外膜欠損(症)		心外膜欠損(症)
281	2	その他の心臓病・異常	28	心臓腫瘍	心臓腫瘍		心臓腫瘍および術後
282	2	その他の心臓病・異常	28	心臓腫瘍	心横紋筋腫		心臓腫瘍および術後
283	2	その他の心臓病・異常	28	心臓腫瘍	心臓腫瘍		心臓腫瘍および術後
284	2	その他の心臓病・異常	28	心臓腫瘍	心臓腫瘍術後		心臓腫瘍および術後
285	2	その他の心臓病・異常	28	心臓腫瘍	心横紋筋腫術後		心臓腫瘍および術後
286	2	その他の心臓病・異常	28	心臓腫瘍	心臓腫瘍術後		心臓腫瘍および術後
291	2	その他の心臓病・異常	29	高血圧症	高血圧症		高血圧症
292	2	その他の心臓病・異常	29	高血圧症	本態性高血圧症		高血圧症
293	2	その他の心臓病・異常	29	高血圧症	続発性高血圧症		高血圧症
294	2	その他の心臓病・異常	29	高血圧症	腎血管性高血圧症		高血圧症
2101	2	その他の心臓病・異常	210	肺性心	肺性心		肺性心
2111	2	その他の心臓病・異常	211	リウマチ性弁膜症	リウマチ性僧帽弁狭窄		リウマチ性弁膜症
2112	2	その他の心臓病・異常	211	リウマチ性弁膜症	リウマチ性僧帽弁閉鎖不全		リウマチ性弁膜症
2113	2	その他の心臓病・異常	211	リウマチ性弁膜症	リウマチ性大動脈弁狭窄		リウマチ性弁膜症
2114	2	その他の心臓病・異常	211	リウマチ性弁膜症	リウマチ性大動脈弁閉鎖不全		リウマチ性弁膜症
2115	2	その他の心臓病・異常	211	リウマチ性弁膜症	リウマチ性連合弁膜症		リウマチ性弁膜症
2121	2	その他の心臓病・異常	212	診断未定だがその他の心臓病に分類するもの	狭心症(疑い)		狭心症
2122	2	その他の心臓病・異常	212	診断未定だがその他の心臓病に分類するもの	大動脈血栓症		大動脈血栓症
2130	2	その他の心臓病・異常	213	その他	その他の心臓病・異常		その他の心臓病・異常
311	3	心電図・心音図異常	31	心室性期外収縮(PVC)	心室性期外収縮(疑い)	ケ	心室性期外収縮
312	3	心電図・心音図異常	31	心室性期外収縮(PVC)	心室性期外収縮(心室性二段脈)	ケ	心室性期外収縮
321	3	心電図・心音図異常	32	心房性期外収縮(PAC)	心房性(上室性)期外収縮	コ	心房性期外収縮
331	3	心電図・心音図異常	33	心房細動(AF)	心房細動(疑い)		心房細動(AF)
341	3	心電図・心音図異常	34	心房粗動(AF)	心房粗動(疑い)		心房粗動(AF)
342	3	心電図・心音図異常	34	心房粗動(AF)	特発性心房粗動(疑い)		心房粗動(AF)
351	3	心電図・心音図異常	35	接合部性期外収縮	接合部性期外収縮		接合部性期外収縮
361	3	心電図・心音図異常	36	多源性期外収縮	多源性期外収縮		多源性期外収縮
371	3	心電図・心音図異常	37	心室性頻脈(拍)症(VT)	心室性頻脈(拍)症(疑い)		心室性頻脈(拍)症
372	3	心電図・心音図異常	37	心室性頻脈(拍)症(VT)	心室性頻脈(拍)症の既往		心室性頻脈(拍)症
373	3	心電図・心音図異常	37	心室性頻脈(拍)症(VT)	特発性心室性頻脈(拍)症の既往		心室性頻脈(拍)症
381	3	心電図・心音図異常	38	心室(粗)細動	心室(粗)細動(疑い)		心室(粗)細動
382	3	心電図・心音図異常	38	心室(粗)細動	特発性心室細動(疑い)		心室(粗)細動
391	3	心電図・心音図異常	39	上室性(心房性)頻脈(拍)症	上室性(心房性)頻脈(拍)症(疑い)		上室性(心房性)頻脈(拍)症
392	3	心電図・心音図異常	39	上室性(心房性)頻脈(拍)症	上室性(心房性)頻脈(拍)症の既往		上室性(心房性)頻脈(拍)症
3101	3	心電図・心音図異常	310	発作性上室性(心房性)頻脈(拍)症(PAT)	発作性上室性(心房性)頻脈(拍)症(疑い)		上室性(心房性)頻脈(拍)症
3102	3	心電図・心音図異常	310	発作性上室性(心房性)頻脈(拍)症(PAT)	発作性上室性(心房性)頻脈(拍)症の既往		上室性(心房性)頻脈(拍)症
3111	3	心電図・心音図異常	311	接合部性頻脈(拍)症	接合部性頻脈(拍)症(疑い)		接合部性頻脈(拍)症
3112	3	心電図・心音図異常	311	接合部性頻脈(拍)症	接合部性頻脈(拍)症の既往		接合部性頻脈(拍)症
3113	3	心電図・心音図異常	311	接合部性頻脈(拍)症	房室結節性回帰性頻脈(拍)症(疑い)		接合部性頻脈(拍)症
3114	3	心電図・心音図異常	311	接合部性頻脈(拍)症	房室結節性頻脈(拍)症(疑い)		接合部性頻脈(拍)症
3121	3	心電図・心音図異常	312	洞機能不全症候群(SSS)	洞機能不全症候群(疑い)		洞機能不全症候群
3122	3	心電図・心音図異常	312	洞機能不全症候群(SSS)	洞停止		洞機能不全症候群
3123	3	心電図・心音図異常	312	洞機能不全症候群(SSS)	頻脈徐脈症候群(疑い)		洞機能不全症候群
3124	3	心電図・心音図異常	312	洞機能不全症候群(SSS)	徐脈頻脈症候群(疑い)		洞機能不全症候群
3125	3	心電図・心音図異常	312	洞機能不全症候群(SSS)	洞徐脈		洞機能不全症候群
3131	3	心電図・心音図異常	313	洞房ブロック	洞房ブロック		洞房ブロック

心臓検診(二次・三次病名診断表)

二次・三次 検診診断 名コード	二次・三 次診断 大分類	二次・三次診断 大分類名	二次・三次 病名コード	二次・三次検診病名	二次・三次検診診断名	統計上 抽出 コード	統計上特に抽出する診断名
3141	3	心電図・心音図異常	314	第1度房室ブロック	第1度房室ブロック	ス	第1度房室ブロック
3142	3	心電図・心音図異常	314	第1度房室ブロック	PR(Q)延長	ス	第1度房室ブロック
3151	3	心電図・心音図異常	315	第2度房室ブロック	第2度房室ブロック	セ	第2度房室ブロック
3152	3	心電図・心音図異常	315	第2度房室ブロック	モビッツ型第2度房室ブロック	セ	第2度房室ブロック
3153	3	心電図・心音図異常	315	第2度房室ブロック	ウエンケバッハ型第2度房室ブロック	セ	第2度房室ブロック
3161	3	心電図・心音図異常	316	第3度房室ブロック	第3度房室ブロック		第3度房室ブロック
3162	3	心電図・心音図異常	316	第3度房室ブロック	先天性完全房室ブロック		第3度房室ブロック
3163	3	心電図・心音図異常	316	第3度房室ブロック	完全房室ブロック		第3度房室ブロック
3171	3	心電図・心音図異常	317	心室内伝導障害	心室内伝導障害(疑い)		心室内伝導障害
3172	3	心電図・心音図異常	317	心室内伝導障害	左脚前枝ブロック		心室内伝導障害
3173	3	心電図・心音図異常	317	心室内伝導障害	二枝ブロック		心室内伝導障害
3181	3	心電図・心音図異常	318	完全右脚ブロック(CRBBB)	完全右脚ブロック	シ	完全右脚ブロック
3191	3	心電図・心音図異常	319	副伝導路症候群	副伝導路症候群(疑い)		副伝導路症候群
3192	3	心電図・心音図異常	319	副伝導路症候群	WPW症候群(疑い)	サ	WPW症候群
3193	3	心電図・心音図異常	319	副伝導路症候群	PR(Q)短縮(症候群)(疑い)		副伝導路症候群
3194	3	心電図・心音図異常	319	副伝導路症候群	LGL症候群		副伝導路症候群
3201	3	心電図・心音図異常	320	QT延長(症候群)	QT延長(症候群)	ソ	QT延長(症候群)
3211	3	心電図・心音図異常	321	ブルガタ症候群(心電図)	ブルガタ症候群(心電図)		ブルガタ症候群(心電図)
3221	3	心電図・心音図異常	322	副収縮	心房性副収縮		副収縮
3222	3	心電図・心音図異常	322	副収縮	房室結節性副収縮		副収縮
3223	3	心電図・心音図異常	322	副収縮	心室性副収縮		副収縮
3231	3	心電図・心音図異常	323	心室調律	心室(固有)調律		心室(固有)調律
3240	3	心電図・心音図異常	324	その他	その他心電図・心音図異常		その他心電図・心音図異常
411	4	川崎病後遺症	41	川崎病(MCLS)	川崎病冠動脈瘤(の既往)		川崎病冠動脈瘤の残存するもの
412	4	川崎病後遺症	41	川崎病(MCLS)	川崎病冠動脈拡張(の既往)		川崎病冠動脈拡張の残存するもの
413	4	川崎病後遺症	41	川崎病(MCLS)	川崎病冠動脈一過性拡張(の既往)		川崎病冠動脈障害の残存するもの
414	4	川崎病後遺症	41	川崎病(MCLS)	川崎病冠動脈狭窄(の既往)		川崎病冠動脈障害の残存するもの
511	5	その他の異常	51	肺の疾患(異常)	(突発性)肺動脈拡張		(突発性)肺動脈拡張
512	5	その他の異常	51	肺の疾患(異常)	左肺低形成		左肺低形成
513	5	その他の異常	51	肺の疾患(異常)	右肺低形成		右肺低形成
514	5	その他の異常	51	肺の疾患(異常)	右肺動脈欠損症		右肺動脈欠損症
515	5	その他の異常	51	肺の疾患(異常)	左肺動脈欠損症		左肺動脈欠損症
521	5	その他の異常	52	心位置異常	横位心(心臓横位)		異常なし
522	5	その他の異常	52	心位置異常	滴状心		異常なし
523	5	その他の異常	52	心位置異常	垂直位心(臓)		異常なし
524	5	その他の異常	52	心位置異常	心臓偏位		異常なし
525	5	その他の異常	52	心位置異常	心臓立位(立位心)		異常なし
526	5	その他の異常	52	心位置異常	反時計回転(心)(臓)		異常なし
531	5	その他の異常	53	全身性疾患に伴うもの	甲状腺機能亢進症(バセドウ氏病)		全身性疾患に伴うもの
532	5	その他の異常	53	全身性疾患に伴うもの	甲状腺機能低下症(クレチン症)		全身性疾患に伴うもの
533	5	その他の異常	53	全身性疾患に伴うもの	(進行性)筋ジストロフィ症		全身性疾患に伴うもの
534	5	その他の異常	53	全身性疾患に伴うもの	(鉄欠乏性)貧血		全身性疾患に伴うもの
535	5	その他の異常	53	全身性疾患に伴うもの	脚気心		全身性疾患に伴うもの
536	5	その他の異常	53	全身性疾患に伴うもの	マルファン症候群		全身性疾患に伴うもの
537	5	その他の異常	53	全身性疾患に伴うもの	糖尿病(1, 2, 3, 4, 5, 6型)		全身性疾患に伴うもの
538	5	その他の異常	53	全身性疾患に伴うもの	ムコ多糖症(1, 2, 3, 4型)		全身性疾患に伴うもの
539	5	その他の異常	53	全身性疾患に伴うもの	起立性調節障害		全身性疾患に伴うもの
5310	5	その他の異常	53	全身性疾患に伴うもの	大動脈炎症候群(脈なし病)		全身性疾患に伴うもの
5311	5	その他の異常	53	全身性疾患に伴うもの	プリンゲル病		全身性疾患に伴うもの
541	5	その他の異常	54	胸郭異常に伴うもの	漏斗胸(術後)		胸郭異常に伴うもの
542	5	その他の異常	54	胸郭異常に伴うもの	鳩胸		胸郭異常に伴うもの
543	5	その他の異常	54	胸郭異常に伴うもの	ストレートバック症候群		胸郭異常に伴うもの
544	5	その他の異常	54	胸郭異常に伴うもの	扁平胸(術後)		胸郭異常に伴うもの
551	5	その他の異常	55	縦隔腫瘍	胸腺腫(術後)		縦隔腫瘍
552	5	その他の異常	55	縦隔腫瘍	縦隔腫瘍(術後)		縦隔腫瘍
553	5	その他の異常	55	縦隔腫瘍	縦隔奇形腫(術後)		縦隔腫瘍
560	5	その他の異常	56	その他	その他の異常		その他
611	6	診断未定	61	心電図異常	心電図異常		診断未定
612	6	診断未定	61	心電図異常	不完全右脚ブロック		診断未定
613	6	診断未定	61	心電図異常	QRS波異常		診断未定
614	6	診断未定	61	心電図異常	Q波の異常		診断未定
615	6	診断未定	61	心電図異常	STの異常		診断未定
616	6	診断未定	61	心電図異常	T波の異常		診断未定
617	6	診断未定	61	心電図異常	右軸偏位		診断未定
618	6	診断未定	61	心電図異常	左軸偏位		診断未定
619	6	診断未定	61	心電図異常	右室肥大		診断未定
6110	6	診断未定	61	心電図異常	左室肥大		診断未定
6111	6	診断未定	61	心電図異常	心室性不整脈		診断未定
6112	6	診断未定	61	心電図異常	不整脈		診断未定
6113	6	診断未定	61	心電図異常	徐脈		診断未定

心臓検診(二次・三次病名診断表)

二次・三次 検診診断 名コード	二次・三 次診断 大分類	二次・三次診断 大分類名	二次・三次 病名コード	二次・三次検診病名	二次・三次検診診断名	統計上 抽出 コード	統計上特に抽出する診断名
6114	6	診断未定	61	心電図異常	頻脈		診断未定
6115	6	診断未定	61	心電図異常	右脚ブロック		診断未定
6116	6	診断未定	61	心電図異常	(一過性)期外収縮		診断未定
6117	6	診断未定	61	心電図異常	早期再分極		診断未定
6118	6	診断未定	61	心電図異常	低電位		診断未定
6119	6	診断未定	61	心電図異常	一過性不整脈		診断未定
6120	6	診断未定	61	心電図異常	心肥大		診断未定
6121	6	診断未定	61	心電図異常	房室ブロック		診断未定
6122	6	診断未定	61	心電図異常	高電位(差)		診断未定
6123	6	診断未定	61	心電図異常	軸偏位		診断未定
6124	6	診断未定	61	心電図異常	非特異的ST異常		診断未定
621	6	診断未定	62	心音図異常	収縮期(心)雑音		診断未定
622	6	診断未定	62	心音図異常	収縮期クリック		診断未定
623	6	診断未定	62	心音図異常	クリック		診断未定
624	6	診断未定	62	心音図異常	心雑音		診断未定
625	6	診断未定	62	心音図異常	拡張期雑音		診断未定
626	6	診断未定	62	心音図異常	2音分裂		診断未定
627	6	診断未定	62	心音図異常	3音、4音		診断未定
631	6	診断未定	63	心陰影の異常	心拡大(拡張)		診断未定
632	6	診断未定	63	心陰影の異常	左心室拡大(拡張)		診断未定
633	6	診断未定	63	心陰影の異常	心筋障害後の(疑い)		診断未定
634	6	診断未定	63	心陰影の異常	右室拡大(拡張)		診断未定
635	6	診断未定	63	心陰影の異常	右房拡大(拡張)		診断未定
636	6	診断未定	63	心陰影の異常	左房拡大(拡張)		診断未定
637	6	診断未定	63	心陰影の異常	左室異常		診断未定
638	6	診断未定	63	心陰影の異常	縦隔異常		診断未定
641	6	診断未定	64	その他	軽度の心機能低下		診断未定
642	6	診断未定	64	その他	心機能障害		診断未定
643	6	診断未定	64	その他	弁膜症		診断未定
711	7	異常なし	71	異常なし	異常なし		異常なし
712	7	異常なし	71	異常なし	川崎病の既往		異常なし
713	7	異常なし	71	異常なし	リウマチ熱の既往		異常なし
714	7	異常なし	71	異常なし	スポーツ心臓		異常なし
715	7	異常なし	71	異常なし	機能的(無害性)(収縮期)心雑音		異常なし
716	7	異常なし	71	異常なし	卵円孔開存		異常なし
717	7	異常なし	71	異常なし	(生理的)洞性徐脈		異常なし
718	7	異常なし	71	異常なし	(生理的)洞性頻脈		異常なし
719	7	異常なし	71	異常なし	洞(性)調律		異常なし
7110	7	異常なし	71	異常なし	生理的3音、4音		異常なし
7111	7	異常なし	71	異常なし	洞性不整脈		異常なし
7112	7	異常なし	71	異常なし	呼吸性不整脈		異常なし
721	7	異常なし	72	正常範囲(正常バリエーション)と記された心電図異常	不完全右脚ブロック(生理的)(正常バリエーション)		異常なし
722	7	異常なし	72	正常範囲(正常バリエーション)と記された心電図異常	QRS波異常(正常バリエーション)		異常なし
723	7	異常なし	72	正常範囲(正常バリエーション)と記された心電図異常	Q波の異常(正常バリエーション)		異常なし
724	7	異常なし	72	正常範囲(正常バリエーション)と記された心電図異常	STの異常(正常バリエーション)		異常なし
725	7	異常なし	72	正常範囲(正常バリエーション)と記された心電図異常	T波の異常(正常バリエーション)		異常なし
726	7	異常なし	72	正常範囲(正常バリエーション)と記された心電図異常	右軸偏位(正常バリエーション)		異常なし
727	7	異常なし	72	正常範囲(正常バリエーション)と記された心電図異常	左軸偏位(正常バリエーション)		異常なし
728	7	異常なし	72	正常範囲(正常バリエーション)と記された心電図異常	拡張期雑音(正常バリエーション)		異常なし
729	7	異常なし	72	正常範囲(正常バリエーション)と記された心電図異常	2音分裂(正常バリエーション)		異常なし
7210	7	異常なし	72	正常範囲(正常バリエーション)と記された心電図異常	軸偏位(正常バリエーション)		異常なし
7211	7	異常なし	72	正常範囲(正常バリエーション)と記された心電図異常	高電位(正常バリエーション)		異常なし
7212	7	異常なし	72	正常範囲(正常バリエーション)と記された心電図異常	低電位(正常バリエーション)		異常なし
731	7	異常なし	73	心配ない調律異常	調律異常(疑い)		異常なし
732	7	異常なし	73	心配ない調律異常	(房室)結節性(補充)調律		異常なし
733	7	異常なし	73	心配ない調律異常	左房調律		異常なし
734	7	異常なし	73	心配ない調律異常	(下部)心房調律		異常なし
735	7	異常なし	73	心配ない調律異常	心房(上室性)不整脈		異常なし
736	7	異常なし	73	心配ない調律異常	房室解離		異常なし
737	7	異常なし	73	心配ない調律異常	ペースメーカー移動(シフト)		異常なし
738	7	異常なし	73	心配ない調律異常	異所性調律		異常なし
739	7	異常なし	73	心配ない調律異常	冠静脈洞調律		異常なし
741	7	異常なし	74	心配のない心房性期外収縮	単発の心房性期外収縮		異常なし
751	7	異常なし	75	先天性心疾患の既往	現在疑われない先天性心疾患		異常なし
761	7	異常なし	76	不整脈の既往	不整脈の既往(現在なし)		異常なし
770	7	異常なし	77	その他	その他の異常なし		異常なし
811	8	未受診	81	未受診	未受診		未受診

突然死に関する調査結果

表1 突然死に関する調査結果

(令和3年度～令和7年度)

※ 突然死の定義

WHO(世界保健機関)及び独立行政法人日本スポーツ振興センター災害共済給付制度における突然死の取扱い等を参考に、群馬県では下記のように「突然死」を定義し、各学校等に対して、「病死」と「突然死」を分けて報告するよう依頼しています。

【群馬県の場合】

○突然死

「突然で予期できなかった病死」と定義され、ふつう発病から24時間以内に死亡したものをいう。しかし、最近では、救急医学の進歩によって長時間生命の維持ができるようになったため、発病から48時間以内に死亡したのもも突然死の範疇に入れるようになっている。
また、「突然死」は「病死」の一種であることから、運動中などに起きた脊髄損傷や頭部外傷による死亡、溺死、交通事故などの外因(事故)死については、突然死とはされないこととなっている。

○突然死の死因

突然死の死因について、本県では「心疾患によるもの」「脳血管疾患によるもの」「原因不明のもの」の3つに分類した。

年度	区分	心疾患によるもの			脳血管疾患によるもの			原因不明のもの			合計
		学校管理下	家庭生活中	計	学校管理下	家庭生活中	計	学校管理下	家庭生活中	計	
R3	小								1	1	1
	中										
	高		1	1							1
	計		1	1					1	1	2
R4	小										
	中										
	高										
	計										
R5	小										
	中		1	1					2	2	3
	高										
	計		1	1					2	2	3
R6	小		1	1							1
	中								1	1	1
	高										
	計		1	1					1	1	2
R7	小								1	1	1
	中								3	3	3
	高								1	1	1
	計								5	5	5

※空欄については、報告0です。

令和7年度
児童生徒腎臓検診報告書
児童生徒心臓検診報告書

作成協力者：（職名は令和8年3月末現在）

令和7年度群馬県学校保健会
児童生徒腎臓疾患対策委員会 委員

- 1 須藤 英仁 群馬県医師会長
- 2 今泉 友一 群馬県学校医会長・群馬県医師会理事
- 3 有坂 拓 群馬県医師会理事
- 4 滝沢 琢己 群馬大学大学院医学系研究科教授
- 5 廣村 桂樹 群馬大学大学院医学系研究科教授
- 6 丸山 健一 群馬県小児医療センター顧問
- 7 関根 芳岳 群馬大学大学院医学系研究科講師
- 8 渡部登志雄 公立藤岡総合病院 病院長補佐
- 9 大津 義晃 群馬大学大学院医学系研究科助教
- 10 山田英二郎 群馬大学大学院医学系研究科教授
- 11 鹿沼 達哉 群馬県健康づくり財団技監

令和7年度群馬県学校保健会
児童生徒心臓疾患対策委員会 委員

- 1 須藤 英仁 群馬県医師会長
- 2 今泉 友一 群馬県学校医会長・群馬県医師会理事
- 3 有坂 拓 群馬県医師会理事
- 4 滝沢 琢己 群馬大学大学院医学系研究科教授
- 5 小林 富男 さわらび医療福祉センター副センター長
- 6 篠原 真 しのはら小児科院長
- 7 小川 哲史 （独）国立病院機構高崎総合医療センター院長
- 8 池田健太郎 群馬県立小児医療センター第三内科部長
- 9 鹿沼 達哉 群馬県健康づくり財団技監

（順不同・敬称略）

発行：令和8年4月

発行者：群馬県学校保健会

群馬県教育委員会健康体育課

〒371-8570 群馬県前橋市大手町一丁目1番1号

電話：027(226)4707

FAX：027(243)3211

印刷：（株）ナミ印刷